

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen~disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider~subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete~attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely~stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive~quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage~favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade~opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect~reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat~reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available~grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales~joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue~ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（目安とする学習時間：1時間以上） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（目安とする学習時間：1時間以上）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	試験(60%)、小テスト(30%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 1』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-49-2						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜1	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen~disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider~subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete~attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely~stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive~quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage~favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade~opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect~reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat~reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available~grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales~joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue~ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（目安とする学習時間：1時間以上） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（目安とする学習時間：1時間以上）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	試験(60%)、小テスト(30%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 1』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-49-2						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要とされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：単複を見極める(1) 可算・不可算が決め手 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 1 単語(happen~disappear)の解説と例文 第2回 単複を見極める(2) 単複のカギを握る語、語彙Unit 2 (consider~subject) 第3回 単複を見極める(3) 名詞の前につく語、語彙Unit 3 (complete~attorney) 第4回 品詞を見極める(1) 名詞にまつわる問題、語彙Unit 4 (likely~stuff) 第5回 品詞を見極める(2) 形容詞にまつわる問題、語彙Unit 1-4の復習 第6回 品詞を見極める(3) 副詞にまつわる問題、語彙Unit 5 (executive~quantity) 第7回 品詞を見極める(4) 動詞にまつわる問題、語彙Unit 6 (damage~favorite) 第8回 接続詞と前置詞(1) 基本的な前置詞、語彙Unit 7 (grade~opinion) 第9回 接続詞と前置詞(2) 前置詞の定番イディオム、語彙Unit 8 (suspect~reduce) 第10回 接続詞と前置詞(3) 押さえておきたい接続詞、語彙Unit 5-8の復習 第11回 接続詞と前置詞(4) 接続詞か前置詞か、語彙Unit 9 (flat~reply) 第12回 動詞の形(1) 動名詞と不定詞、語彙Unit 10 (available~grind) 第13回 動詞の形(2) 態と分詞、語彙Unit 11 (sales~joint) 第14回 動詞の形(3) 現在完了と時制、仮定法、語彙Unit 12 (sue~ruin) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（目安とする学習時間：1時間以上） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（目安とする学習時間：1時間以上）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	試験(60%)、小テスト(30%)、ノート作成(10%)をもとに最終評価を算出する。						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 1』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-49-2						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要なとされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：よく出る文法構文問題 (1) 比較 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 13 単語(pile~confirm)の解説と例文 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 関係詞・基本と応用、語彙Unit 14 (annual~rough) 第3回 よく出る文法構文問題 (3) 関係副詞、語彙Unit 15 (household~aspect) 第4回 よく出る文法構文問題 (4) 見落としがちな判別ポイント、語彙Unit 16 (decorate~proof) 第5回 出る順 語彙 (ビジネス) (1) 最頻出語、語彙Unit 13-16の復習 第6回 出る順 語彙 (ビジネス) (2) ビジネス用語に慣れる、語彙Unit 17 (split~defendant) 第7回 出る順 語彙 (ビジネス) (3) 差のつく表現をマスター、語彙Unit 18 (confident~snap) 第8回 出る順 語彙 (ビジネス) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 19 (innocent~generate) 第9回 出る順 語彙 (生活・一般) (1) 最頻出語、語彙Unit 20 (starve~cheat) 第10回 出る順 語彙 (生活・一般) (2) 表現の幅を広げる単語、語彙Unit 17-20の復習 第11回 出る順 語彙 (生活・一般) (3) ここで差のつく単語、語彙Unit 21 (grave~award) 第12回 出る順 語彙 (生活・一般) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 22 (tease~formulate) 第13回 ビジネス編 (1) マネジメント、語彙Unit 23 (alert~feminine) 第14回 ビジネス編 (2) 経済・金融、語彙Unit 24 (faint~retain) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（目安とする学習時間：1時間以上） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（目安とする学習時間：1時間以上）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	TOEIC (50%)、試験 (20%)、小テスト (20%)、ノート作成 (10%) をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、以下の3つの条件をいずれも満たしていることが必須となる。 1. TOEICの成績=400点以上、 2. 小テストの成績=40%以上 3. 出席=授業回数の3分の2以上						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 1』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-49-2						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成（語彙力に重点を置く）						
授業の概要	3年次以降の専門科目履修のための基礎となる英語運用力の向上と実社会で必要とされる英語力の効果的養成を内容とする。CD-ROM版TOEIC学習ソフトを利用して聞き取り練習、読解練習を行ない、文脈が与えられた中で英語の語彙力を着実に高めていく。						
到達目標	(1) 基本的な英文法知識を使って実践的英語問題を解くことができる。 (2) TOEICテストの問題傾向を把握し、効率的に解答することができる。 (3) TOEICテスト600点に必要なとされる語彙に習熟する。						
授業計画	第1回 新TOEICテスト文法問題を鬼のように特訓するソフト：よく出る文法構文問題 (1) 比較 『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』：語彙Unit 13 単語(pile~confirm)の解説と例文 第2回 よく出る文法構文問題 (2) 関係詞・基本と応用、語彙Unit 14 (annual~rough) 第3回 よく出る文法構文問題 (3) 関係副詞、語彙Unit 15 (household~aspect) 第4回 よく出る文法構文問題 (4) 見落とししがちな判別ポイント、語彙Unit 16 (decorate~proof) 第5回 出る順 語彙 (ビジネス) (1) 最頻出語、語彙Unit 13-16の復習 第6回 出る順 語彙 (ビジネス) (2) ビジネス用語に慣れる、語彙Unit 17 (split~defendant) 第7回 出る順 語彙 (ビジネス) (3) 差のつく表現をマスター、語彙Unit 18 (confident~snap) 第8回 出る順 語彙 (ビジネス) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 19 (innocent~generate) 第9回 出る順 語彙 (生活・一般) (1) 最頻出語、語彙Unit 20 (starve~cheat) 第10回 出る順 語彙 (生活・一般) (2) 表現の幅を広げる単語、語彙Unit 17-20の復習 第11回 出る順 語彙 (生活・一般) (3) ここで差のつく単語、語彙Unit 21 (grave~award) 第12回 出る順 語彙 (生活・一般) (4) 最頻出イディオム、語彙Unit 22 (tease~formulate) 第13回 ビジネス編 (1) マネジメント、語彙Unit 23 (alert~feminine) 第14回 ビジネス編 (2) 経済・金融、語彙Unit 24 (faint~retain) 第15回 学期のまとめ・復習と期末試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：毎回行われる単語テストに備えて、授業で解説した単語を覚える（目安とする学習時間：1時間以上） 事後学習：授業で学んだ練習問題をプリントを使って再確認する（目安とする学習時間：1時間以上）						
授業方法	講義とコンピュータソフトを用いた演習						
評価基準と評価方法	TOEIC (50%)、試験 (20%)、小テスト (20%)、ノート作成 (10%) をもとに最終評価を算出する。 単位認定のためには、以下の3つの条件をいずれも満たしていることが必須となる。 1. TOEICの成績=400点以上、 2. 小テストの成績=40%以上 3. 出席=授業回数の3分の2以上						
教科書	『新TOEIC TEST基礎1200語 スコア600レベル』、白野伊津夫・Lisa A. Stefani著、語研、ISBN978-4-87615-125-7 『5-Minute Quizzes for the TOEIC Test Reading 1』、木村 哲夫・John Heissian・ヘシヤン田中ゆき子著、マクミラン ランゲージハウス、ISBN978-4-7773-6253-0						
参考書	『公式TOEIC Listening & Reading 問題集 1』、国際ビジネスコミュニケーション協会、ISBN 978-4-906033-49-2						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Computer Assisted English Learning B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Skillとしての英語力の養成						
授業の概要	英語の理解に必要な英語力と実社会で必要とされる英語運用力（コミュニケーション能力）の効果的学習を目的とする。材料はTOEIC形式の問題を用いる。TOEIC対策が狙いの一つではあるが、もう一つの狙いは英語の4技能を測定する試験として定評のあるTOEICの問題は、英語を学ぶ際に何が重要であるかが示されており、英語の効率的・効果的な学習が可能になるからである。						
到達目標	(1) 英語の4技能が伸びる。 (2) 文法に関する知識が増える。 (3) 実社会で必要とされる語彙力がつく。						
授業計画	第1回 Unit 1 Restaurant (1) Listening Part 第2回 Unit 1 Restaurant (2) Reading Part 第3回 Unit 2 Entertainment (1) Listening Part 第4回 Unit 2 Entertainment (2) Reading Part 第5回 Unit 3 Business (1) Listening Part 第6回 Unit 3 Business (2) Reading Part 第7回 Unit 4 Office (1) Listening Part 第8回 Unit 4 Office (2) Reading Part 第9回 Unit 5 Telephone (1) Listening Part 第10回 Unit 5 Telephone (2) Reading Part 第11回 Unit 6 Letter and E-mail (1) Listening Part 第12回 Unit 6 Letter and E-mail (2) Reading Part 第13回 Unit 7 Health (1) Listening Part 第14回 Unit 7 Health (2) Reading Part 第15回 まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：テープを聴いて解答する問題は予習できないが、それ以外の問題に関しては必ず予習して授業に臨むこと。 授業後学習：授業で学んだことをもう一度確認すること。学んで復習しなければ、学んだことは消えてなくなる。外国語の学習では反復練習が最も効果的な方法なので、わずかな時間でも復習すれば、大きな学習効果が得られる。						
授業方法	講義形式						
評価基準と評価方法	TOEIC (60%)、試験 (20%)、小テスト (20%) をもとに最終評価を算出する。						
教科書	BEST PRACTICE FOR THE TOEIC LISTENING AND READING TEST 吉塚弘、Michael Schauerte著 成美堂 ISBN978-4-7919-6030-9 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	E. Dean						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Preparation 15. Storytelling - Presentations 16. Introduction / Picture Stories - Input 17. Picture Stories - Practice 18. Picture Stories - Presentations 19. Short Speeches - Input 20. Short Speeches - Practice 21. Short Speeches - Presentations 22. Communication Game - Do Your Own Thing! 23. Graded Readers - Input 24. Graded Readers - Practice 25. English Theatre 26. Graded Readers - Presentations 27. Skits - Input 28. Christmas Party 29. Skits - Practice 30. Skits - Presentations 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	E. Dean						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Preparation 15. Storytelling - Presentations 16. Introduction / Picture Stories - Input 17. Picture Stories - Practice 18. Picture Stories - Presentations 19. Short Speeches - Input 20. Short Speeches - Practice 21. Short Speeches - Presentations 22. Communication Game - Do Your Own Thing! 23. Graded Readers - Input 24. Graded Readers - Practice 25. English Theatre 26. Graded Readers - Presentations 27. Skits - Input 28. Christmas Party 29. Skits - Practice 30. Skits - Presentations 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	G. Haase						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Preparation 15. Storytelling - Presentations 16. Introduction / Picture Stories - Input 17. Picture Stories - Practice 18. Picture Stories - Presentations 19. Short Speeches - Input 20. Short Speeches - Practice 21. Short Speeches - Presentations 22. Communication Game - Do Your Own Thing! 23. Graded Readers - Input 24. Graded Readers - Practice 25. English Theatre 26. Graded Readers - Presentations 27. Skits - Input 28. Christmas Party 29. Skits - Practice 30. Skits - Presentations 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English						
担当教員	G. Haase						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Preparation 15. Storytelling - Presentations 16. Introduction / Picture Stories - Input 17. Picture Stories - Practice 18. Picture Stories - Presentations 19. Short Speeches - Input 20. Short Speeches - Practice 21. Short Speeches - Presentations 22. Communication Game - Do Your Own Thing! 23. Graded Readers - Input 24. Graded Readers - Practice 25. English Theatre 26. Graded Readers - Presentations 27. Skits - Input 28. Christmas Party 29. Skits - Practice 30. Skits - Presentations 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	E. Dean						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Preparation 15. Storytelling - Presentations 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	E. Dean						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Preparation 15. Storytelling - Presentations 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	G. Haase						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Preparation 15. Storytelling - Presentations 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書							
参考書	Prints						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English A						
担当教員	G. Haase						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech of 3 or 4 sentences in length on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Who are you? - Input 3. Who are you? - Practice 4. Who are you? - Presentations 5. Poetry, Rhythm and Rhyme - Input 6. Poetry, Rhythm and Rhyme - Practice 7. Poetry, Rhythm and Rhyme - Presentations 8. Communication Game - Who, What, When, Where 9. Tour Guide - Input 10. Tour Guide - Practice 11. Tour Guide - Presentations 12. Storytelling - Input 13. Storytelling - Practice 14. Storytelling - Preparation 15. Storytelling - Presentations 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction / Picture Stories - Input 2. Picture Stories - Practice 3. Picture Stories - Presentations 4. Short Speeches - Input 5. Short Speeches - Practice 6. Short Speeches - Presentations 7. Communication Game - Do Your Own Thing! 8. Graded Readers - Input 9. Graded Readers - Practice 10. English Theatre 11. Graded Readers - Presentations 12. Skits - Input 13. Christmas Party 14. Skits - Practice 15. Skits - Presentations 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction / Picture Stories - Input 2. Picture Stories - Practice 3. Picture Stories - Presentations 4. Short Speeches - Input 5. Short Speeches - Practice 6. Short Speeches - Presentations 7. Communication Game - Do Your Own Thing! 8. Graded Readers - Input 9. Graded Readers - Practice 10. English Theatre 11. Graded Readers - Presentations 12. Skits - Input 13. Christmas Party 14. Skits - Practice 15. Skits - Presentations 						
授業外における学習 (準備学習の内容)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	G. Haase						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction / Picture Stories - Input 2. Picture Stories - Practice 3. Picture Stories - Presentations 4. Short Speeches - Input 5. Short Speeches - Practice 6. Short Speeches - Presentations 7. Communication Game - Do Your Own Thing! 8. Graded Readers - Input 9. Graded Readers - Practice 10. English Theatre 11. Graded Readers - Presentations 12. Skits - Input 13. Christmas Party 14. Skits - Practice 15. Skits - Presentations 						
授業外における学習 (準備学習の内容)	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Oral English B						
担当教員	G. Haase						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	"Monologue-type" oral English activities						
授業の概要	This course will be taught as a complement to Power Speaking I and English I to bring the total amount of spoken English class time to 6 hours per week in the 1st year. The emphasis will be on a wide variety of extended speaking activities including reading aloud and recitation, short presentations and speeches, show-and-tell, talks based on readings, picture compositions etc.						
到達目標	Classroom activities will enable students to: (a) produce well-structured extended speech on a variety of topics, (b) improve all aspects of pronunciation, (c) build confidence in expressing themselves in English in front of others.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction / Picture Stories - Input 2. Picture Stories - Practice 3. Picture Stories - Presentations 4. Short Speeches - Input 5. Short Speeches - Practice 6. Short Speeches - Presentations 7. Communication Game - Do Your Own Thing! 8. Graded Readers - Input 9. Graded Readers - Practice 10. English Theatre 11. Graded Readers - Presentations 12. Skits - Input 13. Christmas Party 14. Skits - Practice 15. Skits - Presentations 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students should read lesson material before each lesson and check new vocabulary.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on: (a) participation (20%), (b) presentations (80%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、正確に内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどで多用される基本的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業オリエンテーション、Readingの技術、Readingの視点 第2回 Chapter 1 What makes Kobe beef so special? (語彙チェックとReading前半) 第3回 Chapter 1 What makes Kobe beef so special? (Reading後半とExercise) 第4回 Chapter 2 What are those backpacks Japanese schoolchildren wear? (語彙チェックとReading前半) 第5回 Chapter 2 What are those backpacks Japanese schoolchildren wear? (Reading後半とExercise) 第6回 Chapter 3 What are the seven things in shichimi? (語彙チェックとReading前半) 第7回 Chapter 3 What are the seven things in shichimi? (Reading後半とExercise) 第8回 Chapter 4 Why does Japan's postal symbol look like that? (語彙チェックとReading前半) 第9回 Chapter 1-3の復習と中間試験 第10回 Chapter 4 Why does Japan's postal symbol look like that? (Reading後半とExercise) 第11回 Chapter 5 Why is there plastic grass in my bento? (語彙チェックとReading前半) 第12回 Chapter 5 Why is there plastic grass in my bento? (Reading後半とExercise) 第13回 Chapter 6 Why is there a 5 o'clock bell? (語彙チェックとReading前半) 第14回 Chapter 6 Why is there a 5 o'clock bell? (Reading後半とExercise) 第15回 Chapter 4-6の復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(目安とする学習時間:1~2時間) 授業後学習: 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(目安とする学習時間:1時間程度)						
授業方法	講義(講読)と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30% 出席が授業回数の3分の2に満たない人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Surprising Japan!2』 Alice Gordenker/John Rucynski著 松柏社 ISBN 978-4-88198-727-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	講読による英語理解						
授業の概要	Power Reading IAは、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成することを目的とする。授業クラスは、入学時に実施される英語テストの成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用い、各レベルに応じた進捗でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を理解する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Chapter 1 Fast Food (1) Reading 第2回 Chapter 1 Fast Food (2) Comprehension Questions, Guided Summary, Warming up for Writing 第3回 Chapter 1 Fast Food (3) Slash Writing, word Order, finding Errors, full Writing 第4回 Chapter 2 Famous Dogs (1) Reading 第5回 Chapter 2 Famous Dogs (2) Comprehension Questions, Guided Summary, Warming up for Writing 第6回 Chapter 2 Famous Dogs (3) Slash Writing, word Order, finding Errors, full Writing 第7回 Chapter 1~2についての確認と質問と試験 第8回 Chapter 3 When Was it Invented? (1) Reading 第9回 Chapter 3 When Was it Invented (2) Comprehension Questions, Guided Summary, Warming up for Writing 第10回 Chapter 3 When Was it Invented (3) Slash Writing, word Order, finding Errors, full Writing 第11回 Chapter 4 Never Give Up (1) Reading 第12回 Chapter 4 Never Give Up (2) Comprehension Questions, Guided Summary, Warming up for Writing 第13回 Chapter 4 Never Give Up (3) Slash Writing, word Order, finding Errors, full Writing 第14回 Chapter 3~4についての復習と確認 第15回 Chapter 3~4についての質問と試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。完全な予習には2時間は必要と考える。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義形式(日本語訳の発表あり)						
評価基準と評価方法	定期試験(2回)70% 小テスト(12回)30%						
教科書	Read Well, Write Better Joan McConnell、武田修一、山内圭 成美堂 ISBN978-4-7919-4787-4 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IA						
担当教員	白川 計子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	英文をその構造を意識しながら読み、正確に内容把握することができる。 多用される基本的語彙の意味と用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業説明・教科書紹介 第2回 Chapter 1 第3回 Chapter 2 第4回 復習と小テスト1 第5回 Chapter 3 第6回 Chapter 4 第7回 復習と小テスト2 第8回 Chapter 5 第9回 Chapter 6 第10回 復習と小テスト3 第11回 Chapter 7 第12回 Chapter 8 第13回 復習と小テスト4 第14回 模擬試験・復習 第15回 期末試験・復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	平常点と小テスト50%、前期試験50%						
教科書	Gordenker, Alice / Rucynski, John. Surprising Japan! 松柏社, 2013 ISBN: 978-4-88198-675-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、正確に内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどで多用される基本的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Chapter 8 How is nori made? (語彙チェックとReading前半) 第2回 Chapter 8 How is nori made? (Reading後半とExercise) 第3回 Chapter 9 Why do Japanese wear masks? (語彙チェックとReading前半) 第4回 Chapter 9 Why do Japanese wear masks? (Reading後半とExercise) 第5回 Chapter 10 What do the dates on food packages mean? (語彙チェックとReading前半) 第6回 Chapter 10 What do the dates on food packages mean? (Reading後半とExercise) 第7回 Chapter 11 Why do Japanese ask about blood type? (語彙チェックとReading前半) 第8回 Chapter 8-10の復習と中間試験 第9回 Chapter 11 Why do Japanese ask about blood type? (Reading後半とExercise) 第10回 英語のスピーチを読む 第11回 2017 Kobe Shoin Speech Contestに出席、宿題: Speech Contestのレポート 第12回 Chapter 12 Do Japanese mosquito coils work? (語彙チェックとReading前半) 第13回 Chapter 12 Do Japanese mosquito coils work? (Reading後半とExercise) 第14回 Chapter 13 Why does miso soup move by itself? (語彙チェックとReading) 第15回 Chapter 11-13の復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(目安とする学習時間:1~2時間) 授業後学習: 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(目安とする学習時間:1時間程度)						
授業方法	講義(講読)と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30% 出席が授業回数の3分の2に満たない人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Surprising Japan!2』 Alice Gordenker/John Rucynski 著 松柏社 ISBN 978-4-88198-727-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	講読による英語理解						
授業の概要	Power Reading IBは、Power Reading IAと同じように、習熟度別クラス編成の下、クラスに応じた教科書を使用し、英語を単語、イディオム、構文のような語法に関することのみならず、文化と社会を含む百科事典的知識についても解説をおこない、英語の総合的読解力の向上を目指す。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Chapter 5 The Migration of the Monarch Butterflies (1) Reading 第2回 Chapter 5 The Migration of the Monarch Butterflies (2) Comprehension Questions, Guided Summary, Warming up for Writing 第3回 Chapter 5 The Migration of the Monarch Butterflies (3) Slash Writing, word Order, finding Errors, full Writing 第4回 Chapter 6 New Foods from the New World (1) Reading 第5回 Chapter 6 New Foods from the New World (2) Comprehension Questions, Guided Summary, Warming up for Writing 第6回 Chapter 6 New Foods from the New World (3) Slash Writing, word Order, finding Errors, full Writing 第7回 Chapter 5~6についての確認と質問と試験 第8回 Chapter 7 Foreign Language Study Makes You a Global Citizen (1) Reading 第9回 Chapter 7 Foreign Language Study Makes You a Global Citizen (2) Comprehension Questions, Guided Summary, Warming up for Writing 第10回 Chapter 7 Foreign Language Study Makes You a Global Citizen (3) 第11回 Chapter 8 Isaac Lufkin (1) Reading 第12回 Chapter 8 Isaac Lufkin (2) Comprehension Questions, Guided Summary, Warming up for Writing 第13回 Chapter 8 Isaac Lufkin (3) Slash Writing, word Order, finding Errors, full Writing 第14回 Chapter 7~8についての復習と確認 第15回 Chapter 7~8についての質問と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。完全な予習には2時間は必要と考える。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義形式（日本語訳の発表あり）						
評価基準と評価方法	定期試験（2回）70% 小テスト（12回）30%						
教科書	Read Well, Write Better Joan McConnell、武田修一、山内圭 成美堂 ISBN978-4-7919-4787-4 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IB						
担当教員	白川 計子						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力の養成						
授業の概要	授業クラスは、入学時に実施される英語の統一試験の成績を基に習熟度別に編成し、各レベルの学生の学力に適した教科書を用いて、各レベルに応じた進度でおこなう。授業では、単語、イディオム、構文のようなことばの説明だけではなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明をもおこなうことによって、より深く内容を理解できるようにする。						
到達目標	英文をその構造を意識しながら読み、正確に内容把握することができる。 多用される基本的語彙の意味と用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Chapter 9 第2回 Chapter 10 第3回 復習と小テスト1 第4回 Chapter 11 第5回 Chapter 12 第6回 復習と小テスト2 第7回 Chapter 13 第8回 Chapter 14 第9回 復習と小テスト3 第10回 Chapter 15 第11回 Useful expressions for presenting your idea 第12回 Speech Contest 第13回 Chapter 9~15の復習 第14回 模擬試験・復習 第15回 期末試験・復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	平常点と小テスト50%、期末試験50%						
教科書	Gordenker, Alice / Rucynski, John. Surprising Japan! 松柏社, 2013 ISBN: 978-4-88198-675-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。あわせて、TOEIC対策としての語彙力の強化も目指す。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどに頻出する実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業オリエンテーション、Readingの技術、Readingの視点 第2回 Unit 1 A Snowman That Neither Melted Nor Stuck (語彙チェックとReading前半) 第3回 Unit 1 A Snowman That Neither Melted Nor Stuck (Reading後半とExercise) 第4回 Unit 2 The Secret Test Pilot (語彙チェックとReading前半) 第5回 Unit 2 The Secret Test Pilot (Reading後半とExercise) 第6回 Unit 3 The Pub, an Endangered British Species (語彙チェックとReading前半) 第7回 Unit 3 The Pub, an Endangered British Species (Reading後半とExercise) 第8回 Unit 4 Sleep Habits in the Mammal Kingdom (語彙チェックとReading前半) 第9回 Unit 1-3の復習と中間試験 第10回 Unit 4 Sleep Habits in the Mammal Kingdom (Reading後半とExercise) 第11回 Unit 5 The Secret Behind the Image (語彙チェックとReading前半) 第12回 Unit 5 The Secret Behind the Image (Reading後半とExercise) 第13回 Unit 6 The Periodic Cicada, an Amazing Survivor (語彙チェックとReading前半) 第14回 Unit 6 The Periodic Cicada, an Amazing Survivor (Reading後半とExercise) 第15回 Unit 4-6の復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(目安とする学習時間：1~2時間) 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(目安とする学習時間：1時間程度)						
授業方法	講義(講読)と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30% 出席が授業回数の3分の2に満たない人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Reading Wonders』、Robert Juppe/Yukio Umaba著、金星堂、ISBN978-4-7647-3999-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成						
授業の概要	2年次のPower Reading II Aは、1年次のPower Reading I A, Bに引き続き、同じ方針の下、英語の読解力のさらなる向上を目指す授業である。繰り返しになるが方針は、語、イディオム、構文のような言葉の説明だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識の説明もおこなうことによって、英文を正確に読み、内容を的確に把握する力を養成する。						
到達目標	(1) 英文を正確に読み、内容を把握する力が身につく。 (2) 単に語学的な知識が身につくだけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などのような人間の行動の背景となる知識を獲得できる。						
授業計画	第1回 Unit 1 Smart Phones Deserve Smart Users (1) Words in Context, Reading 第2回 Unit 1 Smart Phones Deserve Smart Users (2) Reading, Comprehension 1 第3回 Unit 1 Smart Phones Deserve Smart Users (3) Comprehension 2, Vocabulary Practice, Listening 1, Listening 2, Your Opinion 第4回 Unit 2 The Animals in Our Lives (1) Words in Context, Reading 第5回 Unit 2 The Animals in Our Lives (2) Reading, Comprehension 1 第6回 Unit 2 The Animals in Our Lives (3) Comprehension 2, Vocabulary Practice, Listening 1, Listening 2, Your Opinion 第7回 Unit 1~2 についての質問と試験 第8回 Unit 3 Reforming Japan' s Education System (1) Words in Context, Reading 第9回 Unit 3 Reforming Japan' s Educational System (2) Reading, Comprehension 1 第10回 Unit 3 Reforming Japan' s Educational System (3) Comprehension 2, Vocabulary Practice, Listening 1, Listening 2, Your Opinion 第11回 Unit 4 A Hungry Future (1) Words in Context, Reading 第12回 Unit 4 A Hungry Future (2) Reading, Comprehension 1 第13回 Unit 4 A Hungry Future (3) Comprehension 2, Vocabulary Practice, Listening 1, Listening 2, Your Opinion 第14回 Unit 4~5 についての復習と確認 第15回 Unit 4~5についての質問と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：辞書と文法書を片手に自分で考える訓練を重ねることで、どんな文にも対応できる能力と英語に対する感覚が身に付く。完全な予習には2時間は必要と考える。授業には必ず予習して出席すること。 授業後学習：繰り返し覚えることが外国語学習の基本であり、最も効果的な方法だ。授業で習った重要な構文、表現、単語を、たとえわずかな時間であっても復習すれば、大きな力と自信が身につく。						
授業方法	講義形式（日本語の発表あり）						
評価基準と評価方法	定期試験（2回）70% 小テスト（12回）30%						
教科書	What' s Going On in the World? David Peaty、小林果保里 成美堂 ISBN978-4-7919-6027-9 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIA						
担当教員	白川 計子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。あわせて、TOEIC対策としての語彙力の強化も目指す。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどに頻出する実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 授業オリエンテーション、Readingの技術、Readingの視点 第2回 Unit 1 A Snowman That Neither Melted Nor Stuck (語彙チェックとReading前半) 第3回 Unit 1 A Snowman That Neither Melted Nor Stuck (Reading後半とExercise) 第4回 Unit 2 The Secret Test Pilot (語彙チェックとReading前半) 第5回 Unit 2 The Secret Test Pilot (Reading後半とExercise) 第6回 Unit 3 The Pub, an Endangered British Species (語彙チェックとReading前半) 第7回 Unit 3 The Pub, an Endangered British Species (Reading後半とExercise) 第8回 Unit 4 Sleep Habits in the Mammal Kingdom (語彙チェックとReading前半) 第9回 Unit 1-3の復習と中間試験 第10回 Unit 4 Sleep Habits in the Mammal Kingdom (Reading後半とExercise) 第11回 Unit 5 The Secret Behind the Image (語彙チェックとReading前半) 第12回 Unit 5 The Secret Behind the Image (Reading後半とExercise) 第13回 Unit 6 The Periodic Cicada, an Amazing Survivor (語彙チェックとReading前半) 第14回 Unit 6 The Periodic Cicada, an Amazing Survivor (Reading後半とExercise) 第15回 Unit 4-6の復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(目安とする学習時間：1~2時間) 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(目安とする学習時間：1時間程度)						
授業方法	講義(講読)と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30% 出席が授業回数の3分の2に満たない人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Reading Wonders』、Robert Juppe/Yukio Umaba著、金星堂、ISBN978-4-7647-3999-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIB						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。あわせて、TOEIC対策としての語彙力の強化も目指す。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) TOEICテストなどに頻出する実践的語彙の意味と使用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Unit 8 Black Friday (語彙チェックとReading前半) 第2回 Unit 8 Black Friday (Reading後半とExercise) 第3回 Unit 9 Getting High on Gardening (語彙チェックとReading前半) 第4回 Unit 9 Getting High on Gardening (Reading後半とExercise) 第5回 Unit 10 The Throw-Away Cafe! (語彙チェックとReading前半) 第6回 Unit 10 The Throw-Away Cafe! (Reading後半とExercise) 第7回 Unit 11 Lost in Translation (語彙チェックとReading前半) 第8回 Unit 8-10の復習と中間試験 第9回 Unit 11 Lost in Translation (Reading後半とExercise) 第10回 Unit 12 The Very Fortunate Four (語彙チェックとReading前半) 第11回 Unit 12 The Very Fortunate Four (Reading後半とExercise) 第12回 Unit 13 Health, A Salty Reality (語彙チェックとReading前半) 第13回 Unit 13 Health, A Salty Reality (Reading後半とExercise) 第14回 Unit 14 First the Mammoth, Next the Elephant? (ReadingとExercise) 第15回 Unit 11-14の復習と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習(詳細は授業内で指示)(目安とする学習時間：1~2時間) 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理(目安とする学習時間：1時間程度)						
授業方法	講義(講読)と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	中間試験と期末試験70%、単語テストなどに基づく平常点30% 出席が授業回数の3分の2に満たない人は定期試験の受験資格を失うものとする。						
教科書	『Reading Wonders』、Robert Juppe/Yukio Umaba著、金星堂、ISBN978-4-7647-3999-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Reading IIB						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	英語読解力の向上：身近な話題の英文をすばやく正確に読み解く						
授業の概要	さまざまな場面で人々の関心を呼んでいる話題について書かれたテキストを用いて、英文をすばやく正確に読む技能を訓練する。語、イディオム、構文のようなことばの理解だけでなく、文化、政治、歴史、社会状況などの背景的な知識を得ることで、英文を正確に読み、的確に把握する力を養成する。						
到達目標	(1) 英文をその構造を意識しながら読み、すばやく内容把握することができる。 (2) 実践的語彙の意味と用法に習熟する。						
授業計画	第1回 Lesson 13 Jellyfish 第2回 Lesson 14 Glass Artist 第3回 Lesson 15 Brazilian Soccer 第4回 Lesson 16 The Oedipus and Electra Complexes 第5回 Lesson 17 Yahoo! 第6回 Lesson 18 Light Pollution 第7回 Lesson 19 The Variety of English 第8回 Lesson 13～19のまとめと復習、中間試験 第9回 Lesson 20 Virtual Reality Therapy 第10回 Lesson 21 Guy Fawkes Day 第11回 Lesson 22 In 2030 第12回 Lesson 23 Astronauts in Space 第13回 Lesson 24 Crash Test Dummies 第14回 Lesson 20～24のまとめと復習 第15回 期末試験と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	指示された部分の語彙の意味調べや練習問題など、授業前の十分な予習を前提とする。						
授業方法	講義（講読）						
評価基準と評価方法	授業回数の3分の1以上欠席した人は定期試験の受験資格を失うものとする。 中間テストなどに基づく平常点50% 期末試験50%						
教科書	Practical Reading Expert リーディング エキスパート—基礎強化編— 宍戸真、森茂利、鎌田幸雄、Jason Barrows著、成美堂 ISBN978-4-7919-5081-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	予備登録						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	<p>This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.</p> <p>*Class taught entirely in English*</p>						
到達目標	<p>This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse. On course completion students will be able to: introduce s elves, agree/disagree, make plans, discuss free times, p/t jobs and sports, talk about food and drin k and meals, express likes and dislikes, talk about holidays and special events, discuss future holi day plans, and past weekend & holiday activities</p>						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introducing yourself 2. Greetings 3. Sharing personal information 4. Talking about jobs 5. Talking about likes and dislikes 6. Talking about food and drink 7. Review session 8. Talking about habits and routines 9. Talking about sports and exercise 10. Describing present activities 11. Talking about daily activities 12. Talking about past events 13. Talking about problems 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 1 Student Book (3rd Edition): ISBN 9780194602648 Smart Choice 1 Workbook(3rd Edition): ISBN 9780194602624 Wilson, K. Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. Angel						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	<p>This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.</p> <p>*Class taught entirely in English*</p>						
到達目標	<p>This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse. On course completion students will be able to: introduce selves, agree/disagree, make plans, discuss free times, p/t jobs and sports, talk about food and drink and meals, express likes and dislikes, talk about holidays and special events, discuss future holiday plans, and past weekend & holiday activities</p>						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introducing yourself 2. Greetings 3. Sharing personal information 4. Talking about jobs 5. Talking about likes and dislikes 6. Talking about food and drink 7. Review session 8. Talking about habits and routines 9. Talking about sports and exercise 10. Describing present activities 11. Talking about daily activities 12. Talking about past events 13. Talking about problems 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Wilson, K. Smart Choice 1 Student Book (3rd Edition) ISBN 9780194602648 and Smart Choice 1 Workbook (3rd edition) ISBN 9780194602624</p> <p>Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	S. Bibby						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<p>Week</p> <p>1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion</p> <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class.</p> <p>Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon.</p> <p>Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading.</p> <p>At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on:</p> <p>Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Wilson, K. Smart Choice 1 (3rd Edition) Oxford Student Book: ISBN 9780194602648 Workbook: ISBN 9780194602624</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Chatham						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse. On course completion students will be able to: introduce selves, agree/disagree, make plans, discuss free times and sports, talk about holidays and special events, discuss future holiday plans, and past holiday activities						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction, classroom language, vacations 2. Agreeing and disagreeing 3. Activities and plans 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Extreme sports 7. Personal experiences 8. Interviews 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Special events 12. New Years traditions 13. Festivals 14. Expansion 15. Quiz and review <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 (3rd Edition) ISBN 978-0-19-460273-0 Smart Choice 2 Workbook (3rd edition) ISBN 9780194602716 Ken Wilson Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	D. Chatham						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse. On course completion students will be able to: introduce selves, agree/disagree, make plans, discuss free times and sports, talk about holidays and special events, discuss future holiday plans, and past holiday activities						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction, classroom language, vacations 2. Agreeing and disagreeing 3. Activities and plans 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Extreme sports 7. Personal experiences 8. Interviews 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Special events 12. New Year's traditions 13. Festivals 14. Expansion 15. Quiz and review <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 (3rd Edition) ISBN 978-0-19-460273-0 Smart Choice 2 Workbook (3rd edition) ISBN 9780194602716 Ken Wilson Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	B. Plett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse. On course completion students will be able to: introduce selves, agree/disagree, make plans, discuss free times and sports, talk about holidays and special events, discuss future holiday plans, and past holiday activities						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction, classroom language, vacations 2. Agreeing and disagreeing 3. Activities and plans 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Extreme sports 7. Personal experiences 8. Interviews 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Special events 12. New Year's traditions 13. Festivals 14. Expansion 15. Quiz and review <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 (3rd Edition) ISBN 978-0-19-460273-0 Smart Choice 2 Workbook (3rd edition) ISBN 9780194602716 Ken Wilson Oxford</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	B. Plett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse. On course completion students will be able to: introduce s elves, agree/disagree, make plans, discuss free times, p/t jobs and sports, talk about food and drin k and meals, express likes and dislikes, talk about holidays and special events, discuss future holi day plans, and past weekend & holiday activities						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction, classroom language, vacations 2. Agreeing and disagreeing 3. Activities and plans 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Extreme sports 7. Personal experiences 8. Interviews 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Special events 12. New Year's traditions 13. Festivals 14. Expansion 15. Quiz and review <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 Student Book (3rd Edition) ISBN 978-0-19-460273-0 Smart Choice 2 Workbook (3rd Edition) ISBN 9780194602716 Ken Wilson Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IA						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	<p>This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student knowledge of and ability to use colloquial conversation.</p> <p>*Class taught entirely in English*</p>						
到達目標	<p>This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse. On course completion students will be able to: introduce s elves, agree/disagree, make plans, discuss free times and sports, talk about food and drink and meal s, express likes and dislikes, talk about holidays and special events, discuss future holiday plans, and past weekend & holiday activities</p>						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introducing yourself 2. Greetings 3. Sharing personal information 4. Talking about jobs 5. Talking about likes and dislikes 6. Talking about food and drink 7. Review session 8. Talking about habits and routines 9. Talking about sports and exercise 10. Describing present activities 11. Talking about daily activities 12. Talking about past events 13. Talking about problems 14. Review session 15. Revision and listening test <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 1 (3rd Edition) ISBN 978-0-19-460264-8 and Smart Choice 1 Workbook 3rd edition ISBN 9780194602624 K Wilson Oxford</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<p>Week</p> <p>1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion</p> <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class.</p> <p>Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon.</p> <p>Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading.</p> <p>At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on:</p> <p>Written and speaking evaluations 60%</p> <p>Extensive Reading 30%</p> <p>Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 1 Student book (3rd Edition) ISBN 9780194602648</p> <p>Smart Choice 1 Workbook (3rd Edition) ISBN 9780194602624</p> <p>Wilson, K.</p> <p>Oxford</p>						
参考書	J-E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<p>Week</p> <p>1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion</p> <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class.</p> <p>Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon.</p> <p>Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading.</p> <p>At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on:</p> <p>Written and speaking evaluations 60%</p> <p>Extensive Reading 30%</p> <p>Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 1 Student book (3rd Edition) ISBN 9780194602648</p> <p>Smart Choice 1 Workbook (3rd Edition) ISBN 9780194602624</p> <p>Wilson, K.</p> <p>Oxford</p>						
参考書	J-E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	S. Bibby						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<p>Week</p> <p>1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion</p> <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class.</p> <p>Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon.</p> <p>Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading.</p> <p>At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on:</p> <p>Written and speaking evaluations 60%</p> <p>Extensive Reading 30%</p> <p>Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 1 Student book (3rd Edition) ISBN 9780194602648</p> <p>Smart Choice 1 Workbook (3rd Edition) ISBN 9780194602624</p> <p>Wilson, K.</p> <p>Oxford</p>						
参考書	j-E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Shopping 2. Complaints 3. Shopping habits 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Injuries 7. Past events 8. Dramatic events 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Past activities 12. Past habits 13. Family histories 14. Expansion 15. Quiz and review <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 (3rd Edition) ISBN 978-0-19-440273-0 Smart Choice 2 Workbook. (3rd Edition) ISBN 9780194602716 Ken Wilson Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	D. Chatham						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Shopping 2. Complaints 3. Shopping habits 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Injuries 7. Past events 8. Dramatic events 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Past activities 12. Past habits 13. Family histories 14. Expansion 15. Quiz and review <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 (3rd Edition) ISBN 978-0-19-460273-0 Smart Choice 2 Workbook (3rd edition) ISBN 9780194602716 Ken Wilson Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	B. Plett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Shopping 2. Complaints 3. Shopping habits 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Injuries 7. Past events 8. Dramatic events 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Past activities 12. Past habits 13. Family histories 14. Expansion 15. Quiz and review <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 (3rd Edition) ISBN 978-0-19-460273-0 Smart Choice 2 Workbook (3rd edition) ISBN 9780194602716 Ken Wilson Oxford</p>						
参考書	J-E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	B. Plett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	Developing English Communication Skills						
授業の概要	Classes will emphasize the following: language practice from controlled language to freer expression pronunciation and listening practice reading and talk based on reading topics entertaining surveys and games that allow students to add their own information, ideas and opinions.						
到達目標	Improving Students' English Communication Skills in Listening and Speaking						
授業計画	<p>The class syllabus will follow the units in the textbook. Main components of the course and approximate week taught are:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Shopping 2. Complaints 3. Shopping habits 4. Expansion 5. Quiz and review 6. Injuries 7. Past events 8. Dramatic events 9. Expansion 10. Quiz and review 11. Past activities 12. Past habits 13. Family histories 14. Expansion 15. Quiz and review <p>Note: Individual teachers may make adjustments to the week-by-week plan. As this course is taught by two different teachers, one on Tuesday and one of Friday, the Units in the textbook will be divided between them. Individual teachers will, in class, advise the students which Units they should prepare for their classes.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class. Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon. Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading. At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on: Written and speaking evaluations 60% Extensive Reading 30% Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 2 (3rd Edition) ISBN 9780194602730 Smart Choice 2 Workbook. ISBN 9780194602716 Ken Wilson Oxford</p>						
参考書	J-E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IB						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English Conversation						
授業の概要	This course will focus on the essentials for communicating in English: introducing yourself and others, talking about daily life, shopping, exercising, going out and much more. An additional focus will be placed on listening practice and vocabulary building. A particular focus in this class is to develop student's knowledge of and ability to use colloquial conversation.						
到達目標	This course intends to improve students English conversational abilities allowing them to engage comfortably in everyday discourse.						
授業計画	<p>Week</p> <p>1 Unit 7a Making comparisons 2 Unit 7b Clothing 3 Unit 8a Describing people 4 Unit 8b Appearance and personality 5 Unit 9a Talking about cities 6 Unit 9b Local attractions 7 Review 7 - 9 8 Unit 10a Talking about places 9 Unit 10b Places around town 10 Unit 11a Talking about vacations 11 Unit 11b Vacation activities 12 Unit 12a Talking about the future 13 Unit 12b Careers and schools 14 Review 10 - 12 15 Listening test and course conclusion</p> <p>Note that changes are possible owing to student learning requirements.</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should look over each unit of the textbook before class so they will be prepared to participate in class.</p> <p>Students must spend at least 1 hour per week reading an extensive reader outside class. These may be borrowed from the library or peer salon.</p> <p>Students must take a quiz on M-reader (computer system) after finishing a book to record their reading.</p> <p>At the end of the semester students' reading will be measured and graded according to the amount read.</p>						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	<p>Final grade will be based on:</p> <p>Written and speaking evaluations 60%</p> <p>Extensive Reading 30%</p> <p>Attendance 10%.</p>						
教科書	<p>Smart Choice 1 Student book (3rd Edition) ISBN 9780194602648</p> <p>Smart Choice 1 Workbook (3rd Edition) ISBN 9780194602624</p> <p>Wilson, K.</p> <p>Oxford</p>						
参考書	J/E dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	I. Sandhu						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction Week 2: Unit 7 (Talking about famous people) speaking and listening Week 3: Unit 7 viewing and presenting Week 4: Unit 7 further practice Week 5: Choosing a topic for the poster presentation Week 6: Unit 8 (Talking about shopping) speaking and listening Week 7: Unit 8 viewing and presenting Week 8: Unit 8 further practice Week 9: Preparation and practice for poster presentation Week 10: Final practice for poster presentation Week 11: In-class poster presentation contest Week 12: Unit 9 (Talking about health) speaking and listening Week 13: Unit 9 viewing and presenting Week 14: Unit 9 further practice Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%).						
教科書	Stretch - Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	A. J. Silva						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction Week 2: Unit 7 (Talking about famous people) speaking and listening Week 3: Unit 7 viewing and presenting Week 4: Unit 7 further practice Week 5: Choosing a topic for the poster presentation Week 6: Unit 8 (Talking about shopping) speaking and listening Week 7: Unit 8 viewing and presenting Week 8: Unit 8 further practice Week 9: Preparation and practice for poster presentation Week 10: Final practice for poster presentation Week 11: In-class poster presentation contest Week 12: Unit 9 (Talking about health) speaking and listening Week 13: Unit 9 viewing and presenting Week 14: Unit 9 further practice Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%).						
教科書	Stretch - Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIA						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIA is the follow-up course to Power Speaking I. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	Class activity will consist of a variety of communication activities. One part of class time will be dedicated to the preparation and actualization of a poster presentation.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction Week 2: Unit 7 (Talking about the weather) speaking and listening Week 3: Unit 7 viewing and presenting Week 4: Unit 7 further practice Week 5: Choosing a topic for the poster presentation Week 6: Unit 8 (Talking about everyday activities) speaking and listening Week 7: Unit 8 viewing and presenting Week 8: Unit 8 further practice Week 9: Preparation and practice for poster presentation Week 10: Final practice for poster presentation Week 11: In-class poster presentation contest Week 12: Unit 9 (Talking about study activities) speaking and listening Week 13: Unit 9 viewing and presenting Week 14: Unit 9 further practice Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class. Students will also need to spend time researching information for use in their poster presentation, as well as dedicating time for preparation and practice.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (60%), the work on their poster presentation (20%), and a final test (20%).						
教科書	Stretch - Multi-pack 2B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460333-1						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	I. Sandhu						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking IIA. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction Week 2: Unit 10 (Talking about places) speaking and listening Week 3: Unit 10 viewing and presenting Week 4: Unit 10 workbook activities Week 5: Unit 10 review and further practice Week 6: Unit 11 (Talking about music) speaking and listening Week 7: Unit 11 viewing and presenting Week 8: Unit 11 workbook activities Week 9: Unit 11 review and further practice Week 10: Unit 12 (Talking about making plans) speaking and listening Week 11: Unit 12 viewing and presenting Week 12: Unit 12 workbook activities Week 13: Unit 12 review and further practice Week 14: Unit 10-12 Self-Assessment Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (80%) and a final test (20%).						
教科書	Stretch - Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Speaking IIB						
担当教員	A. J. Silva						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	Conversational and topical English speaking						
授業の概要	Power Speaking IIB is the follow-up course to Power Speaking IIA. Students will seek to extend their conversational abilities and situation appropriate language use.						
到達目標	In Power Speaking IIB students will focus on improving their conversational abilities, as well as practice engaging in simple discussion on topics of personal and social interest.						
授業計画	<p>Week 1: Introduction Week 2: Unit 10 (Talking about places) speaking and listening Week 3: Unit 10 viewing and presenting Week 4: Unit 10 workbook activities Week 5: Unit 10 review and further practice Week 6: Unit 11 (Talking about music) speaking and listening Week 7: Unit 11 viewing and presenting Week 8: Unit 11 workbook activities Week 9: Unit 11 review and further practice Week 10: Unit 12 (Talking about making plans) speaking and listening Week 11: Unit 12 viewing and presenting Week 12: Unit 12 workbook activities Week 13: Unit 12 review and further practice Week 14: Unit 10-12 Self-Assessment Week 15: Summary, review and test</p> <p>Note that changes are possible owing to cancelled classes and/or student learning requirements</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students should prepare the appropriate lessons from the textbook before coming to class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Evaluation will be based on participation in class activities (80%) and a final test (20%).						
教科書	Stretch - Multi-pack 1B Susan Stempleski Oxford University Press ISBN 978-0-19-460332-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	J. Angel						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs. This course is taught entirely in English.						
到達目標	You will learn to: <ul style="list-style-type: none"> ・ write about yourself and your hobbies, ・ tell a story ・ use different types of language for formal and informal situations. ・ write descriptions ・ write paragraphs ・ writing paragraphs 						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 1: complete sentences 3) Unit 1: paragraph topics 4) Unit 2: topic sentences 5) Unit 2: combining sentences 6) Unit 3: descriptive paragraphs 7) Unit 3: descriptive paragraphs 8) Unit 4: word maps 9) Unit 4: concluding sentences 10) Unit 5: freewriting 11) Unit 5: peer feedback 12) Unit 6: opinion paragraphs 13) Unit 6: opinion paragraphs 14) Unit 6: opinion paragraphs 15) Review						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	<p>This course is designed to develop skills in formulating and organizing your ideas and expressing those ideas in written English.</p> <p>The aim of this course is to review different sorts of words and usage, clauses, sentences, and paragraphs. The ultimate goal is for you to write correct personal and business letters.</p> <p>You will learn how to write about yourself and your hobbies and use different types of language for formal and informal situations. These are essential skills for your study abroad.</p> <p>This course is taught entirely in English.</p>						
到達目標	<p>You will learn to:</p> <ul style="list-style-type: none"> · write about yourself and your hobbies, · tell a story · use different types of language for formal and informal situations. · write descriptions · write paragraphs 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Chapter 1: nouns, verb, adjectives and adverbs 3) Chapter 2: adjectives and descriptions 4) Chapter 3: countable and uncountable nouns 5) Chapter 4: definite and indefinite articles 6) Writing a CV 7) Chapter 5: the sentence 8) Chapter 6: longer sentences; contrasting clauses 9) Chapter 6: complex sentences: relative clauses 10) Chapter 7: use of 'when' for past actions and for future actions 11) Chapter 8: the paragraph; topic sentences 12) Chapter 8: the paragraph; supporting and concluding sentences 13) Chapter 11: Personal letters 14) Chapter 12: Business letters; formal language 15) Chapter 12: Business letters; peer-editing for style; envelopes 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports.</p> <p>There will be no test.</p>						
教科書	Prints: a re-printed version of 'From Word to Letter' by Peter Mallett and Keiko Yamauchi will be available for purchase at the first lesson. The cost will be less than 1,000 yen.						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing A						
担当教員	B. Plett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs. This course is taught entirely in English.						
到達目標	You will learn to: <ul style="list-style-type: none"> ・ write about yourself and your hobbies, ・ tell a story ・ use different types of language for formal and informal situations. ・ write descriptions ・ write paragraphs 						
授業計画	The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. 1) Introduction 2) Unit 1: complete sentences 3) Unit 1: paragraph topics 4) Unit 2: topic sentences 5) Unit 2: combining sentences 6) Unit 3: descriptive paragraphs 7) Unit 3: descriptive paragraphs 8) Unit 4: word maps 9) Unit 4: concluding sentences 10) Unit 5: freewriting 11) Unit 5: peer feedback 12) Unit 6: opinion paragraphs 13) Unit 6: opinion paragraphs 14) Unit 6: opinion paragraphs 15) Review						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	J. Angel						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	<p>This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English. The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs. It will build on the skills learned in Power Writing A. This course is taught entirely in English.</p>						
到達目標	<p>You will learn to:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ write about yourself and your hobbies, ・ tell a story ・ use different types of language for formal and informal situations. ・ write descriptions ・ write paragraphs ・ writing paragraphs 						
授業計画	<p>The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Unit 7: cause and effect 3) Unit 7: cause and effect 4) Unit 8: expressing personal feelings 5) Unit 8: logical order 6) Unit 9: expressions of time 7) Unit 9: narrative 8) Unit 10: comparisons 9) Unit 10: comparisons 10) Unit 11: cause and effect relationships 11) Unit 11: cause and effect relationships 12) Unit 12: review of brainstorming techniques 13) Unit 12: review of transition expressions 14) Unit 12: writing about the future 15) Review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	<p>Writing Paragraphs Dorothy E Zemach and Carlos Islam Macmillan ISBN 978-0-230-41593-5</p>						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Power Writing B						
担当教員	B. Plett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	2	単位数	1.0
授業のテーマ	English Composition						
授業の概要	<p>This course is designed to develop skills in formulating and organizing ideas and expressing those ideas in written English.</p> <p>The aim of this course is for students to write more complex sentences and build them into paragraphs.</p> <p>It will build on the skills learned in Power Writing A.</p> <p>This course is taught entirely in English.</p>						
到達目標	<p>You will learn to:</p> <ul style="list-style-type: none"> · write about yourself and your hobbies, · tell a story · use different types of language for formal and informal situations. · write descriptions · write paragraphs · writing paragraphs 						
授業計画	<p>The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Unit 7: cause and effect 3) Unit 7: cause and effect 4) Unit 8: expressing personal feelings 5) Unit 8: logical order 6) Unit 9: expressions of time 7) Unit 9: narrative 8) Unit 10: comparisons 9) Unit 10: comparisons 10) Unit 11: cause and effect relationships 11) Unit 11: cause and effect relationships 12) Unit 12: review of brainstorming techniques 13) Unit 12: review of transition expressions 14) Unit 12: writing about the future 15) Review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write short essays or do corrections of work at home.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There is continual assessment in this class. 100% of final grade is based on class participation, homework, essays and reports. There will be no test.						
教科書	<p>Writing Paragraphs</p> <p>Dorothy E Zemach and Carlos Islam</p> <p>Macmillan</p> <p>ISBN 978-0-230-41593-5</p>						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	予備登録						
学期	後期 / 2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	F. Shiobara						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammarは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。Students will be able to speak and write accurately using basic English grammar.						
到達目標	授業では、文法用語の説明は必要最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。						
授業計画	第1回 Unit 30-34 Modals 第2回 Unit 35-37 Would You Like? 第3回 Unit 38-40 There and it 第4回 Unit 41-45 too, either 第5回 Review units 30 - 45 Test 1 & Grammar games 第6回 Unit 46-50 Wh questions 第7回 Unit 53-56 I want.... 第8回 Unit 58-59 Do and make 第9回 Unit 60-65 pronouns 第10回 Review units 46- 65 Test 2 & Grammar games 第11回 Unit 66-71 a & the 第12回 Unit 72-73, 76-77 I like I hate, some, any 第13回 Unit 78-81 somebody, everything nowhere 第14回 Review units 46- 65 Test 3 & Grammar games 第15回 Evaluation and review Grammar quiz game. Note that changes are possible owing to student learning requirements						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	テスト [3回] (60%), 宿題 (40%)						
教科書	The same textbook as first semester will be used.						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	中学・高校で学習した英文法の復習と英文法知識の定着						
授業の概要	Practical English Grammarは、英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。						
到達目標	授業では、文法用語の説明は必要最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない練習問題で学習内容を確認する。教科書は、学校文法に準拠したものを使い、実践的な英文法の知識を与えることを目的とする。Students will be able to speak and write accurately using basic English grammar.						
授業計画	第1回 Unit 30-34 Modals 第2回 Unit 35-37 Would You Like? 第3回 Unit 38-40 There and it 第4回 Unit 41-45 too, either 第5回 Review units 30 - 45 Test 1 & Grammar games 第6回 Unit 46-50 Wh questions 第7回 Unit 53-56 I want.... 第8回 Unit 58-59 Do and make 第9回 Unit 60-65 pronouns 第10回 Review units 46- 65 Test 2 & Grammar games 第11回 Unit 66-71 a & the 第12回 Unit 72-73, 76-77 I like I hate, some, any 第13回 Unit 78-81 somebody, everything nowhere 第14回 Review units 46- 65 Test 3 & Grammar games 第15回 Evaluation and review Grammar quiz game. Note that changes are possible owing to student learning requirements						
授業外における学習（準備学習の内容）	必ず予習をして授業に臨んでください。						
授業方法	実習						
評価基準と評価方法	テスト [3回] (60%), 宿題 (40%)						
教科書	The same textbook as first semester will be used.						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	<p>中学・高校で習得した英文法の復習と英文法知識の定着。</p> <p>英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。</p>						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>用例を中心に文法の解説を行い、練習問題で学習内容を整理する。</p>						
到達目標	<p>中学・高校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。</p>						
授業計画	<p>第1回：文法 Unit 11 助動詞 Chapter 5-5 夏休み報告レポート</p> <p>第2回：文法 Unit 12 名詞 Chapter 3-3 海外留学の勧め</p> <p>第3回：文法 Unit 13 & 14 形容詞と副詞</p> <p>第4回：文法 Unit 15 動名詞と不定詞</p> <p>第5回：文法 Unit 16 & 17 前置詞</p> <p>第6回：文法 Unit 18 比較 復習テスト</p> <p>第7回：文法 Unit 19 受動態と能動態</p> <p>第8回：文法 Unit 20 接続詞</p> <p>第9回：文法 Unit 21 関係代名詞</p> <p>第10回：文法 Unit 22 関係副詞 復習テスト</p> <p>第11回：文法 Unit 23 話法</p> <p>第12回：文法 Unit 24 仮定法</p> <p>第13回：文法のまとめ</p> <p>第14回：口頭発表演習</p> <p>第15回 まとめと復習テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。</p> <p>事後学習：学習内容を整理・復習する。</p>						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が60%、出席や授業に対する積極性などの平常点が40%の総合評価。						
教科書	<p>『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版</p> <p>『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	<p>中学・高校で習得した英文法の復習と英文法知識の定着。</p> <p>英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。</p>						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>用例を中心に文法の解説を行い、練習問題で学習内容を整理する。</p>						
到達目標	<p>中学・高校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。</p>						
授業計画	<p>第1回：文法 Unit 11 助動詞 Chapter 5-5 夏休み報告レポート</p> <p>第2回：文法 Unit 12 名詞 Chapter 3-3 海外留学の勧め</p> <p>第3回：文法 Unit 13 & 14 形容詞と副詞</p> <p>第4回：文法 Unit 15 動名詞と不定詞</p> <p>第5回：文法 Unit 16 & 17 前置詞</p> <p>第6回：文法 Unit 18 比較 復習テスト</p> <p>第7回：文法 Unit 19 受動態と能動態</p> <p>第8回：文法 Unit 20 接続詞</p> <p>第9回：文法 Unit 21 関係代名詞</p> <p>第10回：文法 Unit 22 関係副詞 復習テスト</p> <p>第11回：文法 Unit 23 話法</p> <p>第12回：文法 Unit 24 仮定法</p> <p>第13回：文法のまとめ</p> <p>第14回：口頭発表演習</p> <p>第15回 まとめと復習テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。</p> <p>事後学習：学習内容を整理・復習する。</p>						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が60%、出席や授業に対する積極性などの平常点が40%の総合評価。						
教科書	<p>『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版</p> <p>『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	<p>中学・高校で習得した英文法の復習と英文法知識の定着。</p> <p>英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。</p>						
授業の概要	<p>中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>用例を中心に文法の解説を行い、練習問題で学習内容を整理する。</p>						
到達目標	<p>中学・高校で学んだ英文法の知識を整理し、英文法の知識を定着させる。</p> <p>大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。</p>						
授業計画	<p>第1回：文法 Unit 11 助動詞 Chapter 5-5 夏休み報告レポート</p> <p>第2回：文法 Unit 12 名詞 Chapter 3-3 海外留学の勧め</p> <p>第3回：文法 Unit 13 & 14 形容詞と副詞</p> <p>第4回：文法 Unit 15 動名詞と不定詞</p> <p>第5回：文法 Unit 16 & 17 前置詞</p> <p>第6回：文法 Unit 18 比較 復習テスト</p> <p>第7回：文法 Unit 19 受動態と能動態</p> <p>第8回：文法 Unit 20 接続詞</p> <p>第9回：文法 Unit 21 関係代名詞</p> <p>第10回：文法 Unit 22 関係副詞 復習テスト</p> <p>第11回：文法 Unit 23 話法</p> <p>第12回：文法 Unit 24 仮定法</p> <p>第13回：文法のまとめ</p> <p>第14回：口頭発表演習</p> <p>第15回 まとめと復習テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。</p> <p>事後学習：学習内容を整理・復習する。</p>						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が60%、出席や授業に対する積極性などの平常点が40%の総合評価。						
教科書	<p>『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版</p> <p>『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文法の基礎知識の確認						
授業の概要	Practical English Grammarは英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。授業では、文法用語の説明は最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない、練習問題で学習内容を確認する。						
到達目標	英文法の基礎知識と基本的な英文作成能力が見につく。						
授業計画	第1回 進行形：形式と意味 第2回 進行形：反復的継続を表す進行形 第3回 現在完了形 第4回 過去完了形 第5回 未来表現 第6回 未来進行形 第7回 完了進行形 第8回 未来完了形 第9回 助動詞：根源的用法のcan, could 第10回 助動詞：陳述緩和的用法のcan 第11回 助動詞：may, might 第12回 助動詞：must 第13回 助動詞：should, ought to 第14回 助動詞＋完了不定詞 第15回 まとめと質問と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習 英文法の基本的事項を扱うので、事前にできる範囲で問題を解いてきてください。 授業後学習 授業で習ったことは、復習して確かな知識としましょう。復習は軽く目を通す程度で十分です。繰り返すことが重要です。繰り返さないと、脳に記憶されません。						
授業方法	講義形式（授業での発表もあり）						
評価基準と評価方法	試験（50%）と小テスト（50%）						
教科書	プリント使用						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Practical English Grammar B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	1	単位数	1.0
授業のテーマ	英文法の基礎知識の確認						
授業の概要	Practical English Grammarは英語の4技能の強化をはかるための基礎科目である。中学校・高等学校で学んだ英文法の知識を整理し、十分に理解しておくことは、外国語である英語を理解する上で必要不可欠なものであるのみならず、最も効果的で効率のよい学習方法である。授業では、文法用語の説明は最小限度にとどめ、用例を中心に文法の各項目の解説をおこない、練習問題で学習内容を確認する。						
到達目標	英文法の基礎知識と基本的な英文作成能力が見につく。						
授業計画	第1回 to不定詞：名詞的用法、形容詞的用法 第2回 to不定詞：副詞的用法 第3回 to不定詞を用いた構文：enough to do構文 第4回 to不定詞を用いた構文：too ~ to do構文 第5回 to不定詞を用いた構文：be to do構文 第6回 to不定詞を用いた構文：主語の特徴を述べる文 第7回 to不定詞を用いた構文：It is natural (necessary, desirable, etc.) for ~ to do構文 第8回 to不定詞を用いた構文：It is kind (brave, rude, etc) of ~ to do構文 第9回 動名詞の用法 第10回 目的語に動名詞またはto不定詞をとる動詞の分類と用法 第11回 現在分詞と過去分詞の用法 第12回 心理動詞の現在分詞と過去分詞の用法 第13回 現在分詞と過去分詞を用いた構文：come singing, go shoppingなど 第14回 have + 目的語 + 過去分詞構文と使役構文 第15回 まとめと質問と試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習 英文法の基本的事項を扱うので、事前にできる範囲で問題を解いてきてください。 授業後学習 授業で習ったことは、復習して確かな知識としましょう。復習は軽く目を通す程度で十分です。繰り返すことが重要です。繰り返さないと、脳に記憶されません。						
授業方法	講義形式（授業での発表もあり）						
評価基準と評価方法	試験（50%）と小テスト（50%）						
教科書	プリント使用						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングA/Advanced Speaking A						
担当教員	予備登録						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングA/Advanced Speaking A						
担当教員	E. Dean						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a ' daily conversation ' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	1 Food part 1 - Talking about food & street food 2 Food part 2 - Agreeing & disagreeing 3 Food part 3 - Expansion activities 4 Presentation 1 - Food 5 Introduction to Poster Presentations 6 Planning poster presentations 7 Editing poster presentations 8 Poster Presentations 9 Festivals part 1 - Talking about festivals in your city & unusual festivals 10 Festivals part 2 - Making and responding to suggestions 11 Festivals part 3 - Expansion activities 12 Presentations - Festivals 13 Jobs part 1 - Talking about jobs & future careers 14 Jobs part 2 - Making predictions about the future 15 Jobs part 3 - Expansion activities						
授業外における学習(準備学習の内容)	Project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire Student Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングA/Advanced Speaking A						
担当教員	C. Tat						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a ' daily conversation ' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	1 Food part 1 - Talking about food & street food 2 Food part 2 - Agreeing & disagreeing 3 Food part 3 - Expansion activities 4 Presentation 1 - Food 5 Introduction to Poster Presentations 6 Planning poster presentations 7 Editing poster presentations 8 Poster Presentations 9 Festivals part 1 - Talking about festivals in your city & unusual festivals 10 Festivals part 2 - Making and responding to suggestions 11 Festivals part 3 - Expansion activities 12 Presentations - Festivals 13 Jobs part 1 - Talking about jobs & future careers 14 Jobs part 2 - Making predictions about the future 15 Jobs part 3 - Expansion activities						
授業外における学習(準備学習の内容)	Project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire Student Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングA/Advanced Speaking A						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a ' daily conversation ' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	1 Food part 1 - Talking about food & street food 2 Food part 2 - Agreeing & disagreeing 3 Food part 3 - Expansion activities 4 Presentation 1 - Food 5 Introduction to Poster Presentations 6 Planning poster presentations 7 Editing poster presentations 8 Poster Presentations 9 Festivals part 1 - Talking about festivals in your city & unusual festivals 10 Festivals part 2 - Making and responding to suggestions 11 Festivals part 3 - Expansion activities 12 Presentations - Festivals 13 Jobs part 1 - Talking about jobs & future careers 14 Jobs part 2 - Making predictions about the future 15 Jobs part 3 - Expansion activities						
授業外における学習(準備学習の内容)	Project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire 2 Pamela Hartman, Nancy Douglas, and Andrew Boon National Geographic Learning / Cengage Learning 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンストスピーキングB/Advanced Speaking B						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングB/Advanced Speaking B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a ' daily conversation ' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Nature part 1 - Talking about adventure travel 2. Nature part 2 - Talking about Pros & Cons 3. Nature part 3 - Expansion activities 4. Presentation 1 - Nature 5. Introduction to Public Speaking 6. Planning and writing a speech 7. Editing and practicing speeches 8. Speech Presentations 9. Conservation part 1 - Talking about endangered animals 10. Conservation part 2 - Talking about problems & solutions 11. Conservation part 3 - Expansion activities 12. Presentations 2 - Conservation 13. Happiness part 1 - Talking about happiness & happy places 14. Happiness part 2 - Comparing & contrasting 15. Happiness part 3 - Expansion activities 						
授業外における学習(準備学習の内容)	project/presentation preparations						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos						
評価基準と評価方法	<p>Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations</p> <p>Class participation: 40 %</p> <p>Assignments: 20%</p> <p>Projects and presentations: 40%</p>						
教科書	<p>Inspire Book 2</p> <p>By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon</p> <p>Published by: National Geographic and Cengage Learning</p> <p>Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングB/Advanced Speaking B						
担当教員	C. Tat						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a ' daily conversation ' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Nature part 1 - Talking about adventure travel 2. Nature part 2 - Talking about Pros & Cons 3. Nature part 3 - Expansion activities 4. Presentation 1 - Nature 5. Introduction to Public Speaking 6. Planning and writing a speech 7. Editing and practicing speeches 8. Speech Presentations 9. Conservation part 1 - Talking about endangered animals 10. Conservation part 2 - Talking about problems & solutions 11. Conservation part 3 - Expansion activities 12. Presentations 2 - Conservation 13. Happiness part 1 - Talking about happiness & happy places 14. Happiness part 2 - Comparing & contrasting 15. Happiness part 3 - Expansion activities 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire Student Book 2 By Pamela Hartmann, Nancy Douglas and Andrew Boon Published by: National Geographic and Cengage Learning Student book 2 ISBN: 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンススピーキングB/Advanced Speaking B						
担当教員	J. G. Ueno						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Conversational English and Public Speaking						
授業の概要	This course is intended to develop students' oral communication skills from a ' daily conversation ' level to an intermediate level of ability						
到達目標	Class activities will help students use English appropriately to share personal information and experiences, formulate and express opinions, and initiate and maintain exchanges. Public speaking practice will include the making of poster presentations.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Nature part 1 - Talking about adventure travel 2. Nature part 2 - Talking about Pros & Cons 3. Nature part 3 - Expansion activities 4. Presentation 1 - Nature 5. Introduction to Public Speaking 6. Planning and writing a speech 7. Editing and practicing speeches 8. Speech Presentations 9. Conservation part 1 - Talking about endangered animals 10. Conservation part 2 - Talking about problems & solutions 11. Conservation part 3 - Expansion activities 12. Presentations 2 - Conservation 13. Happiness part 1 - Talking about happiness & happy places 14. Happiness part 2 - Comparing & contrasting 15. Happiness part 3 - Expansion activities 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Project/presentation preparation						
授業方法	Lecture focusing on listening and speaking skills, including pair and group work and videos.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation, assignments, projects and presentations Class participation: 40 % Assignments: 20% Projects and presentations: 40%						
教科書	Inspire 2 Pamela Hartman, Nancy Douglas, and Andrew Boon National Geographic Learning / Cengage Learning 978-1-133-96368-4						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA/Advanced Writing A						
担当教員	予備登録						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA/Advanced Writing A						
担当教員	S. Bibby						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English research and academic writing skills						
授業の概要	The course provides an introduction to academic writing, and builds on the composition skills students learned in earlier courses. The focus is on writing paragraphs. *This course is taught entirely in English*						
到達目標	Students will improve: * sentence structure * tense control Students will learn: * key lexical items to start sentences and paragraphs, and to link ideas *how to link sentences to create coherent, cohesive paragraphs Students will practice: *writing sentences and paragraphs about a range of topics, in different genres *writing 'topic sentences' - to introduce the main idea of a paragraph						
授業計画	1. Introductions, getting started with ICT tools (Google Drive) 2. Making questionnaires 3. Editing questionnaires (2) 4. What is a topic sentence? 5. Writing topic sentences (2) 6. Good interviews 7. Interviewing 8. What are supporting sentences? 9. Supporting sentences (2) 10. Concluding sentences 11. Research project (1) learn software usage, design questionnaire instrument 12. Research project (2) finish questionnaire, send out using appropriate software(s), collate and analyse data 13. Research project (3) write up findings 14. Research project (4) finish research paper, and submit slideshow of key points 15. Review						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will have to do some writing work at home in preparation for class. You will be expected to revise and rewrite, based on your own corrections, peer feedback and teacher feedback. All work is done using Google Drive tools.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	20% participation and attendance 80% effective completion of writing project(s)						
教科書	Research and Write: Essential Skills for Academic Writing by Andy Boon Macmillan Publishing ISBN 978-4-7773-6516-6						
参考書	You should have access to a good dictionary - hard copy or digital.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA/Advanced Writing A						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English composition						
授業の概要	This course will build on the composition skills students have previously learned and provide an introduction to academic writing. Students will learn to write good paragraphs and build them into an essay. The course will be particularly useful for students considering writing a graduation thesis. The course is taught entirely in English.						
到達目標	This course will teach you to write paragraphs and build them into essays. You will learn to write descriptions and processes and express opinions.						
授業計画	<p>The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. Student input in the content of this course is welcome.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Process writing/Getting ready to write 3) Writing topic sentences 4) What is a paragraph? 5) Using a thesaurus. Book reports 6) The development of a paragraph 7) Concluding sentences 8) Descriptive and process paragraphs 9) Opinion paragraphs - facts and opinions 10) Opinion paragraphs; Transition words 11) Correcting and Peer Editing; Problem-solution paragraphs 12) Problem-solution paragraphs 13) Cause and effect paragraphs 14) Comparison and contrast paragraphs 15) Review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write at home. You will be expected to revise and rewrite work after it has been marked. You will also have to read in English to improve your vocabulary.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Final grades (100%) will be based on work in class and written assignments. There will be at least one book report and one major writing project before the end of the semester. There will be no exam.						
教科書	Writing Essays: From Paragraph to Essay Dorothy E. Zemach (Macmillan Languagehouse) ISBN: 978-0-2304-1592-8						
参考書	Please bring an English dictionary to this class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングA/Advanced Writing A						
担当教員	山内 啓子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	学術的な英文ライティング						
授業の概要	アカデミックな文書を書くために1,2年次で培ったパラグラフライティングの能力を発展させます。この授業では基本である文法上の規則を再認識することから始め、メモ書き・下書き・見直し・編集を経て、より良い文書作成へと進めてゆきます。その際に様々なライティングのルールや方法を学び、幅広いテーマについて、記述、物語、論証などの様々な文体を書く能力を身につけます。						
到達目標	パラグラフの書き方のルールが分かり、前期にはトピックセンテンスの機能、導入、主要部が明快になったパラグラフが書けるようになります。						
授業計画	<p>アカデミック文書を書くための方法や約束事を学び、それらを習熟するために様々な文章を書き、点検し実力をつけていきます。 そのためにテキストを活用しながら授業を行います。</p> <p>前期: Stage 1: unit 1-4</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction: 単語レベルの確認 (品詞等) 語彙の充実 2. unit 1: 段落vsパラグラフ 1- differences 3. unit 1: 段落vsパラグラフ 2 - paragraph construction rules 4. unit 2: パラグラフの構造 I- topic sentence 5. unit 2: パラグラフの構造 I- topic sentence revision 6. revise unit 1&2 + test 7. unit 3: パラグラフの構造 II- development of a paragraph - support sentences 8. unit 3: パラグラフの構造 II- development of a paragraph - more support sentences + revision 9. unit 4: パラグラフの構造 III - development of a paragraph - concluding sentence 10. unit 4: パラグラフの構造 III - development of a paragraph - overall revision 11. revise unit 3&4 + test 12. unit 5: パラグラフ演習 I - character description 13. unit 5: パラグラフ演習 II - descriptive paragraph revision 14. term end test + revision 15. Overall Review 						
授業外における学習 (準備学習の内容)	<p>授業前学習: テキストを読み、書かれている内容を理解しておくこと。 授業後学習: 課題を作成し、必ず次の授業で提出すること。</p>						
授業方法	授業中には個人の書く文章を個別に添削したり、板書で手本を示し、分り易い丁寧な授業を行います。ほぼ毎週ワープロの打ち出し原稿提出の課題があります。						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、小テスト、提出物等の累積評価を試験に加味します。 提出課題50%, 平常小テスト20%, 期末課題20%, 積極的 授業参加10%						
教科書	静哲人著 『Writing Facilitator 構造から学べるパラグラフライティング入門』 松柏社 ISBN4-88198-537-X						
参考書	授業中にプリントで配布します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB/Advanced Writing B						
担当教員	予備登録						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画	予備登録用です。 シラバスの内容については、担当者名の入ったものを参照ください。						
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB/Advanced Writing B						
担当教員	S. Bibby						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English research and academic writing						
授業の概要	This course builds on the research and composition skills of earlier writing courses, and extends the writing practice of 'Advanced Writing A', providing an introduction to academic writing. * This class is conducted entirely in English*						
到達目標	Students will progress from the linked 'Writing A' and continue to improve: * sentence structure * tense control Students will learn: * key lexical items to start sentences and paragraphs, and to link ideas * how to link sentences to create coherent, cohesive paragraphs Students will practice: * writing sentences and paragraphs about a range of topics, in different genres * writing 'topic sentences' - to introduce the main idea of a paragraph In the second part of this A/B course, students will also * examine introductions and conclusions * practice further genres * write creative Halloween-themed output						
授業計画	The course content is subject to change depending on student level and is necessarily tentative. Student input into course content is welcome. 1. What is a paragraph? 2. From paragraph to essay 3. Using secondary data 4. Referencing 5. Citing and referencing 6. Paraphrasing writing 7. Paraphrasing and summarizing 8. What is an argumentative essay? 9. Writing an argumentative essay 10. The argumentative essay: re-writing and editing 11. Research and 'mini-thesis' writing (1): research questions and questionnaire instrument 12. Research and 'mini-thesis' writing (2): finish questionnaire, send out, collect data 13. Research and 'mini-thesis' writing (3): analyst data, start write-up 14. Research and 'mini-thesis' writing (4): complete write-up 15. Complete 'mini-thesis', peer checks, review research and writing skills						
授業外における学習(準備学習の内容)	Some research and written work is required out of class. You will need to do this to be prepared for class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	20% participation and attendance 80% research and writing assignments There is no exam outside (after) class time.						
教科書	Research and Write: Essential Skills for Academic writing by Andy Boon ISBN 978-4-7773-6516-6						
参考書	You should have access to a good dictionary.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB/Advanced Writing B						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	English composition						
授業の概要	This course will build on the composition skills learned in 'Advanced Writing A', providing an introduction to academic writing. You will start to write academic essays. The course will be particularly useful for students considering writing a graduation thesis in English. The course is taught entirely in English.						
到達目標	You will learn to write formal essays, book and film reviews.						
授業計画	<p>The exact contents of this course are subject to change based on the needs and abilities of the students. Student input in the content of this course is welcome.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction/ recap 2) The Structure of an Essay 3) Introductions 4) Conclusions 5) Writing an outline. Thesis statements 6) Making a speech/ Book reviews 7) a person I admire 8) Descriptive essay : a person I admire 9) an interesting place 10) Descriptive essay : an interesting place 11) Letter to Santa 12) Shoin Speech Contest: thesis statements; introductions and conclusions. 13) What is a film review? 14) Writing a film review 15) Corrections and review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to write at home. You will be expected to revise and rewrite work after it has been marked. You will also have to read in English to improve your vocabulary.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Final grades (100%) will be based on work in class and written assignments. There will be several essays in this semester. There will be no exam.						
教科書	Writing Essays: From Paragraph to Essay Dorothy E. Zemach (Macmillan Languagehouse) ISBN: 978-0-2304-1592-8						
参考書	Please bring an English dictionary to this class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	アドバンスライティングB/Advanced Writing B						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	学術的な英文ライティング						
授業の概要	アカデミックな文書を書くために1,2年次で培ったパラグラフライティングの能力を発展させます。この授業では前期学んだパラグラフライティングの知識を用いて、様々なスタイルのライティングができるように学びます。						
到達目標	パラグラフの書き方のルールが分かり、後期には比較検討、意見文など論証の文章が書けるようになります。						
授業計画	<p>前期に引き続き、アカデミック文書を書くための方法や約束事を学び、それらを習熟するために様々な文章を書き、点検し実力をつけていきます。そのためにテキストを活用しながら授業を行います。</p> <p>後期: Stage 2: unit 5-12</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction + revision 2. unit 5: 説明文 explanation 3. unit 5: 説明文 2 推敲 4. unit 6: 小テスト + 描写文 description 5. unit 6: 描写文 2 推敲 6. unit 7: 小テスト + 意見文 opinion 7. unit 8: 指示文 instruction 8. unit 9: 小テスト + 比較検討文 compare and contrast 9. unit 9: 比較検討文 2 推敲 10. unit 10: 小テスト + 日本文化の説明 explaining Japanese culture 11. unit 11: データ説明 describing data expressed in graphs 12. unit 12: サマリー 13. unit 12: サマリー 2 推敲 14. term end test + revision 15. Overall Review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前学習: テキストを読み、書かれている内容を理解しておくこと。</p> <p>授業後学習: 課題を作成し、必ず次の授業で提出すること。</p>						
授業方法	<p>授業中には個人の書く文章を個別に添削したり、板書で手本を示し、分り易い丁寧な授業を行います。</p> <p>ほぼ毎週ワープロの打ち出し原稿提出の課題があります。</p>						
評価基準と評価方法	<p>授業への積極参加、小テスト、提出物等の累積評価を試験に加味します。</p> <p>提出課題50%, 平常小テスト20%, 期末テスト20%, 積極的 授業参加10%</p>						
教科書	<p>静哲人著 『Writing Facilitator 構造から学べるパラグラフライティング入門』 松柏社 ISBN4-88198-537-X</p>						
参考書	<p>授業中にプリントで配布します。</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	意味と運用A						
担当教員	郡司 隆男						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	単語と文の「意味」に関する様々な問題を考えます。						
授業の概要	<p>この授業では、ことばの大事な要素である、単語と文の「意味」をめぐる多様な問題を通じて、ことばとそれを使う人間をより深く理解することを目的とします。少しでも、ことばを見る目が深まることを期待します。</p> <p>ことばには、「形式(音)」と「内容(意味)」という2つの側面があります。この中でも特に重要なのは、「意味」です。ことばを理解するということは、そのことばの「意味」を理解することであり、ものを考えるというのも、ものごとの「意味」を考えるということに他ならないからです。</p> <p>あらためて「意味」とは何かと考えると、とても難しい問題であることに気づくと思います。この授業では、英語や日本語の日常のことばの使用例の中から、単語と文の「意味」にまつわるさまざまな現象を取り上げ、それらを整理しつつ、一定の原則にまとめていきます。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語や日本語の日常のことばの使用例の中から、「意味」に関する現象を指摘することができる。 2. 日常言語の使用例における、「意味」に関する現象を一般的な原則にまとめて理解することができる。 3. ことばの使い方の論理的な誤りを指摘することができる。 4. 単語と文それぞれの文法的なふるまいの違いを説明できる。 						
授業計画	<p>まず、単語の意味の成り立ちを整理し、単語どうしの意味には規則的な関係があることを見ます。その上で、単語の意味がどのようにして文の意味につながっていくのかを系統的に解説していく予定です。</p> <p>以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定です。</p> <p>第1回：この授業で学ぶこと 第2回：知っているようで知らない「意味」 第3回：「意味」とは何か、語の意味 第4回：単語の構造 (1) 形態素 第5回：単語の構造 (2) 単語の性質 第6回：文の意味 (1) 文の意味論 第7回：文の意味 (2) 文の意味論：練習問題 第8回：意味と論理 (1) ことばと世界 第9回：意味と論理 (2) 論理と推論 第10回：意味と論理 (3) ことばと状況 第11回：演繹と推測 (1) 演繹と推測の違い 第12回：演繹と推測 (2) 仮説形成 / 前期のまとめ 第13回：条件構造 (1) 逆・裏・対偶 第14回：条件構造 (2) 条件連鎖 第15回：条件構造 (3) 練習問題8</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>事前に配られた資料は授業の前に読んでおくこと。</p> <p>テーマの区切りごとに課題を出します。その際に自分の理解の不十分なところがあったら自分で調べるなどして補っておくこと。</p>						
授業方法	<p>配布資料などにしたがって、講義形式で進めていきます。</p> <p>練習問題の一部は授業中に一緒に考えていき、その場で解答してもらいます。一部は宿題とし、その採点結果は、成績評価の材料にします。</p>						
評価基準と評価方法	<p>授業中の小テストの出来具合(70%以上)に授業への取り組み方(10%)、学期末の試験ないしレポート(20%以下)を考慮して成績をつけます。</p>						
教科書	manaba により提示していきます。一部はハンドアウトを用意します。						
参考書	<p>『意味と文脈』(今仁生美・金水敏、岩波書店)、 『単語と文の構造』(郡司隆男、岩波書店)、 『ことばの科学ハンドブック』(郡司隆男・西垣内泰介編著、研究社)、 『形態論と意味』(影山太郎、くろしお出版)、 その他、授業時間中に指示します。</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	意味と運用B						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	文の「意味」、さらに、一文を越えた、ことばの使用場面に関わる「意味」の問題を考えます。						
授業の概要	<p>ことばの「意味」をめぐる多様な問題を通じて、ことばを使う人間をより深く理解することを目的とします。</p> <p>今まで何げなく使っていたことばの使い方に潜む深い原理を理解することを期待します。</p> <p>文と文の間の論理的な関係を理解するとともに、論理では捉えきれない意味の多彩さについても考えます。意味の問題を通して、言語の不思議さ・おもしろさを経験してもらう予定です。</p> <p>授業では、英語や日本語の日常の場面に即したことばの使用例から、会話の相手に話し手の意図がどのように伝わっていくかを整理して、そこに見出される一定の法則性を明らかにしていきます。</p> <p>また、文章・談話の意味を考えることを通じて、論理的に効果のある話し方を事例に即して考えていきます。</p>						
到達目標	<p>(1) 文と文の間の論理的な関係が理解できる。</p> <p>(2) 文と文の間の論理的な関係を超越する性質の区別ができる。</p> <p>(3) 日常言語で、話し手の意図を伝えるための方略が説明できる。</p> <p>(4) より効果的な話し方、相手の気持ちに沿った話し方ができる。</p>						
授業計画	<p>以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定です。</p> <p>第1回：この授業で学ぶこと 第2回：What is pragmatics? 第3回：Entailment 第4回：Presupposition 第5回：The co-operative principle and implicature 第6回：More on implicatures 第7回：Speech acts 第8回：More about speech acts 第9回：Politeness 第10回：Making sense 第11回：日本語のボイス：受動文 第12回：日本語のボイス：使役文 第13回：日本語のテンス：主文のテンス 第14回：日本語のテンス：従属文のテンス 第15回：まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>教科書、事前に配られた資料は授業の前に読んでおくこと。</p> <p>原則として毎週課題を出します。その際に自分の理解の不十分なところがあったら自分で調べるなどして補っておくこと。</p>						
授業方法	<p>配布資料、教科書にしたがって、講義形式で進めていきます。</p> <p>練習問題の一部は授業中に一緒に考えていき、その場で解答してもらいます。一部は宿題とし、その採点結果は、成績評価の材料にします。</p>						
評価基準と評価方法	<p>授業中の小テストの出来具合（70%以上）、授業への取り組み方（10%）、学期末の試験ないしレポート（20%以下）を考慮して成績をつけます。</p>						
教科書	<p>Pragmatics (Jean Stilwell Pececi, Routledge, 1999, ISBN: 0-415-20523-9) その他ハンドアウトを用意します。</p>						
参考書	<p>『新版 論理トレーニング』（野矢茂樹、産業図書）、 『はじめての人の日本語文法』（野田尚史、くろしお出版）、 その他 授業時間中に指示します。</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	歌・ドラマで学ぶ英語A/English through Music and Drama A						
担当教員	C. Tat						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Fantasy in English literature through song and drama						
授業の概要	This course will introduce students to works of fantasy in English literature, such as Mother Goose Nursery Rhymes, Alice in Wonderland, and so on. Students will study the cultural and social background of these works, as well as experience the pleasure that literature can give them by doing recitations, and performing dialogue and song. These activities will help students develop their pronunciation and self-confidence, while drama games will require students to use their imagination and express emotion.						
到達目標	After finishing this course you will have a better understanding of literature, as well as some experience with literary expression in performance and an appreciation for its value in education.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction - Children's Literature 2. Word of Mouth - Mother Goose 3. Rhythm, Rhyme and Recitation - Children's Verse 4. Rhythm, Rhyme and Recitation - Light Verse 5. Individual Presentation 6. Lewis Carroll and the 'Alice' Books 7. Cheshire Cat 8. The Mad Hatter's Tea Party 9. Screenplay Transcription and Performance 10. Musical Theatre in London's West End 11. P.L. Travers and her 'Mary Poppins' Books 12. Mary Poppins - Introduction & The Movie (1)/ Q&A 13. Mary Poppins - The Movie (2)/ Q&A & Songs 14. Group Presentation 15. Review and Test 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read lesson material before class. Prepare for presentations and end of semester test.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	participation 20%, presentations 40%, end-of-term test 40%						
教科書	Prints prepared by the teacher						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	歌・ドラマで学ぶ英語B/English through Music and Drama B						
担当教員	C. Tat						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Realism in English literature through song and drama						
授業の概要	This course will introduce students to works in English that portray the reality of social conditions and the complexity of human relations, such as the 19th-century <i>Oliver Twist</i> and the more contemporary popular and folk music of the 1960s. Students will explore the historical and social background of these works, and experience the pleasure that literature can give them through a variety of performance activities in the classroom.						
到達目標	After finishing this course you will have a better understanding of literature, as well as some experience with literary expression in performance and an appreciation for its value in education.						
授業計画	<p>Introduction</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Popular Music in the 1960s 2. The Beatles - Early Career 3. The Beatles - Later Career 4. The Beatles - Presentations 5. Charles Dickens, 19th Century London, and <i>Oliver Twist</i> 6. <i>Oliver!</i> - Introduction & The Movie (1)/ Q&A 7. <i>Oliver!</i> - Discussion & The Movie (2)/ Q&A 8. <i>Oliver!</i> - The Movie (3)/ Q&A & Songs 9. <i>Oliver!</i> - Presentations 10. Popular Music - Songs with a Story 11. Song Presentation - Introduction & Preparation 12. Song Presentation - Preparation & Practice 13. PowerPoint Presentations 14. Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Read lesson material before class. Prepare for presentations and end of semester test.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	participation 20%, presentations 40%, end-of-term test 40%						
教科書	Prints prepared by the teacher						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	エアラインイングリッシュ						
担当教員	安藤 裕子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	エアライン（航空業界）を素材にして、英語でのCommunication能力を習得、向上させる						
授業の概要	エアラインイングリッシュでは、英語による基本的な自己紹介から、実際のエアラインの面接試験の質疑で問われるような高度な質問まで、広範囲にわたって英語による質疑応答を学習し、国内エアラインの英会話面接のみならず、外資系エアラインの試験にも対応できるようなコミュニケーション能力を身につける。さらに、望まれる素養・適性はなにか、面接の際の態度と言ったことも学ぶ。同時に、機内アナウンス、機内での会話、エアライン用語なども学習し、エアラインで必要とされる英語力の総合的な向上を目指す。エアラインを志望しない学生のかたも、興味深く楽しんで学習できる内容です。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語による自己紹介ができるようになる、航空業界への志望理由を述べるができるようになる 2. 乗客としても乗務員としても、機内で必要な会話のほとんどを英語でできるようになる 3. 英語の機内アナウンスを、理解でき、かつ実施できるようになる 4. 「エアライン」に関する専門用語を習得する 						
授業計画	<p>Part1 Interview Questions</p> <p>第1回. Basic Questions (名前、家族 etc.)</p> <p>第2回. Basic Questions (出身地、アルバイト etc.)</p> <p>第3回. Have you ever been abroad? (海外経験 etc.)</p> <p>第4回. How is your command of English? (英語力 etc.)</p> <p>第5回. What did you enjoy most in your school days? (日常生活 etc.)</p> <p>第6回. What do you do to stay fit? (健康管理・体力づくり etc.)</p> <p>第7回. Motives & Reasons (志望動機) および 中間試験</p> <p>Part2 In-flight English</p> <p>第8回. 1. Before Departure</p> <p>第9回. 2. Liquor Service</p> <p>第10回. 3. Meal Service</p> <p>第11回. 4. In-flight Sales</p> <p>第12回. 5. Customs, Immigration and Quarantine & 6. In-flight Entertainment</p> <p>第13回. 7. Airsick Passenger</p> <p>第14回. 8. In-flight information</p> <p>第15回. 9. After Landing & Faresell, General Review および期末試験</p> <p>*We study specific words and phrases for the Airline Industry in every session.</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	初回授業時に、クラス内にて指示します。						
授業方法	テキストをつかった講義と、テキストに沿った実践的practiceで行います。ダイアログやP. A. (アナウンス)の学習ではPair work を用います。また、航空業界関連のDVD, 動画などを参照して、航空業界への一層の理解を深めます。						
評価基準と評価方法	平常点15% (授業内での小テスト、小レポート提出) 試験85% (アナウンス試験5%と前期筆記試験40%、後期筆記試験40%)						
教科書	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	エアラインイングリッシュ						
担当教員	安藤 裕子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	エアライン（航空業界）を素材にして、英語でのCommunication能力を習得、向上させる						
授業の概要	エアラインイングリッシュでは、英語による基本的な自己紹介から、実際のエアラインの面接試験の質疑で問われるような高度な質問まで、広範囲にわたって英語による質疑応答を学習し、国内エアラインの英会話面接のみならず、外資系エアラインの試験にも対応できるようなコミュニケーション能力を身につける。さらに、望まれる素養・適性はなにか、面接の際の態度と言ったことも学ぶ。同時に、機内アナウンス、機内での会話、エアライン用語なども学習し、エアラインで必要とされる英語力の総合的な向上を目指す。エアラインを志望しない学生のかたも、興味深く楽しんで学習できる内容です。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語による自己紹介ができるようになる、航空業界への志望理由を述べるができるようになる 2. 乗客としても乗務員としても、機内で必要な会話のほとんどを英語でできるようになる 3. 英語の機内アナウンスを、理解でき、かつ実施できるようになる 4. 「エアライン」に関する専門用語を習得する 						
授業計画	<p>Part1 Interview Questions</p> <p>第1回. Basic Questions (名前、家族 etc.)</p> <p>第2回. Basic Questions (出身地、アルバイト etc.)</p> <p>第3回. Have you ever been abroad? (海外経験 etc.)</p> <p>第4回. How is your command of English? (英語力 etc.)</p> <p>第5回. What did you enjoy most in your school days? (日常生活 etc.)</p> <p>第6回. What do you do to stay fit? (健康管理・体力づくり etc.)</p> <p>第7回. Motives & Reasons (志望動機) および中間試験</p> <p>Part2 In-flight English</p> <p>第8回. 1. Before Departure</p> <p>第9回. 2. Liquor Service</p> <p>第10回. 3. Meal Service</p> <p>第11回. 4. In-flight Sales</p> <p>第12回. 5. Customs, Immigration and Quarantine & 6. In-flight Entertainment</p> <p>第13回. 7. Airsick Passenger</p> <p>第14回. 8. In-flight information</p> <p>第15回. 9. After Landing&Faresell, General Review および期末試験</p> <p>*We study specific words and phrases for the Airline Industry in every session.</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	初回授業時に、クラス内にて指示します。						
授業方法	テキストをつかった講義と、テキストに沿った実践的practiceで行います。ダイアログやP. A. (アナウンス)の学習ではPair work を用います。また、航空業界関連のDVD, 動画などを参照して、航空業界への一層の理解を深めます。						
評価基準と評価方法	平常点15% (授業内での小テスト、小レポート提出) 試験85% (アナウンス試験5%と前期筆記試験40%、後期筆記試験40%)						
教科書	教科書に関しては、初回授業時に、クラス内にて指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目																																						
科目名	英語イマージョンゼミ/English Immersion Seminar																																						
担当教員	A. E. Jackson																																						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	月曜2	配当学年	3	単位数	4.0																																
授業のテーマ	British Studies with the theme "London Life"																																						
授業の概要	This course aims to familiarize students with various aspects of life in Britain's capital London. Classwork will comprise a series of reading passages accompanied by comprehension questions, listening exercises, vocabulary work and discussion. Students will also view scenes from 2 films set in London as a basis for report writing.																																						
到達目標	To (a) acquire an understanding of modern British society, and (b) develop all four language skills.																																						
授業計画	<table border="0"> <tr> <td>1st semester</td> <td>2nd semester</td> </tr> <tr> <td>1 Introduction / Images of London</td> <td>1 Sports and Annual Events</td> </tr> <tr> <td>2 London People</td> <td>2 The London Year</td> </tr> <tr> <td>3 Japan in London</td> <td>3 London Style and Fashion</td> </tr> <tr> <td>4 Social Class</td> <td>4 London's Markets</td> </tr> <tr> <td>5 The Royal Family</td> <td>5 Crime and Punishment</td> </tr> <tr> <td>6 History</td> <td>6 Henry VIII</td> </tr> <tr> <td>7 Review Test 1 / Bend It Like Beckham A</td> <td>7 Review Test 3 / Notting Hill A</td> </tr> <tr> <td>8 Bend It Like Beckham B</td> <td>8 Notting Hill B</td> </tr> <tr> <td>9 Bend It Like Beckham C</td> <td>9 Notting Hill C</td> </tr> <tr> <td>10 Houses and Gardens</td> <td>10 The City</td> </tr> <tr> <td>11 Chelsea Flower Show</td> <td>11 Gambling</td> </tr> <tr> <td>12 Pub Life</td> <td>12 Student Life</td> </tr> <tr> <td>13 Pub Entertainment</td> <td>13 Student Accommodation</td> </tr> <tr> <td>14 London Sights</td> <td>14 London's Museums</td> </tr> <tr> <td>15 Course Summary / Review Test 2</td> <td>15 Course Summary / Review Test 4</td> </tr> </table>							1st semester	2nd semester	1 Introduction / Images of London	1 Sports and Annual Events	2 London People	2 The London Year	3 Japan in London	3 London Style and Fashion	4 Social Class	4 London's Markets	5 The Royal Family	5 Crime and Punishment	6 History	6 Henry VIII	7 Review Test 1 / Bend It Like Beckham A	7 Review Test 3 / Notting Hill A	8 Bend It Like Beckham B	8 Notting Hill B	9 Bend It Like Beckham C	9 Notting Hill C	10 Houses and Gardens	10 The City	11 Chelsea Flower Show	11 Gambling	12 Pub Life	12 Student Life	13 Pub Entertainment	13 Student Accommodation	14 London Sights	14 London's Museums	15 Course Summary / Review Test 2	15 Course Summary / Review Test 4
1st semester	2nd semester																																						
1 Introduction / Images of London	1 Sports and Annual Events																																						
2 London People	2 The London Year																																						
3 Japan in London	3 London Style and Fashion																																						
4 Social Class	4 London's Markets																																						
5 The Royal Family	5 Crime and Punishment																																						
6 History	6 Henry VIII																																						
7 Review Test 1 / Bend It Like Beckham A	7 Review Test 3 / Notting Hill A																																						
8 Bend It Like Beckham B	8 Notting Hill B																																						
9 Bend It Like Beckham C	9 Notting Hill C																																						
10 Houses and Gardens	10 The City																																						
11 Chelsea Flower Show	11 Gambling																																						
12 Pub Life	12 Student Life																																						
13 Pub Entertainment	13 Student Accommodation																																						
14 London Sights	14 London's Museums																																						
15 Course Summary / Review Test 2	15 Course Summary / Review Test 4																																						
授業外における学習(準備学習の内容)	Read and understand textbook articles before class.																																						
授業方法	Seminar																																						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on 4 tests (80%) and film reports (20%).																																						
教科書	Prints																																						
参考書																																							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語学概論A						
担当教員	柏本 吉章						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	さまざまな視点から英語の成り立ちを概観する						
授業の概要	<p>国際社会の中での英語の位置づけ、英語の歴史、英語の音韻、語の形態など、英語の姿をとらえるいくつかの通時的側面、共時的側面について紹介し、英語学の基本的な考え方への導入を図る。</p> <p>受講希望者へ 英語教育関係を進路とする人に限らず、「英語ってどんな言語」と関心を持つ人、英語をより身近なものにしたいと考える人を対象に、英語学の基本的な考え方に親しんでもらうことを目指します。</p>						
到達目標	<p>(1) 英語の特色を知り、英語への興味・関心をより具体的なものとして意識することができる。</p> <p>(2) 英語の特性を英語学の基本的な考え方をういて他者にわかりやすく説明することができる。</p> <p>(3) 英語の特性を理解し、英語学習をより効率的なものにすることができる。</p>						
授業計画	<p>第1回 英語について考える視点 第2回 世界のなかの英語1 世界語としての英語 第3回 世界のなかの英語2 英語の方言、アメリカ英語とイギリス英語 第4回 英語の歴史1 イギリスの歴史、英語の始まり 第5回 英語の歴史2 古期英語の姿 第6回 英語の歴史3 中期英語 への変遷 第7回 英語の歴史4 近代英語 への流れ 第8回 音韻論1 発音のしくみと音の種類 第9回 音韻論2 音素の考え方、音節の構造 第10回 音韻論3 音の連続と音変化 第11回 音韻論4 強勢とイントネーション 第12回 形態論1 形態論の考え方 第13回 形態論2 語を作る要素 第14回 形態論3 語形成のしくみ 第15回 授業内容のまとめ・総復習と期末試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習（詳細は授業内で指示）（目安とする学習時間：1～2時間） 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理（目安とする学習時間：1時間程度） 松蔭manabaで提示する各回授業のキーワードとその解説を授業前後に確認すること。</p>						
授業方法	講義と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	期末試験 70%、各回提出のリアクションペーパー(受講コメント・質問・事例提案) などによる平常点 30%、						
教科書	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子・堀田知子・沖田知子著、松柏社、ISBN978-4-7754-0004-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語学概論B						
担当教員	柏本 吉章						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語という言語の性質を理解するための基礎的概念を概観する。						
授業の概要	<p>英語学の分野のうち、英語の文法構造、意味のあり方、対人関係の中での機能、ことばと社会の関係など、現代英語を構成するさまざまな形式的、機能的側面を取り上げ、英語研究への更なる関心を導き出すことを目指す。英語学の基礎的概念の理解だけでなく、言語を観察、分析するための方法論についても紹介し、科学的な視点からの英語の観察法や分析法に親しむ機会を提供する。</p> <p>受講者希望者へ さまざまな視点から「英語の成り立ちと働き」を概観する授業です。英語教育関係を進路とする人のほか、色々な分野で英語と深く付き合っていくみなさんにとって、その活動の土台となる知識を提供します。</p>						
到達目標	<p>(1) 英語の特色を知り、英語への興味・関心をより具体的なものとして意識することができる。 (2) 英語の特性を英語学の基本的な考え方をを用いて他者にわかりやすく説明することができる。 (3) 英語の特性を理解し、英語学習をより効率的なものにすることができる。</p>						
授業計画	<p>第1回 はじめに：文のしくみ、意味のしくみ、コミュニケーションのしくみ 第2回 統語論1 文の分析方法 第3回 統語論2 文の構造と意味 第4回 統語論3 英文法と普遍文法 第5回 意味論1 意味の多様性 第6回 意味論2 意味の変化と意味関係 第7回 意味論3 意味の意味 第8回 語用論1 発話としてのことばの意味 第9回 語用論2 会話のルールとていねいさ、テキストと談話 第10回 語用論3 テキストと談話 第11回 文体論1 文体と使用域 第12回 文体論2 英語のスタイル 第13回 コミュニケーションの成立、動物のコミュニケーションと人間言語のちがひ 第14回 言語と社会、言語と文化 第15回 学期のまとめと総復習、期末試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習： 授業で扱う教科書の当該箇所の予習（詳細は授業内で指示）（目安とする学習時間：1～2時間） 授業後学習： 授業で取り上げた内容の要点と重要箇所の確認・整理（目安とする学習時間：1時間程度） 松蔭manabaで提示する各回授業のキーワードとその解説を授業前後に確認すること。</p>						
授業方法	講義と練習問題による演習						
評価基準と評価方法	期末試験 70%、各回提出のリアクションペーパー(受講コメント・質問・事例提案) などによる平常点 30%						
教科書	『新 えいご・エイゴ・英語学』、稲木昭子・堀田知子・沖田知子著、松柏社、ISBN978-4-7754-0004-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語教育概論A						
担当教員	岩井 麻紀						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語教育と英語学習						
授業の概要	母語習得、及び第二言語習得理論などを紹介し、その理論をどのように外国語学習、及び指導に生かすことができるか考える。また、英語の絵本や歌も紹介する。						
到達目標	英語教育の背景にある基本的な理論を理解し、英語の4技能を高めるための指導に必要な実践的な知識を修得する。 英語の絵本や歌などを通して、早期英語教育に必要な英語力を高める。						
授業計画	第1回：第二言語習得論のエッセンス1 第2回：第二言語習得論のエッセンス2 第3回：第二言語習得論のエッセンス3 第4回：第二言語習得論のエッセンス4 第5回：SLAから見た日本の英語教育1 第6回：SLAから見た日本の英語教育2 第7回：SLAから見た日本の英語教育3 第8回：小学校英語教育のこれから1 第9回：小学校英語教育のこれから2 第10回：小学校英語教育のこれから3 第11回：中学校英語教育のこれから 第13回：高校英語教育のこれから 第14回：質疑応答・試験 第15回：総復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従って、該当箇所を読んでおいてください。 授業後学習：授業で学んだことをまとめ、復習してください。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	テスト40% 平常点60%						
教科書	白井恭弘著『英語教師のための第二言語習得論入門』（大修館書店） ISBN978-4-469-24570-7						
参考書	Julie Ashworth & John Clark Longman著 Picture Dictionary: American English (Longman) ISBN 0-582-29981-0						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語教育概論B						
担当教員	岩井 麻紀						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語教育と英語学習						
授業の概要	英語の教授法を紹介し、指導法を学ぶ。また、英語を教える際に必要となる英語表現を身につけることも目指す。						
到達目標	第二言語習得の基礎理論と方法論などを学ぶ。 教室英語など指導に必要な実践的な英語コミュニケーション能力を高める。						
授業計画	第1回：コース説明 第2回：英語教授法① 第3回：英語教授法② 第4回：英語教授法③ 第5回：英語教授法④ 第6回：リスニングの指導① 第7回：リスニングの指導② 第8回：スピーキングの指導① 第9回：スピーキングの指導② 第10回：リーディングの指導① 第11回：リーディングの指導② 第12回：ライティングの指導① 第13回：ライティングの指導② 第14回：発表① 第15回：発表② 第14回：質疑応答・試験 第15回：総復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従って課題をする。 授業後学習：授業内容を復習する。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	テスト40% 平常点60%						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化概論A／Introduction to English-Speaking Cu						
担当教員	F. Shiobara						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English-speaking cultures: how they developed and how they became diverse.						
授業の概要	英語圏の文化概論Aではイギリス英語の歴史や発展を考察した後、アメリカ英語誕生の経緯を観察し、さらには、イギリス英語とアメリカ英語というもっとも影響力のある2種類の英語について、その比較をおこなう。This course will introduce students to the English Language, language families and how English developed into what it is today.						
到達目標	Students will gain knowledge of English-speaking cultures in their diversity. Students will develop reading, writing and listening skills.						
授業計画	第1回 : Course information; overview of English Around the World 第2回 : Indo-European 第3回 : Old English 第4回 : Middle English (Chaucer) 第5回 : Modern English pre 1800 (Shakespeare) 第6回 : The British Empire 第7回 : Review Weeks 1-6 第8回 : Review and Mid-term test 第9回 : English goes to America 第10回 : Slavery Pidgin & Creole 第11回 : Other languages' influence on English 第12回 : Louisiana Cajun 第13回 : Review weeks 9 - 12 第14回 : Revision and Final test 第15回 : Review and course evaluation.						
授業外における学習(準備学習の内容)	Before the course, students should make themselves familiar with world geography in order to understand and references to countries in class activities.						
授業方法	Lecture This class will be taught only in English.						
評価基準と評価方法	50% Classroom quizzes 50% Mid-term and final examination.						
教科書	None (handouts are used)						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化概論B／Introduction to English-Speaking Cu						
担当教員	F. Shiobara						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	English-speaking cultures: how they developed and how they became diverse.						
授業の概要	This course will introduce a variety of different Englishes from all over the world. The aim is for students to appreciate the wide variety of Englishes in the world.						
到達目標	Students will gain knowledge of English-speaking cultures in their diversity. Students will develop reading, writing and listening skills.						
授業計画	第1回 : Brief History of English 第2回 : Rural cultures of Britain 第3回 : A sample of British urban cultures: Brummie, Geordie, Scouse 第4回 : Cockney language and culture 第5回 : Irish and Welsh English 第6回 : Scottish English 第7回 : Review and Mid-term test 第8回 : Australian English 第9回 : New Zealand English 第10回 : Indian English 第11回 : Singaporean English 第12回 : Christmas Around the World 第13回 : Review of classes 第14回 : Revision and final test 第15回 : Review and evaluations						
授業外における学習(準備学習の内容)	Before the course, students should make themselves familiar with world geography in order to understand and references to countries in class activities.						
授業方法	Lecture This class will be taught only in English.						
評価基準と評価方法	50% Classroom quizzes 50% Tests.						
教科書	None (handouts are used)						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化特論A/Special Lecture on English-Speaking						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	An introduction to Britain and its people.						
授業の概要	In this course we will look at Britain and its society to discover what it means to be British and live in Britain today. The course will be taught by lecture, using a workbook and handouts, with readings in English, DVDs and film. This course is taught entirely in English.						
到達目標	You will learn about Britain and the British people and make comparisons with Japan and Japanese society.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) What is Britain and Who are the British? 3) An Introduction to Britain (Text book: Unit 1) 4) Multicultural Britain 5) The Class System. 6) British Cinema: My Fair Lady 7) Schools (Text book: Unit 2). Vocabulary. Curriculum. 8) Schools (Text book: Unit 2). Opinions. Comparison with Japanese schools. 9) The English Language 10) British Food (Text book: Unit 3). Vocabulary. Eating habits. 11) British Food (Text book: Unit 3). Popular British dishes and food history. 12) British Cinema: Billy Elliot. Background. 13) British Cinema: Billy Elliot. Worksheet review. 14) Revision 15) Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Sometimes you will be required to read or do worksheets at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Test (80%) and Homework (20%) Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure.						
教科書	Window on Britain (Activity Book), Richard MacAndrew, Oxford University Press ISBN: 0-19-459038-0 Prints. You must buy a clear file in which to keep all prints and the work you do.						
参考書	Please bring a dictionary to class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語圏の文化特論B/Special Lecture on English-Speaking						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	An introduction to the people and culture of Britain						
授業の概要	This course will build on the introduction of Special Lecture on English-Speaking Cultures A, looking in more detail at aspects of British life and culture. You will be expected to make comparisons with Japan and Japanese society. The course will be taught by lecture, using a workbook and handouts, with readings in English, DVDs and film. This course is taught entirely in English.						
到達目標	This course will give you an insight into British society today and help you make comparisons with Japan and Japanese society. You will make a presentation during this class.						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1) Review/ The British Home (Text book: Unit 4). Vocabulary. 2) The British Home (Text book: Unit 4). Differences between British and Japanese homes. 3) The Royal Family 4) British Cinema: The Queen. Background and history 5) British Cinema: The Queen. Worksheet review. 6) Sport (Text book: Unit 5). Vocabulary. 7) Sport (Text book: Unit 5). Famous British sports and sportsmen. 8) Pop Music (Text book: Unit 7) 9) London (Text book: Unit 8) 10) Oral Presentations 11) Oral Presentations/ Festivals: Christmas (Text book: Unit 6) 12) Other Festivals (Text book: Unit 6) 13) Marriage 14) Marriage/British Cinema: Four Weddings and a Funeral 15) Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Sometimes you will be required to read or do worksheets at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Oral Presentation (20%). Test (80%) Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure.						
教科書	Window on Britain (Activity Book), Richard MacAndrew, Oxford University Press ISBN: 0-19-459038-0 Prints. You must buy a clear file in which to keep all prints and the work you do.						
参考書	Please bring a dictionary to class.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論A						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	<p>異文化間コミュニケーションの理論と実践を学ぶ。コンテキストと情報伝達の関係、非言語コミュニケーションの理論を紹介し、文化による差異を考察する。また、テレビコマーシャルやドキュメンタリー番組などの映像を基にして、異文化間コミュニケーション能力と実践的英語力を養う。</p> <p>授業のねらいは主に2つあります。1つは英語圏の人々と「異文化間コミュニケーション」ができるような実践的英語力の基礎を身につけることです。もう1つは「コミュニケーション」のしくみを理論的に学ぶことです。</p> <p>本年度は、英語圏を中心とした海外のテレビ・コマーシャルと英語圏の文化についてのドキュメンタリーを見ることによって、ナチュラル・スピードの英語の聴解力を養い、英語圏の文化に対する理解を深めます。</p> <p>コマーシャルの分析を通じて、メッセージの伝達方法と文化の関連を考え、日本文化と英語圏文化の差異について具体例に基づいて検討します。</p> <p>また、コミュニケーション論の隣接領域である心理学の基礎知識や英語通訳技術の基礎、そしてコミュニケーションの理論を紹介し、効果的な異文化間コミュニケーション能力を養成します。</p>						
到達目標	<p>実践的な英語コミュニケーション力を身につけること。</p> <p>文化とコミュニケーションについて理解を深めること。</p> <p>英語圏文化の多様性を知り、グローバルな視野を持つことができること。</p>						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 第1章</p> <p>第2回 第2章：比較広告①</p> <p>第3回 第3章：ステレオタイプ</p> <p>第4回 演習：コミュニケーションの理論（身体運動学、近接学）</p> <p>第5回 第4章：英国とデンマークのコマーシャル</p> <p>第6回 第5章：高齢者をテーマにした米国のコマーシャル</p> <p>第7回 第6章：英国と米国のコマーシャルの比較</p> <p>第8回 演習：非言語コミュニケーション（近接学II）</p> <p>第9回 第7章：ドイツのコマーシャル</p> <p>第10回 第8章：韓国のコマーシャル</p> <p>第11回 第9章：米国で放送禁止のコマーシャル</p> <p>第12回 第10章：動物をトピックにしたコマーシャル</p> <p>第13回 第11章：比較広告②</p> <p>第14回 第12章：PSAの広告</p> <p>第15回 まとめとテスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習を十分して授業にのぞむこと。						
授業方法	講義とグループワーク・プレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	<p>受講状況を考慮に入れ、発表(2割)・試験(8割)の総合評価。最終試験の成績を重視します。</p> <p>試験で60点未満の人、また試験を受験しなかった人はレポートを提出しても不合格になります。</p>						
教科書	<p>TVコマーシャルに見る異文化 (I) 岩崎暁男ほか著 (成美堂) ISBN 4-7919-4544-1</p> <p>World Wide English on DVD volume 1 -Revised Edition- 森田彰ほか著 成美堂 978-4-7919-4791-1</p> <p>2冊のテキストを使用します。</p>						

参考書	参考書の購入は受講生に任せます。授業の内容を更に深めたい学生は、以下の参考書の購入が望ましいです。 また、様々な参考文献を毎回紹介します、 テキスト心理学 橋本憲尚ほか著（ミネルヴァ書房）
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション概論B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化とコミュニケーション						
授業の概要	<p>英語コミュニケーション概論Bでは、英語コミュニケーション概論Aで身につけた知識と英語力をもとに、実践的なコミュニケーション能力を養います。</p> <p>英語圏の文化についてのドキュメンタリー番組や主に英語圏のテレビ・コマーシャルを視聴することによって、ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに慣れ、異文化への理解を深めます。</p> <p>短時間で製品やサービスを売り込むことをねらって制作されているコマーシャルには、それぞれの文化が最も効果的だと考えるコミュニケーション・スタイルのエッセンスが詰まっています。コマーシャルの分析を通じてメッセージの伝達方法と文化の関連を考えます。</p> <p>また、英語圏の文化についてのドキュメンタリー番組を見ながら、英語の運用能力を伸ばします。</p> <p>「英語コミュニケーション概論A」の応用編という意味のある授業なので、コミュニケーション概論Aを受講した上でこの授業を受ければ、異文化間コミュニケーションへの理解が深まり、より高度な英語の聞き取りに挑戦することができるでしょう。</p>						
到達目標	<p>ナチュラル・スピードの英語の聞き取りに慣れ、英語圏の文化について理解を深めること。</p> <p>英語圏文化の多様性を知り、グローバルな視野を持つことができること。</p>						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション（広告の社会・文化的背景）</p> <p>第2回：第1章（アメリカ合衆国の広告の特徴）</p> <p>第3回：第2章（比較広告）</p> <p>第4回：第3章（SFをテーマにした広告）</p> <p>第5回：第4章（問題解決志向の広告）</p> <p>第6回：第5章（歴史的な事実を用いた広告）</p> <p>第7回：第6章（誇大広告）</p> <p>第8回：第7章（環境保護をテーマにした広告）</p> <p>第9回：第8章（映画をもとに作られた広告）</p> <p>第10回：第9章（「お金」がテーマの広告）</p> <p>第11回：第10章（ストーリー形式の広告）</p> <p>第12回：第11章（音楽を用いた広告）</p> <p>第13回：第12章（非言語コミュニケーションの理論を学ぶ広告）</p> <p>第14回：まとめと受講生のプレゼンテーション</p> <p>第15回：復習と受講生のプレゼンテーション、テスト</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習を十分して授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習（プレゼンテーションやグループワークを含む）						
評価基準と評価方法	受講状況（出席・発表）が2割、テストが8割。						
教科書	<p>TVコマーシャルに見る異文化（II） 岩崎暁男ほか（成美堂） ISBN 4-7919-4559-X</p> <p>World Wide English on DVD Volume 1 -Revised Edition- 森田彰ほか著 成美堂 978-4-7919-4791-1</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーションゼミ/Seminar in English Communicatio						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	水曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	Love and Marriage in British Novels and Films						
授業の概要	This course will examine attitudes towards love and marriage and the social conventions of the times over a period of 200 years in Britain as portrayed in British novels and films. Key words: love, marriage, relationships, society, culture, traditions. This course is taught entirely in English though we will watch the films with Japanese subtitles.						
到達目標	You will learn about British culture and society through an examination of love and marriage. You will reflect on traditions and customs in Japan and make comparisons.						
授業計画	<p>1st SEMESTER:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Arranged Marriage: 'The Duchess' 3) Arranged Marriage: 'The Duchess' 4) Arranged Marriage: 'The Duchess' 5) Class presentation (Arranged Marriage). Background to Jane Austen 6) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 7) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 8) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 9) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 10) Class presentation (Pride and Prejudice). Background to the Brontes 11) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 12) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 13) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 14) Class presentation (Wuthering Heights). Revision 15) Review and Test <p>2nd SEMESTER:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) A Pure Woman? - Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 2) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 3) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 4) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 5) Class presentation (Tess). Love Outside Marriage - David Lean's 'Brief Encounter' (1945) 6) Love Outside Marriage - David Lean's 'Brief Encounter' (1945) 7) Class presentation (Brief Encounter). The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009) 8) The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009) 9) The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009). 10) Class presentation (An Education). 11) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975) 12) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975) 13) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975). 14) Love Across Cultures - Ken Loach's 'Ae Fond Kiss' (2004) 15) Love Across Cultures - Ken Loach's 'Ae Fond Kiss' (2004). Class presentation (Ae Fond Kiss) 15) Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to read at home in preparation for the class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Tests and Written reports. You will also have to make a class presentation once during the year. Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure. Your final grade will be based upon: Presentation (20%); Two Tests and Other Homework (80%)						

教科書	Prints. You must buy a clear file in which to keep the prints and bring them to class each week.
参考書	Please bring a dictionary to class.

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーションゼミ/Seminar in English Communicatio						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	水曜2	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	ポップ・カルチャー大調査						
授業の概要	ポップ・カルチャーに属する特定の音楽、映画、コミック、演劇について、グループで資料を集め、分析し、プレゼンテーションを行う。ポップカルチャーへの理解を深めると同時に、プレゼンテーションの経験を積み、プレゼン技能の習得に努めます。昨年に引き続き、今年は日本のコミックをテーマとします。						
到達目標	学生のポップ・カルチャーへの理解の深化を実現し、学生にプレゼンができるようにする。						
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 授業紹介 第2回 グループ分け、メールの出し方、Manabaの使い方 第3回 プレゼンテーションの方法 第4回 ハンドアウトの書き方 第5回 アイデア発表 1 第6回 アイデア発表 2 第7回 中間発表 1 第8回 中間発表 2 第9回 中間発表 3 第10回 最終発表 1 第11回 最終発表 2 第12回 最終発表 3 第13回 最終発表 4 第14回 最終発表 5 第15回 まとめと復習</p> <p>【後期】</p> <p>第16回 オリエンテーション、グループ分け 第17回 前期のプレゼンの反省 第18回 アイデア発表 1 第19回 アイデア発表 2 第20回 アイデア発表 3 第21回 中間発表 1 第22回 中間発表 2 第23回 中間発表 3 第24回 中間発表 4 第25回 最終発表 1 第26回 最終発表 2 第27回 最終発表 3 第28回 最終発表 4 第29回 最終発表 5 第30回 まとめと復習</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成、リハーサル）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合（パワーポイントの出来具合、ハンドアウトの出来具合、発想、発表の4点から評価）50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
教科書							

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論A/Special Lecture on Communicati						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画で学ぶ英語						
授業の概要	世界的に大ヒットした映画『タイタニック』を観ながら、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力の養成を目標とします。 ただ映画を鑑賞してシナリオを読むのではなく、音声変化の法則を体系的に学び、映画の聴き取りで確認していきます。聴き取った場面を音読やロールプレイで練習した後は、パッセージの読解演習も行い、英語の4技能を効果的に伸ばしていきます。						
到達目標	英語圏の映画を通じて、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力を養成する。						
授業計画	第1回: Unit 1 The Woman In the Picture 第2回: Unit 2 Back to Titanic 第3回: Unit 3 Leaving Port 第4回: Unit 4 Don't Do It 第5回: Unit 5 Do You Love Him? 第6回: Unit 6 I Can't See You 第7回: Unit 7 I am Flying! 第8回: Unit 8 Iceberg Right Ahead! 第9回: Unit 9 An Honest Thief 第10回: Unit 10 & 11 Reading: 遺品にまつわる逸話 第11回: Unit 11 & 12 Reading: マードック等航海士の実像 第12回: Unit 13 & 14 Reading: 日本人の生存者 第13回: 受講生のプレゼンテーション 第14回: プレゼンテーションの技法とレポート作成について 第15回: まとめと試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	しっかり予習をして授業に臨むこと。						
授業方法	講義形式および受講者のプレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	試験(定期試験と復習テスト)7割とプレゼンテーション・レポートなどの受講状況3割の総合評価。						
教科書	Learn English with TITANIC 角山照彦・Simon Capper 著 成美堂 978-4-7919-6024-8						
参考書	『ビデオで女性学』井上輝子ほか著、有斐閣 その他、参考文献を授業中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コミュニケーション特論B/Special Lecture on Communicati						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画で学ぶ英語						
授業の概要	アメリカ3大ネットワークの1つであるABCで2009年から放送されている人気番組『モダン・ファミリー』を観ながら、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力の養成を目標とします。 また、受講生自身が選んだ映画を通して英語表現を学ぶことも目指します。						
到達目標	英語圏の映画を通じて、字幕に頼らず映画を理解できるような英語力の養成。						
授業計画	第1回：Unit 1 打ち明ける表現 第2回：Unit 2 強調する表現 第3回：Unit 3 比較する表現 第4回：Unit 4 励ます表現 第5回：Unit 5 丁寧に依頼するための表現 第6回：Unit 6 情報を聞き出すための表現 第7回：Unit 7 相手の様子を尋ねるための表現 第8回：Unit 8 話題を変えるための表現 第9回：Unit 9 提案するための表現 第10回：Unit 10 以来を断るための表現 第11回：受講生のプレゼンテーション① 第12回：ディスカッション 第13回：受講生のプレゼンテーション②：グループ発表 第14回：プレゼンテーションの技法とレポート作成について 第15回：まとめと試験						
授業外における学習（準備学習の内容）	しっかり予習をして授業に臨むこと。						
授業方法	講義形式および受講者のプレゼンテーションなどの演習						
評価基準と評価方法	試験（定期テスト・復習テスト7割）とプレゼンテーションなどの受講状況が3割の総合評価。						
教科書	『モダン・ファミリー』 角山照彦・Simon Capper 著 松柏社 978-4-88198-708-7						
参考書	『ビデオで女性学』 井上輝子ほか著、有斐閣 その他、参考文献を授業中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ概論A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータで遊ぼう！						
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ デスクトップまわりをカスタマイズ ・ メールの使い方---大学生ならPCのメールを使おう！大学のウェブメールの設定、iPhone での設定など。 ・ iPhoneを使いこなそう---iPhoneはPCと連携してこそちゃんと使える。 ・ iTunes を使いこなそう---iTunes は高校生も使ってるけど、ちゃんとした使い方を学ぼう。 ・ Podcast 知ってる？---これもiTunes の知られざる魅力のひとつです。英語の教材がすごい！ ・ Let's play GarageBand!--- GarageBandは音楽の部品を組み合わせてオリジナルな音楽を作らせてくれるソフトウェアです。基本操作を学んで音楽を作り、iPhone の着信音にしよう！ ・ iMovie を活用しよう --- iMovie は写真や動画を組み込んで自分だけのムービーを作ることができるソフトウェアです。iMovie の基本から、応用してマルチメディア英語教材を作ってみよう♪ 						
到達目標	コンピュータのさわり方から始めて、音楽を作ったり、マルチメディアの英語教材を作ったり --- コンピュータでおしゃれに遊ぼう！。						
授業計画	<p>Week 1: Mac に慣れよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ デスクトップ、Windows との共通点・相違点 (OSについて) ・ ハードウェアとソフトウェア ・ 「ディスク」「フォルダ」「ファイル」の扱い <p>Week 2: メールを設定しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸松蔭のウェブメールを活用するための設定 <p>Week 3: iPhoneとiTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iPhone を活用するためにはPCのiTunes を使いこなす必要があります <p>Week 4: iTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Podcast を活用しよう <p>Week 5: iTunes を使いこなそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Podcast から書き取りの練習 <p>Week 6: Let's Play GarageBand! (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GarageBand の使い方 <p>Week 7: Let's Play GarageBand! (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Create your original music! <p>Week 8: Let's Play GarageBand! (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ GarageBand で作成した音楽をiPhone の着信音に♪ <p>Week 9: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声教材を編集する <p>Week 10: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 英語教材に使う写真をアレンジする <p>Week 11: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声ファイルと写真を組み合わせてムービーにする <p>Week 12: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声と画像のタイミングを合わせる <p>Week 13: マルチメディア英語教材に挑戦しよう (5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「共有」→ムービーを書き出す <p>Week 14: 作品完成！</p> <p>Week 15: まとめと復習</p>						
授業外における学習 (準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	<p>小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 1回欠席すると平常点から5点減点、さらに提出課題から5点減点とします。 詳細は教室で説明します。</p>						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ概論B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>リスニング教材を選び、その内容に合った背景写真を選びます。それらと音声をiMovieで組み合わせ、テーマ機能、トランジション機能を利用してリスニング教材のムービーにします。</p> <p>英語の意味と発音、リズムをよく考えないとできない作業です。</p> <p>次に、Word を使ってきちんとした英語の文章を書く練習をします。 気をつけるのは次のようなことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文を書くのに適したフォントを使っているか ・ちゃんとパンクチュエーション (punctuation) の規則を守っているか ・スタイル機能を活用してちゃんとした文章に。 <p>最後にPowerPointを使ってマルチメディア英語教材を作ります。 効果的な教材の提示方法を考えよう。</p>						
到達目標	この授業では、iMovie を使って英語リスニング教材のムービーを作ることを通して音声と映像のデジタル処理の基礎を学び、同時に英語の総合的な学習にも役立てます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Mac のデスクトップ、ブラウザ、メールの設定 <ul style="list-style-type: none"> *ファイルの扱いと情報の概念の基礎 *メールのなりたちとネットワークの基礎 2. 英語リスニングのムービーを作る(1) <ul style="list-style-type: none"> *リスニング教材を選び、内容に合った背景写真を選ぶ 3. 英語リスニングのムービーを作る(2) <ul style="list-style-type: none"> *音声のデジタル・ファイル (mp3) を GarageBandを使って分割する *さまざまなデジタル・メディアについて 4. 英語リスニングのムービーを作る(3) <ul style="list-style-type: none"> *画像の扱い方 5. 英語リスニングのムービーを作る(4) <ul style="list-style-type: none"> *iMovie でムービーにつなぎあわせ、テーマ機能で歌詞を書き込む 6. 英語リスニングのムービーを作る(5) <ul style="list-style-type: none"> *iMovie でムービーにつなぎあわせ、テーマ機能で歌詞を書き込む 7. ムービーを「共有」できるフォーマットに変換、YouTubeに <ul style="list-style-type: none"> *著作権 (知的財産権) など情報倫理について説明します 8. Word で英語をきちんと書こう <ul style="list-style-type: none"> ・英語を書くときに使うフォント ・英語のパンクチュエーション (punctuation) 9. Word で英語をきちんと書こう <ul style="list-style-type: none"> ・Podcast の英語教材を書き取ってみよう 10. Word の文書に画像を入れよう <ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop で画像をアレンジ♪ ・CG について 11. PowerPoint を使ってマルチメディア英語教材 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的な単語、表現の提示 12. PowerPoint を使ってマルチメディア英語教材 <ul style="list-style-type: none"> ・効果的なテキスト表示 ・音声も入れてマルチメディア英語教材 13. 人工知能とロボット <ul style="list-style-type: none"> ・特にことばの処理に関連して 14. ウェブサイトとかんたんなプログラミング 15. 授業のまとめと復習 						
授業外における学習 (準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						

評価基準と 評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 1回欠席すると平常点から5点減点、さらに提出課題から5点減点とします。 詳細は教室で説明します。
教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>*iMovie を使って英語の歌のカラオケや歌詞表示のムービーを作ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞の意味をよく考えてふさわしい背景写真を選び、ムービーの素材にします。 ・ Photoshop を使って写真を加工し、歌詞を書き込みます。 ・ iMovie を使って画像と音楽をつなぎ合わせ、カラオケまたは歌詞表示のムービーに。 <p>*音声分析 MP3 とは何か？音声をデジタル化することによって、音声分析のソフトを使って、英語の発音の秘密を明らかにすることができます。</p>						
到達目標	コンピュータを使って、英語、そしてことば全体について考える方法を学びます。前期は特にマルチメディアとその活用について学びます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. この授業についての全体的な紹介と注意事項 2. マルチメディア英語教材のムービーを作る(1) *著作権上問題のない音源を提供し、内容に合った背景写真を選ぶ *あわせて著作権について学びます 3. マルチメディア英語教材のムービーを作る(2) *Photoshop で写真を加工し、歌詞を書きます。 4. マルチメディア英語教材のムービーを作る(3) *Photoshop による作業続行 5. マルチメディア英語教材のムービーを作る(4) *iMovie で画像と音楽をムービーにつなぎあわせませす。 6. マルチメディア英語教材のムービーを作る(5) *iMovie で作業続行 7. ムービーを「共有」できるフォーマットに変換、提出 *YouTube と著作権について 8. MP3 って何？ *MP3のしくみとオーディオ・エディタの活用 9. オーディオ・エディタを使って英語教材を編集してみる(1) ・オーディオ・ファイルを分割する 10. オーディオ・エディタを使って英語教材を編集してみる(2) ・分割したファイルを利用して書き取りをやってみよう 11. オーディオ・エディタで見る英語の発音の秘密 (1) ・英語の子音のヒミツにせまろう 12. オーディオ・エディタで見る英語の発音の秘密 (2) ・英語の二重母音のヒミツ 13. 英語の発音をムービーで表現！(1) ・オーディオ・ファイルと写真を組み合わせてムービーをつくろう 14. 英語の発音をムービーで表現！(2) ・タイミングを合わせませす 15. 授業のまとめ 						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 1回欠席すると平常点から5点減点、さらに提出課題から5点減点とします。 詳細は教室で説明します。						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語コンピュータ特論B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使って英語とことばを考える						
授業の概要	<p>Word をちゃんと使って、きれいな英文やレポートを書く練習をします。ちゃんとしたフォントやスタイル機能を使ってきれいな文章を書く、さらに画像を取り込んだり、表機能を活用して文書をきれいに配置するテクニックを学びます。</p> <p>Html の基本を学んできれいなウェブサイトを作る練習をします。Html の基本的なコマンドの使い方、画像やカラーの基本、表を利用した配置、さらにスタイル・ファイルを使ったきれいなサイトを作ります。あわせてウェブサイトのしくみと知的財産権について学びます。Photoshop を使ってロゴなどの素材を作り、音声も取り込んだマルチメディアのサイトを作るところまで学びます。</p>						
到達目標	この授業のポイントは Word とウェブサイト作りです。Word と HTML を学ぶことで、「構造のある文書」の概念を学びます。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業の概要について 2. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> ・スタイル機能を活用してきれいな英文を書く 3. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> ・画像を取り込んできれいな文書を作る 4. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> ・表機能を活用してきれいな文書を作る 5. Word できちんとした英文を書く <ul style="list-style-type: none"> ・作業続行・完成 6. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・エディタのインストールと html の基本 ・ウェブサイトの規格・概要 7. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・html: リスト、表、リンク 8. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・html: 画像、カラーを使ってみる ・知的財産権-使えない画像について 9. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・スタイル・ファイル (CSS) を使ってみる 10. ウェブサイトを作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・スタイルの活用 11. ロゴや素材を作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop を使ってロゴやボタンなどの素材を作ってみよう 12. ロゴや素材を作ってみよう <ul style="list-style-type: none"> ・Photoshop を使って作業続行 13. ウェブサイトに音声を組み込む <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権について注意 14. ウェブサイトに音声を組み込む <ul style="list-style-type: none"> ・作品完成! 15. 授業のまとめ 						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータを使用する。						
授業方法	実習と講義						
評価基準と評価方法	<p>小テスト、提出課題の評価および平常点。 提出課題が40点満点、小テスト30点満点、平常点は30点満点。 1回欠席すると平常点から5点減点、さらに提出課題から5点減点とします。 詳細は教室で説明します。</p>						

教科書	
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングA/English Pronunciation A						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Introduction. Using Anki. Week 2: Using Praat. How English sounds are made. Week 3: Overview vowels of English Week 4: Overview consonants of English Week 5: Using the phonetic alphabet Week 6: Practice: low vowels, a, u, o Week 7: Practice: 'er' ; word, world, work etc. Week 8: Stress: stressed and unstressed words Week 9: Sentence practice: intonation Week 10: Sentence practice: questions Week 11: Practice: r vs. l Week 12: Practice: clusters with r and l Week 13: Practice: th vs. s, th vs. z Week 14: Practice: s vs. sh before i Week 15: Repeat and review						
授業外における学習(準備学習の内容)	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングA/English Pronunciation A						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Introduction. Using Anki. Week 2: Using Praat. How English sounds are made. Week 3: Overview vowels of English Week 4: Overview consonants of English Week 5: Using the phonetic alphabet Week 6: Practice: low vowels, a, u, o Week 7: Practice: 'er' ; word, world, work etc. Week 8: Stress: stressed and unstressed words Week 9: Sentence practice: intonation Week 10: Sentence practice: questions Week 11: Practice: r vs. l Week 12: Practice: clusters with r and l Week 13: Practice: th vs. s, th vs. z Week 14: Practice: s vs. sh before i Week 15: Repeat and review						
授業外における学習(準備学習の内容)	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB/English Pronunciation B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Review sound system Week 2: Review phonetic alphabet Week 3: Repeat: r vs. l Week 4: Repeat: th vs. s, th vs. z Week 5: Repeat and review Week 6: Practice: i vs. yi Week 7: Practice: u vs. wu Week 8: Practice: v vs. b Week 9: Repeat and review Week 10: Practice: words ending in n, m, ng Week 11: Practice: words beginning with p, t, k Week 12: Practice: 'can' or 'can' t' Week 13: Practice: word final sounds Week 14: Sentence practice: joining words Week 15: Repeat and review						
授業外における学習(準備学習の内容)	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語発音トレーニングB/English Pronunciation B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Practical introduction to the pronunciation of English						
授業の概要	In this class we will talk about how English sounds are made, and use this information to help improve our pronunciation. There will be a lot of practice.						
到達目標	You will learn how English sounds are made. You will learn how to use computers to help to practice pronunciation. You will learn how to use the phonetic alphabet.						
授業計画	Week 1: Review sound system Week 2: Review phonetic alphabet Week 3: Repeat: r vs. l Week 4: Repeat: th vs. s, th vs. z Week 5: Repeat and review Week 6: Practice: i vs. yi Week 7: Practice: u vs. wu Week 8: Practice: v vs. b Week 9: Repeat and review Week 10: Practice: words ending in n, m, ng Week 11: Practice: words beginning with p, t, k Week 12: Practice: 'can' or 'can' t' Week 13: Practice: word final sounds Week 14: Sentence practice: joining words Week 15: Repeat and review						
授業外における学習(準備学習の内容)	We will make 'flash cards' to help us practice. Students should use these cards for repeated practice of previously studied sounds and concepts before the next class.						
授業方法	Practical. This class will use the computer lab.						
評価基準と評価方法	Evaluation will be made using regular quizzes (50%) and assignments (50%).						
教科書	None.						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語プロフェッショナル演習／English Professional Seminar						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜2	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	British Studies with the theme "London Life"						
授業の概要	This course aims to familiarize students with various aspects of life in Britain's capital London. Classwork will comprise a series of reading passages accompanied by comprehension questions, listening exercises, vocabulary work and discussion. Students will also view scenes from 2 films set in London as a basis for report writing.						
到達目標	To (a) acquire an understanding of modern British society, and (b) develop all four language skills.						
授業計画	1st semester 1 Introduction / Images of London 2 London People 3 Japan in London 4 Social Class 5 The Royal Family 6 History 7 Review Test 1 / Bend It Like Beckham A 8 Bend It Like Beckham B 9 Bend It Like Beckham C 10 Houses and Gardens 11 Chelsea Flower Show 12 Pub Life 13 Pub Entertainment 14 London Sights 15 Course Summary / Review Test 2			2nd semester 1 Sports and Annual Events 2 The London Year 3 London Style and Fashion 4 London's Markets 5 Crime and Punishment 6 Henry VIII 7 Review Test 3 / Notting Hill A 8 Notting Hill B 9 Notting Hill C 10 The City 11 Gambling 12 Student Life 13 Student Accommodation 14 London's Museums 15 Course Summary / Review Test 4			
授業外における学習（準備学習の内容）	Read and understand textbook articles before class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on 4 tests (80%) and film reports (20%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語プロフェッショナル演習/English Professional Seminar						
担当教員	清水 陽子						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	火曜1	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	通訳者・翻訳者養成のトレーニング方法を活用しての実践的な英語運用能力開発						
授業の概要	<p>通訳・翻訳が出来るようになるには総合的英語・日本語能力がまず必要です。このクラスでは特に英語の4技能を高めるトレーニングを中心に行います。</p> <p>また良い通訳・翻訳を行うには、情報のインプット側としては理解力・情報処理力・情報保持力が必要であり、またアウトプット側としては表現力・迅速な訳出能力・デリバリー等の技術を学んで身につけてはなりません。これらの要素を鍛えるトレーニング方法をクラス内で紹介し、実践します。</p> <p>さらに良質な通訳・翻訳をするためには英語・日本語間にある言語的ずれの克服、文化的差異の認知とそれに対する柔軟な対応が求められます。このクラスでは異文化知識と歴史・社会的教養を深める教材や、時事問題を扱った教材を用いて、広範な語彙の獲得と、様々なケースに対応できる即時的応用力を高めます。</p> <p>そしてコミュニケーションのプロとしてに何よりも大切な感受性、双方の気持ち・状況を推し量れる感性を磨く時間としての授業を履修生全員で進めていきたいと思ひます。</p>						
到達目標	英語・日本語間の直訳ではなく、双方の文化・慣習状況をふまえて、訳出する能力が身に付きます。簡単な逐次通訳、翻訳を臆せずできるようになります。						
授業計画	<p>第1回 Unit 1 & 逐次通訳と同時通訳</p> <p>第2回 Unit 1 & ビジネス翻訳と文芸翻訳</p> <p>第3回 Unit 2 & ラギング</p> <p>第4回 Unit 2 & シャドウイング</p> <p>第5回 Unit 3 & プロソディー・リーディング</p> <p>第6回 Unit 3 & 発音矯正</p> <p>第7回 Unit 4 & ミニプレゼンテーション</p> <p>第8回 Unit 4 & リプロダクション</p> <p>第9回 Unit 5 & サイトトランスレイション</p> <p>第10回 Unit 5 & パラフレージング</p> <p>第11回 Unit 6 & デリバリー</p> <p>第12回 Unit 6 & スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第13回 Unit 7 & スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第14回 Unit 7 & スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第15回 質疑 応答と試験</p> <p>第16回 Unit 8 & ビジネス翻訳 英-日</p> <p>第17回 Unit 8 & ビジネス翻訳 日-英</p> <p>第18回 Unit 9 & フォーマル表現 (1) レセプション・パーティー</p> <p>第19回 Unit 9 & フォーマル表現 (2) 会議通訳</p> <p>第20回 Unit 10 & フォーマル表現 (3) 商談</p> <p>第21回 Unit 10 & フォーマル表現 (4) 公演</p> <p>第22回 Unit 11 & ミニプレゼンテーション</p> <p>第23回 Unit 11 & 放送通訳</p> <p>第24回 Unit 12 & 大統領の英語</p> <p>第25回 Unit 12 & 同時通訳下準備</p> <p>第26回 Unit 13 & 同時通訳</p> <p>第27回 Unit 13 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第28回 Unit 14 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第29回 Unit 14 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第30回 質疑 応答と試験</p> <p>尚スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーションの実施回は履修生の人数により多少流動的です。</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	宿題ディクテーションの提出、配布教材の音読復習プレゼンテーション準備などが有ります。スピーチ通訳プレゼンテーションの準備は、主に授業外で行います。						
授業方法	講義と演習 テキスト、配布プリント教材を用いてのトレーニングを組み合わせで行います。 CALL教室にてヘッドセットを使用、ペアを組んでの通訳演習とプレゼンテーション、グループによる討議等バラエティに富んだトレーニングを組み合わせで進めます。						
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション30% 期末試験30% 前期10回、後期10回以上の出席がないと、受講資格を失います。						

教科書	Developing English fluency through Shadowing シャドーイングで学ぶ英語-インプットとをアウトプットにつなぐ 門田修平 長谷尚弥 氏木道人 ショーン・ホワイト 南雲堂 ISBN978-4-523-17670-1 C0082
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングA						
担当教員	郡司 隆男						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	映画を通して英語の音になじむ						
授業の概要	英語の映画を（字幕なしで）理解できるようになることを目標とします。 一本の映画を半年かけて見ることにより、英語の音になれるだけでなく、英語特有の言い回し、英語らしい話の展開などについても習熟することを旨とします。特に背景となる文化面の理解も進めたいと思います。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の映画の内容が理解できる。 2. 英語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 3. 日本語の字幕を見ながら原語の表現が聞きとれる。 4. 字幕なしでも原語の表現が聞きとれる。 5. 映画の文化的背景を理解する。 						
授業計画	<p>以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。</p> <p>第1回 導入、『プラダを着た悪魔』（2006）の前半観賞。 第2回 『プラダを着た悪魔』の後半観賞。 第3回 Job Interview 第4回 First Day on the Job 第5回 Hurricane on the Weekend 第6回 Andy's Makeover 第7回 Andy Meets Christian 第8回 Miranda's Request 第9回 Nate's Birthday 第10回 Andy's Decision 第11回 Breakup with Nate 第12回 The Dream Job 第13回 Announcement at the Party 第14回 Andy's Final Choice 第15回 まとめ</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>予習の段階でスクリプトに目を通しておいた方が理解は深まると思いますが、授業中に集中して聴くことの方が大事です。 スクリプトを暗記してこようなどとは思わない方がよいですが、知らない単語があった場合には辞書を引いておいた方がよいでしょう。</p>						
授業方法	<p>まず、はじめの2回で日本語の字幕付で通して映画を見て、映画の内容を頭に入れてもらいます。 3回目からはストーリーにそって少しずつ見直し、セリフを聞きとる練習をしていきます。</p>						
評価基準と評価方法	<p>不定期の小テスト（50%）、授業中の取り組み具合（10%）、および学期末の試験ないしレポート（40%）により成績をつけます。</p>						
教科書	<p>Communicate in English with The Devil Wears Prada---『プラダを着た悪魔』で学ぶコミュニケーション英語 Aline Brosh McKenna 著 角山照彦・Simon Capper 編著, 松柏社, 2016, ISBN : 9784881987124</p>						
参考書	<p>授業中に指定します。</p>						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングA						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	歌を通して英語のリスニングを学ぶ						
授業の概要	英語のポップソングを聴くことを通して、英語のリスニング、さらに表現や文化を学ぶ。						
到達目標	学生が英語の自然な音声現象に慣れて、学生が英語の自然発話を聞き取れるようにする。						
授業計画	第1回 イントロ 第2回 Hey Jude 第3回 Top of the world 第4回 You are not alone 第5回 Don't wanna lose you 第6回 How crazy are you? 第7回 質疑応答と中間試験 第8回 Sunday morning 第9回 I want it that way 第10回 Suddenly I see 第11回 How am I supposed to live without you? 第12回 Save the best for last 第13回 Last Christmas 第14回 Torn 第15回 質疑応答と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	必ず予習と復習をすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験(中間試験+期末試験)60%+授業参加点40%						
教科書	Kanel, Kim R. 「エンジョイ・ポップソング」(成美堂) ISBN: 978-4-7919-4541-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングB						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コマーシャルを通して英語の音になじむ						
授業の概要	英語のテレビコマーシャルを耳で聞いて理解できるようになることを目標とします。 30秒から2分程度のテレビコマーシャルを1回につき1、2本、15回かけて見ることにより、英語の音になれるだけでなく、英語特有の言い回し、英語らしい話の展開などについても習熟することを旨とします。特に背景となる文化面の理解も進めたいと思います。						
到達目標	1. 英語のコマーシャルの内容が理解できる。 2. トランスクリプトを確認しながら原語の表現が聞きとれる。 3. トランスクリプトの欠落部分を聞きとって埋めることができる。 4. コマーシャルの文化的背景を理解する。						
授業計画	以下はテキストの章・節立てに沿った、大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。 第1回 導入、Meijer---Higher Standards, Lower Prices 第2回 This Calls for a Bud Light 第3回 Anti-Discrimination Campaign 第4回 McDonald's---King of Fast-Food Restaurants 第5回 Relax, it's FedEx. 第6回 BMW---A Car beyond Reason 第7回 Banking for the Filthy Rich 第8回 Learning Languages 第9回 Pepsi---Ask for More 第10回 United Nations Development Programme 第11回 Disney---Magic Happens 第12回 Coca-Cola---For Everyone 第13回 Anti-Smoking Campaign 第14回 Counterfeit Mini Coopers 第15回 Hallmark of a Teacher						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習の段階で教科書に書かれている長めの記事をよく読んで背景を頭に入れておいてください。一部が記入されているトランスクリプトに目を通しておいた方が理解は深まると思いますが、授業中に集中して聴くことの方が大切です。トランスクリプトを暗記してこようなどとは思わない方がよいですが、知らない単語があった場合には辞書を引いておいた方がよいでしょう。						
授業方法	上記の順番にしたがって、語彙、聞き取りなど、教科書の質問に答えてもらう形で進行していきます。						
評価基準と評価方法	原則として毎週の小テスト（授業外の時間に manaba から提出）（50%）、授業中の解答（50%）により成績をつけます。						
教科書	『English in 30 Seconds』Masayuki Aoki, 南雲堂, 2009, ISBN : 9784523176183						
参考書	授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英語リスニングトレーニングB						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	歌を通して英語のリスニングを学ぶ						
授業の概要	英語のポップソングを聴くことを通して、英語のリスニング、さらに表現や文化を学ぶ。						
到達目標	学生が英語の自然な音声現象に慣れて、学生が英語の自然発話を聞き取れるようにする。						
授業計画	第1回 イントロ 第2回 Love me tender 第3回 Be my baby 第4回 Imagine 第5回 Unchained melody 第6回 The loco-motion 第7回 質疑応答と中間試験 第8回 When a man loves a woman 第9回 Yesterday once more 第10回 Help! 第11回 I just called to say I love you 第12回 Stand by me 第13回 Let it be 第14回 Woman 第15回 質疑応答と期末試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	必ず予習と復習をすること。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	試験(中間試験+期末試験)60%+授業参加点40%						
教科書	Kanel, Kim R. 「ポップソング・リスニング」(成美堂) ISBN: 978-4-7919-4525-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論A						
担当教員	白川 計子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文学とは何か、文学研究とは何か						
授業の概要	この授業では文学とは何か、文学研究とは何かを講義する。娯楽としての読書、教養としての読書から、深く人間や社会について考えるきっかけとしての読書への導入をおこなう。英米の小説や詩を紹介し、分析の実例を講義する。						
到達目標	(1) 文学テキストを研究対象として注意深く読むことができるようになる。 (2) 課題として与えられた文学テキストに対し、読書感想文ではない、客観的な批評文が書けるようになる。						
授業計画	第1回：文学とは何か、文学批評とは何か 第2回：ジェイムス・ジョイス紹介 第3回：「アラビー」紹介 第4回：「アラビー」鑑賞 第5回：「アラビー」鑑賞と批評 第6回：「アラビー」批評の実践とフィードバック 第7回：シルビア・プラスとテッド・ヒューズ紹 第8回：シルビア・プラスの生涯 第9回：シルビア・プラスの詩の鑑賞と批評介 第10回：テッド・ヒューズの詩の鑑賞と批評 第11回：詩の批評の実践 第12回：レイモンド・カーバー短編小説鑑賞 第13回：レイモンド・カーバー短編小説批評 第14回：作家と社会 第15回：文学批評レポートの書き方指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	与えられた作品を読み、批評文を書く。						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の提出物）50% 最終レポート50%						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	英米文学概論B						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	文化テキストとしての英米文学						
授業の概要	この授業では文学を芸術作品としてだけではなく、文化テキストとして読む方法を紹介する。すなわち、文学のある特定の時代の、特定の社会に生きた個人から発声された1つの現象として捉える姿勢を学ぶ。近代から現代の英米の文学作品を紹介し、作品への様々なアプローチについて講義する。文学が、われわれ自身、社会、世界のありようを問い直す力を潜在的にもっているものであることを伝えたい。						
到達目標	(1) 近代から現代にいたる社会と人間観の変容を知る。 (2) その変容が文化表象としての文学テキストにいかんにか反映しているかを理解する。 (3) 現代批評における文学へのアプローチの多様性を理解する。 (4) 文学と批評の社会的価値を理解する。						
授業計画	第1回：ジェイン・オースティン紹介 第2回：「高慢と偏見」鑑賞 第3回：「高慢と偏見」鑑賞と批評の仕方 第4回：「高慢と偏見」批評実践 第5回：D. H. ロレンス紹介 第6回：ロレンス「菊の香り」精読 第7回：ロレンス「菊の香り」精読と批評 第8回：ロレンスの動物詩の鑑賞と批評 第9回：『チャタレイ夫人の恋人』紹介 第10回：フィリップ・ラーキン紹介 第11回：ラーキンの社会詩鑑賞 第12回：『ブリジッド・ジョーンズの日記』紹介 第13回：『ブリジッド・ジョーンズの日記』批評 第14回：時代と作家と作品について 第15回：文学批評のレポートの書き方指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	与えられた文学テキストを読み、批評文を書く						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点（授業中の提出物）50%、最終レポート50%						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	教室英語A						
担当教員	久保田 真紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	英語で指導する上で必要なclassroom Englishやskillを習得し、それを駆使する。						
授業の概要	この授業は将来何らかの形で英語を教えたいと思う学生にそのskillを教えることを目標とする。また、指導だけのためではなく、学んだことを日常生活の中でcommunicationの手段として使えるようにする。現場で使える様々なactivityを学び、それを活用、実践していく。						
到達目標	英語で指導することに自信をもつことができる。 英語を学ぶいろいろな年齢層の生徒と楽しくcommunicationできる。						
授業計画	第1回 Introduction 第2回 Warm Up・Closing Remarks 第3回 Classroom Commands (Distributing handouts, Group organization) 第4回 Classroom Commands (Moving, Taking Turns) 第5回 Presentation (Starting the class, Ending the class) 第6回 Performance Activities (Songs, Letters, Textbooks) 第7回 Performance Activities (Test, Homework, Story) 第8回 Interactions with ALT 第9回 Games (Sugoroku, Bingo) 第10回 Games (Cards) 第11回 Presentation (One activity, One song) 第12回 Total Physical Response (Movement of hands, arms, and shoulders) 第13回 Total Physical Response (Movement of feet and legs) 第14回 Presentation (Festivals) 第15回 定期試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	毎回の授業で学んだ表現を復習し、次の授業で活用できること。						
授業方法	演習形式なので積極的に参加すること。						
評価基準と評価方法	平常点(プレゼンテーション、課題、小テスト)50% 定期試験 50%						
教科書	Bright and Early, Classroom English for Teachers of Children Junko Matsuzaki Carreira 南雲堂 ISBN978-4-523-17628-2						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	教室英語B						
担当教員	久保田 真紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	英語で指導する上で必要なclassroom Englishやskillを習得し、それを駆使する。						
授業の概要	この授業は将来何らかの形で英語を教えたいと思う学生にそのskillを教えることを目標とする。また、指導だけのためではなく、学んだことを日常生活の中でcommunicationの手段として使えるようにする。現場で使える様々なactivityを学び、それを活用、実践していく。概要も目的もAと同じですが、Aで学んだことをさらにステップアップするのでAとBを続けて履修して欲しい。						
到達目標	英語で指導をすることに自信をもつことができる。 英語を学ぶいろんな年齢層の生徒と楽しくcommunicationできる。						
授業計画	第1回 Coloring・Drawing・Making 第2回 Festivals and Events 第3回 School Life, Play 第4回 Sports 第5回 Presentation 第6回 Animals and Insects 第7回 Birds & Creatures Living in the Sea and River (Birds) 第8回 Birds & Creatures Living in the Sea and River (Creatures living in the sea and river) 第9回 Daily Life of Children 第10回 Group Presentation 第11回 Reading in English 第12回 Writing in English 第13回 Telling Stories 第14回 Presentation (15 minute presentation) 第15回 定期試験						
授業外における学習(準備学習の内容)	毎回の授業で学んだ表現を復習し、次の授業で活用できること。						
授業方法	演習形式なので積極的に参加すること。						
評価基準と評価方法	平常点(プレゼンテーション、課題、小テスト) 50% 定期試験 50%						
教科書	Bright and Early, Classroom English for Teachers of Children Junko Matsuzaki Carreira 南雲堂 ISBN978-4-523-17628-2						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	予備登録						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	予備登録						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	F. Shiobara						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の修得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って、学習に取り組むことができるようになる。Students will understand how to use the facilities in Kobe Shoin Women's university and be able to touch type at an average speed.						
授業計画	第1回： Orientation, school tour, sending email to teacher 第2回： Course explanation and schedule. Explanation of exam procedure. Touch typing. Textbook units 1-3 Very to be 第3回： Study abroad university introductions. Touch typing. Textbook units 4-5 Present tense 第4回： Library Guidance 第5回： Computer skills, use of Manaba, submitting assignments online. Touch typing. Textbook units 6-7 I don't, Do you? 第6回： Internet search skills. How to search, how to find good sites. Touch typing. Textbook units 8-9 Present continuous 第7回： Introduction to PowerPoint slides. Creating PowerPoint slides on a good place to visit. Touch typing. Textbook units 10-11 simple past tense 第8回： PowerPoint slides creation. Touch typing. Textbook units 12-13 Past continuous 第9回： Touch typing. Textbook units 14-16 Present perfect tense 第10回： Touch typing. Textbook units 17-19 For, since, ago 第11回： Touch typing. Textbook units 20-22 Is done, was done 第12回： Touch typing. Textbook units 23-25 Is being done, has been done 第13回： Touch typing. Textbook units 26-29 Future tense 第14回： Revision and Final Test 第15回： Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students need to read the textbook and practice skills at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class assignments 70% Final Test 30%						
教科書	Raymond Murphy マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版 (Basic Grammar in Use) Cambridge University Press ISBN-13: 978-4889967654						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の修得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って、学習に取り組むことができるようになる。Students will understand how to use the facilities in Kobe Shoin Women's university and be able to touch type at an average speed.						
授業計画	第1回： Orientation, school tour, sending email to teacher 第2回： Course explanation and schedule. Explanation of exam procedure. Touch typing. Textbook units 1-3 Very to be 第3回： Study abroad university introductions. Touch typing. Textbook units 4-5 Present tense 第4回： Library Guidance 第5回： Computer skills, use of Manaba, submitting assignments online. Touch typing. Textbook units 6-7 I don't, Do you? 第6回： Internet search skills. How to search, how to find good sites. Touch typing. Textbook units 8-9 Present continuous 第7回： Introduction to PowerPoint slides. Creating PowerPoint slides on a good place to visit. Touch typing. Textbook units 10-11 simple past tense 第8回： PowerPoint slides creation. Touch typing. Textbook units 12-13 Past continuous 第9回： Touch typing. Textbook units 14-16 Present perfect tense 第10回： Touch typing. Textbook units 17-19 For, since, ago 第11回： Touch typing. Textbook units 20-22 Is done, was done 第12回： Touch typing. Textbook units 23-25 Is being done, has been done 第13回： Touch typing. Textbook units 26-29 Future tense 第14回： Revision and Final Test 第15回： Review						
授業外における学習（準備学習の内容）	Students need to read the textbook and practice skills at home.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class assignments 70% Final Test 30%						
教科書	Raymond Murphy マーフィーのケンブリッジ英文法(初級編)第3版 (Basic Grammar in Use) Cambridge University Press ISBN-13: 978-4889967654						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：ガイダンス：自己紹介 Chapter 1-1, 1-2 第2回：シラバスを見よう Chapter 1-3 第3回：図書館を使いこなす Chapter 1-4 第4回：スマートデバイス活用（日常編）Chapter 1-5 第5回：相談 Chapter 2 Chapter 3—1課外活動 文法 Unit 1 英語の基本語順 第6回：スタディスキルズ Chapter 4-1 受講の心得 4-2 ノートの取り方 文法 Unit 2 自動詞と他動詞 第7回：スタディスキルズ Chapter 4-3 資料整理技法 文法 Unit 3 二重目的語 第8回：スタディスキルズ Chapter 4-4 スマートデバイス活用（学習編）文法 Unit 4 補語 第9回：スタディスキルズ Chapter 5 理解と表現（音読の勧め・文章表現と作文・デザインことはじめ） 第10回：読書レポート作成 文法 Unit 5 疑問文 Unit 6 否定形 第11回：リサーチ（レポート作成手順・グラフ）Chapter 6 文法 Unit 7 現在形と現在進行形 第12回：口頭発表演習 Chapter 6-3 文法 Unit 8 過去形 第13回：口頭発表演習 文法 Unit 9 完了形 第14回：Chapter 5-5 夏休み予定レポート 文法 Unit 10 未来形 第15回 まとめと復習テスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が50%、出席や授業に対する積極性などの平常点が50%の総合評価。						
教科書	『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版 『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	郡司 隆男						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：ガイダンス：自己紹介 Chapter 1-1, 1-2 第2回：シラバスを見よう Chapter 1-3 第3回：図書館を使いこなす Chapter 1-4 第4回：スマートデバイス活用（日常編）Chapter 1-5 第5回：相談 Chapter 2 Chapter 3—1課外活動 文法 Unit 1 英語の基本語順 第6回：スタディスキルズ Chapter 4-1 受講の心得 4-2 ノートの取り方 文法 Unit 2 自動詞と他動詞 第7回：スタディスキルズ Chapter 4-3 資料整理技法 文法 Unit 3 二重目的語 第8回：スタディスキルズ Chapter 4-4 スマートデバイス活用（学習編）文法 Unit 4 補語 第9回：スタディスキルズ Chapter 5 理解と表現（音読の勧め・文章表現と作文・デザインことはじめ） 第10回：読書レポート作成 文法 Unit 5 疑問文 Unit 6 否定形 第11回：リサーチ（レポート作成手順・グラフ）Chapter 6 文法 Unit 7 現在形と現在進行形 第12回：口頭発表演習 Chapter 6-3 文法 Unit 8 過去形 第13回：口頭発表演習 文法 Unit 9 完了形 第14回：Chapter 5-5 夏休み予定レポート 文法 Unit 10 未来形 第15回 まとめと復習テスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が50%、出席や授業に対する積極性などの平常点が50%の総合評価。						
教科書	『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版 ISBN 978-4-7795-0838-7 『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	基礎演習／Essential Study Skills						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力の習得。						
授業の概要	大学生として、英語学科の学びをスムーズに進める上で必須の基礎知識・能力を身につける。						
到達目標	大学での学びを理解し、学生各自が主体的な関心を持って学習に取り組むことができるようになる。						
授業計画	第1回：ガイダンス：自己紹介 Chapter 1-1, 1-2 第2回：シラバスを見よう Chapter 1-3 第3回：図書館を使いこなす Chapter 1-4 第4回：スマートデバイス活用（日常編）Chapter 1-5 第5回：相談 Chapter 2 Chapter 3—1課外活動 文法 Unit 1 英語の基本語順 第6回：スタディスキルズ Chapter 4-1 受講の心得 4-2 ノートの取り方 文法 Unit 2 自動詞と他動詞 第7回：スタディスキルズ Chapter 4-3 資料整理技法 文法 Unit 3 二重目的語 第8回：スタディスキルズ Chapter 4-4 スマートデバイス活用（学習編）文法 Unit 4 補語 第9回：スタディスキルズ Chapter 5 理解と表現（音読の勧め・文章表現と作文・デザインことはじめ） 第10回：読書レポート作成 文法 Unit 5 疑問文 Unit 6 否定形 第11回：リサーチ（レポート作成手順・グラフ）Chapter 6 文法 Unit 7 現在形と現在進行形 第12回：口頭発表演習 Chapter 6-3 文法 Unit 8 過去形 第13回：口頭発表演習 文法 Unit 9 完了形 第14回：Chapter 5-5 夏休み予定レポート 文法 Unit 10 未来形 第15回 まとめと復習テスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	事前学習：テキストの指示された箇所の課題を解答しておく。 事後学習：学習内容を整理・復習する。						
授業方法	講義および練習問題・プレゼンテーションやグループワークによる演習。						
評価基準と評価方法	レポートや試験が50%、出席や授業に対する積極性などの平常点が50%の総合評価。						
教科書	『大学学びのことはじめ 初年次セミナーワークブック』佐藤智明・矢島彰・山本明志 編 ナカニシヤ出版 『College Grammar Pathfinder 基礎文法から始める大学英語』本多吉彦・土屋武久 著 金星堂 ISBN 978-4-7647-3933-8						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	クリティカルシンキングA						
担当教員	郡司 隆男						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	ものごとを論理的に考えることができる能力の養成						
授業の概要	英語の critical とは、「批判的な」と訳されるが、他人を非難するということではなく、ものごとを鵜呑みにせず、自分の頭で正誤を正しく判断することができる力をもっていることを意味する。本講義では、日本語の文章を題材にして、論理的な正しさとは何かを理解し、文章を critical に読むことができるようになることを目標とする。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的とは何かということが理解できる 2. 文章の接続の論理的な構造が理解できる 3. 論証の構造をとらえ評価ができる 4. 正しい推論とあやまった推論の区別ができる 						
授業計画	第1回 ささまざまな接続関係： 解説と根拠 第2回 ささまざまな接続関係： 付加と転換 第3回 ささまざまな接続関係： 練習問題・演習問題 第4回 接続の構造： 指示関係をつかむ 第5回 接続の構造： 接続構造の分析 第6回 接続の構造： 練習問題・演習問題 第7回 議論の組み立て： 主張をつなぐ 第8回 議論の組み立て： 議論の構造 第9回 議論の組み立て： 練習問題・演習問題 第10回 論証の構造と評価： 論証の構造をとらえる 第11回 論証の構造と評価： 論証を評価する 第12回 論証の構造と評価： 練習問題・演習問題 第13回 演繹と推測： 演繹と推測の違い 第14回 演繹と推測： 仮説形成 第15回 演繹と推測： 練習問題・演習問題						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業中にあてられたときにドギマギしないですむために、あらかじめ教科書の予習をしてくること。復習のために manaba で小テストを頻繁に課すので、期日までにかならず提出すること。提出されなかった小テストは、当然、零点となる。						
授業方法	おおむね上記の日程にしたがって、教科書の1章につき、3週間程度をあてて進行する。授業中には、頻繁にあててその場で解答してもらう。合わせて、manaba 上に課題を出すので、翌週までに解答すること。						
評価基準と評価方法	授業中の解答の具合 40--60% (x とする)。manaba からの解答 1-x。						
教科書	『新版 論理トレーニング』野矢茂樹著、産業図書、2006、ISBN 978-4782802113						
参考書	『論理トレーニング101題』野矢茂樹著、産業図書、2001、ISBN 978-4782801369						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	クリティカルシンキングB						
担当教員	郡司 隆男						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	ものごとを論理的に考えることができる能力の養成						
授業の概要	英語の critical とは、「批判的な」と訳されるが、他人を非難するということではなく、ものごとを鵜呑みにせず、自分の頭で正誤を正しく判断することができる力をもっていることを意味する。本講義では、日本語の文章を題材にして、論理的な正しさとは何かを理解し、文章を critical に読むことができるようになることを目標とする。後期は、自分で文章を書く力の養成にもとりくむ。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論証の構造が理解できる 2. 誤った論証の誤りの箇所を指摘できる 3. 推論の技術を理解し応用ができる 4. 自分で論理的に正しい文章が書ける 						
授業計画	第1回 価値評価: 価値評価の論証構造 第2回 価値評価: 価値評価の適切さ 第3回 価値評価: 練習問題・演習問題 第4回 否定: 否定と反対、「かつ」と「または」 第5回 否定: 「すべて」と「存在する」 第6回 否定: 練習問題・演習問題 第7回 条件構造: 逆・裏・対偶 第8回 条件構造: 条件連鎖 第9回 条件構造: 練習問題・演習問題 第10回 推論の技術: 存在文の扱い方、消去法 第11回 推論の技術: 背理法 第12回 推論の技術: 練習問題・演習問題 第13回 批判への視点: 質問への視点 第14回 批判への視点: 異論と批判 第15回 批判への視点: 練習問題・演習問題						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業中にあてられたときにドギマギしないですむために、あらかじめ教科書の予習をしてくること。復習のために manaba で小テストを頻繁に課すので、期日までにかならず提出すること。提出されなかった小テストは、当然、零点となる。						
授業方法	おおむね上記の日程にしたがって、教科書の1章につき、3週間程度をあてて進行する。授業中には、頻繁にあててその場で解答してもらう。合わせて、manaba 上に課題を出すので、翌週までに解答すること。						
評価基準と評価方法	授業中の解答の具合 40--60% (x とする)。manaba からの解答 1-x。						
教科書	『新版 論理トレーニング』野矢茂樹著, 産業図書, 2006, ISBN 978-4782802113						
参考書	『論理トレーニング101題』野矢茂樹著, 産業図書, 2001, ISBN 978-4782801369						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルインターンシップI						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	海外で各自のキャリアに関連した就業体験を行い、実務の実態を知る。						
授業の概要	<p>①社会に出て働くことの意義とその働き方について考える。(アルバイト、フリーター、正社員との違い)</p> <p>②様々な業界・業種の実態や職場のルール、マナーを学び、実際に企業やその他の組織で業務体験実習(インターンシップ)を行う。</p> <p>③社会人としての心構えを学び、体験を通して豊かな自己表現力を身につける(自己分析にもつながる)</p> <p>④自分に適した職業選択ができることやキャリアデザイン(人生設計)が組み立てられるようになることを目指す。</p> <p>⑤前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力といった社会人基礎力の必要性について考える。</p>						
到達目標	<p>①就業体験を通じて、自立心を養い、自己のキャリアを主体的に考えて実行できるようになる。</p> <p>②働くことの意義を自分なりに定義し、自己PRや志望動機につなげることができる</p>						
授業計画	<p>【事前学習 担当：松田 謙次郎】</p> <p>①インターンシップについて考える</p> <p>②最適な就業体験先を決定する。</p> <p>③就業先企業・団体の情報を収集する。</p> <p>④現地で調査する項目を考える。</p> <p>⑤ビジネスマナーについて学ぶ。</p> <p>【実習】</p> <p>各企業・団体での実習、日報執筆</p> <p>【事後学習 担当：松田 謙次郎】</p> <p>プレゼンテーション(報告書のまとめ方)</p> <p>プレゼンテーション～報告会～授業外における学習(準備学習の内容)</p> <p>現地・企業についての知識を摂取する。</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>①グローバルインターンシップを通して、自分は何を得ようとしているのか、参加目的を常に明確にする。</p> <p>②日本の文化、他国の文化の違いと共通点を考え、双方を受け入れるようにする。</p> <p>③社会で起こる事象に関心を持ち、自分の意見を持つように心がける。ニュースなどを見る。</p>						
授業方法	集中講義(事前学習、企業での実習、事後学習)						
評価基準と評価方法	事前・事後レポート(20%)、プレゼンテーション(20%)、学習態度、研修先での評価、などの総合評価(60%)						
教科書	プリント配付						
参考書	随時紹介する						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルインターンシップII						
担当教員	福田 洋子						
学期	集中講義	曜日・時限	集中1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国内外での各自のキャリアに関連した就業体験を行い、グローバルなビジネスの実態を知る。 (国内)						
授業の概要	①社会に出てグローバルに働くことの意義とその働き方について考える。 ②様々な業界・業種の実態や職場のルール、マナーを学び、実際に業務体験実習（インターンシップ）を行う。 ③社会人としての心構えを学び、研修を通して豊かな自己表現力を身につける。自己分析につなげる。 ④自分に適した職業選択ができることや「キャリアでデザイン」ができるようになることを目指す。 ⑤前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力、などの社会人基礎力の必要性について考える。						
到達目標	①就業体験を通じて、自立心を養い、自己のキャリアを主体的に考えて実行できるようになる。 ②働くことの意義を自分なりに定義し、自己PRや志望動機につなげることができる。 ③社会で「グローバルに働く」ことを考えることができる。						
授業計画	<p>【5月20日（土）】事前学習Ⅰ（2時間）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習先の事業内容の確認 2. 実習先への提出書類の作成 <p>【7月8日（土）】事前学習Ⅱ（3時間）</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. 社会人としての心構え：グローバルな仕事の基本 4. ビジネスマナー、実習先での自己紹介の仕方 5. 来客対応、電話対応、など <p>【夏休み期間中】一企業により異なるが8月、9月中旬の期間の2週間（80時間）の実習</p> <ol style="list-style-type: none"> 6. 企業での現地実習 7. 企業での現地実習 8. 企業での現地実習 9. 企業での現地実習 10. 企業での現地実習 11. 企業での現地実習 12. 企業での現地実習 13. 企業での現地実習 <p>【10月14日（土）】事後学習（5時間）</p> <ol style="list-style-type: none"> 14. 実習報告のまとめと整理 15. 実習報告会：プレゼンテーション 						
授業外における学習（準備学習の内容）	①グローバルインターンシップを通して、自分は何を得ようとしているのか、参加目的を常に明確にする。 ②日本の文化と他国の文化との違いと共通点を考え、双方を受け入れるようにする。 ③社会で起こる事象に関心を持ち、自分の意見を持つように心がける。ニュースなどで社会の動きを知る。						
授業方法	集中講義（事前学習、企業での実習、事後学習）						
評価基準と評価方法	事前・事後レポート（20%）、プレゼンテーション（20%）、学習態度、研修先での評価、などの総合評価（60%）						
教科書	プリント配付						
参考書	随時紹介する						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルコミュニケーション演習／Global Communication Seminar						
担当教員	S. Bibby						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	金曜4	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	UK Life and Culture: Exploring Daily life						
授業の概要	Within this course you will look at life in Great Britain today. The course is multi-skilled and students will have lots of opportunity to practice speaking (both discussing and presenting), listening, reading, with some writing. *This course is taught entirely in English*						
到達目標	Students will: * learn about Britain through an examination of a great number of different aspects of British people and their culture(s). * reflect on the similarities and differences in cultures and behaviours, and compare and contrast with life here in Japan. * write, discuss and present about these different cultural aspects						
授業計画	This is a rough plan, considering general interests. This is tentative, and is likely to change. SEMESTER 1 1. Getting started, course introductions, Facebook group, Google Drive 2. Britain - what do you know? Overview 3. Places - countries, cities, and countryside 4. Places to visit - presentations (with A4 picture sets and notes) 5. The English language 6. Class presentations 7. Food and drink 8. Fashion 9. Money and work 10. British heroes (1) - heroes in history 11. Customs and traditions (1a) 12. Presentations: customs and traditions (1b) 13. Entertainment, leisure time, sport, music 14. UK Music research, prep and presentations (1) 60s, 70s, 80s, 90s, 2000+ 15. Complete UL music dead presentations with song close, review, final assessment SEMESTER 2 1. Review of last semester, 'Round Britain' game, quiz 2. Daily life 3. Education in the UK - schools and universities, life at university 4. Presentation talks - education 5. UK government and the royal family 6. Customs and traditions (2): Halloween, Guy Fawkes/Bonfire Night 7. Unusual/strange traditions 8. British heroes (2): famous people today (e.g. 1D, Beckham...) 9. British heritage and heritage sites 10. Literature (1a) 11. Presentations: Literature (1b) 12. Britain in the 21st century 13. Christmas celebrations and British & Japanese end-year traditions comparisons 14. Housing and apartments, students review and contribute quiz questions 15. Final review quiz (via team ppt), student-made quiz questions, and summary						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students are required to do the reading and the preparation and be ready for class. When students are scheduled to present, they must be practiced and ready. Discussions in class are in English only, so students should be ready to use English in all class work and discussion.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	30% Class participation and discussions 30% Presentations 40% End assessment						

教科書	Britain - Culture Smart!: The Essential Guide to Customs & Culture Publisher: Kuperard; 2nd edition (pub. July 1, 2015) Author: Paul Norbury ISBN-10: 1857337158 ISBN-13: 978-1857337150
参考書	A good dictionary is advisable - hard copy or electronic. In addition to the textbook, handouts will be given and posted online.

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルコミュニケーション演習／Global Communication Seminar						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	Love and Marriage in British Novels and Films						
授業の概要	This course will examine attitudes towards love and marriage and the social conventions of the times over a period of 200 years in Britain as portrayed in British novels and films. Key words: love, marriage, relationships, society, culture, traditions						
到達目標	You will learn about British culture and society through an examination of love and marriage. You will reflect on traditions and customs in Japan and make comparisons.						
授業計画	<p>1st SEMESTER:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Arranged Marriage: 'The Duchess' 3) Arranged Marriage: 'The Duchess' 4) Arranged Marriage: 'The Duchess' 5) Class presentation (Arranged Marriage). Background to Jane Austen 6) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 7) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 8) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 9) Late 18th Century. Marriage and Property - Jane Austen: 'Pride and Prejudice' 10) Class presentation (Pride and Prejudice). Background to the Brontes 11) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 12) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 13) 19th Century and Romanticism. Passion - Emily Bronte: 'Wuthering Heights' 14) Class presentation (Wuthering Heights). Revision 15) Review and Test <p>2nd SEMESTER:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) A Pure Woman? - Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 2) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 3) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 4) Thomas Hardy: 'Tess of the d' Urbevilles' 5) Class presentation (Tess). Love Outside Marriage - David Lean's 'Brief Encounter' (1945) 6) Love Outside Marriage - David Lean's 'Brief Encounter' (1945) 7) Class presentation (Brief Encounter). The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009) 8) The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009) 9) The 60s and the Sexual Revolution: Lone Scherfig's 'An Education' (2009). 10) Class presentation (An Education). 11) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975) 12) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975) 13) Same Sex Love - Stephen Frear's 'My Beautiful Laundrette' (1975). 14) Love Across Cultures - Ken Loach's 'Ae Fond Kiss' (2004) 15) Love Across Cultures - Ken Loach's 'Ae Fond Kiss' (2004). Class presentation (Ae Fond Kiss) 15) Review and Test 						
授業外における学習(準備学習の内容)	You will sometimes have to read at home in preparation for the class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Tests and Written reports. You will also have to make a class presentation once during the year. Poor attendance will affect your grade and failure to attend the required number of classes may result in failure. Your final grade will be based upon: Presentation (20%); Two Tests and Other Homework (80%)						

教科書	Prints. You must buy a clear file in which to keep the prints and bring them to class each week.
参考書	Please bring a dictionary to class.

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルコミュニケーション演習／Global Communication Seminar						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	水曜2	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	ポップ・カルチャー大調査						
授業の概要	ポップ・カルチャーに属する特定の音楽、映画、コミック、演劇について、グループで資料を集め、分析し、プレゼンテーションを行う。ポップカルチャーへの理解を深めると同時に、プレゼンテーションの経験を積み、プレゼン技能の習得に努めます。昨年に引き続き、今年は日本のコミックをテーマとします。						
到達目標	学生のポップ・カルチャーへの理解の深化を実現し、学生にプレゼンができるようにする。						
授業計画	<p>【前期】</p> <p>第1回 授業紹介</p> <p>第2回 グループ分け、メールの出し方、Manabaの使い方</p> <p>第3回 プレゼンテーションの方法</p> <p>第4回 ハンドアウトの書き方</p> <p>第5回 アイデア発表 1</p> <p>第6回 アイデア発表 2</p> <p>第7回 中間発表 1</p> <p>第8回 中間発表 2</p> <p>第9回 中間発表 3</p> <p>第10回 最終発表 1</p> <p>第11回 最終発表 2</p> <p>第12回 最終発表 3</p> <p>第13回 最終発表 4</p> <p>第14回 最終発表 5</p> <p>第15回 まとめと復習</p> <p>【後期】</p> <p>第16回 オリエンテーション、グループ分け</p> <p>第17回 前期のプレゼンの反省</p> <p>第18回 アイデア発表 1</p> <p>第19回 アイデア発表 2</p> <p>第20回 アイデア発表 3</p> <p>第21回 中間発表 1</p> <p>第22回 中間発表 2</p> <p>第23回 中間発表 3</p> <p>第24回 中間発表 4</p> <p>第25回 最終発表 1</p> <p>第26回 最終発表 2</p> <p>第27回 最終発表 3</p> <p>第28回 最終発表 4</p> <p>第29回 最終発表 5</p> <p>第30回 まとめと復習</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成、リハーサル）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合（パワーポイントの出来具合、ハンドアウトの出来具合、発想、発表の4点から評価）50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
教科書							

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	グローバルコミュニケーション演習／Global Communication Seminar						
担当教員	山内 啓子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	小学校などで英語を教えることのできる、児童英語教育指導者の能力養成と演習						
授業の概要	<p>本授業では以下の4項を目標にしています：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語能力の向上 (TOEIC 700を目標とします) 2. 国際理解教育 (自己啓発と共に、指導者として活用する教材の探究を行います) 3. 指導案・教材制作 (作成することで、教材の活用・応用を体得します) 4. 模擬授業演習 <p>指導者としての英語の認識を深め、理解度を高めるだけでなく「表現力」をつけます。そのためには単に英語が話せるだけでなく、異文化理解を促し、真の表現者となるべく研鑽を積みます。理論の上に実践を重ね、具体的な能力を身につけるためのゼミです。</p>						
到達目標	小学校の授業サポートができる能力が持てるようになります。また広く異文化を理解する寛容な態度を身につけることができます。						
授業計画	<p>このゼミでは以下のように授業を進めます：</p> <p>前期：教科書＋国際理解・英語絵本研究 後期：教科書＋教案作成・教材制作・模擬授業</p> <p>「前期」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解教育の意義 I (国際理解とは) 2. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解教育の意義 II (『地名の世界地図』1) 3. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解教育の意義 III (『地名の世界地図』2) 4. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界地理学習 I (『地名の世界地図』3) 5. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界地理学習 II (『地名の世界地図』4) 6. 確認テスト(教科書＋『地名の世界地図』) <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界地理学習まとめ 7. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の多面性 (世界の宗教) 8. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の多面性 (宗教と死生観) 9. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の多面性 (宗教とタブー) 10. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 異文化の多面性 (食文化) 11. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 異文化の多面性 (自文化) 12. 確認テスト (教科書) <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解発表 I 13. 国際理解発表 II 14. 国際理解発表 III 15. 国際理解発表 IV (総括と評価) <p>「後期」</p>						

授業計画	<p>16. ・復習と復習テスト</p> <p>17. ・教科書 ・指導教案とは ・教材制作 I (教材と資料)</p> <p>18. ・教科書 ・指導教案作成 I ・教材制作 II</p> <p>19. ・教科書 ・指導教案作成 II ・模擬授業実践 1</p> <p>20. ・教科書 ・模擬授業実践 1</p> <p>21. ・教科書 (確認テスト) ・模擬授業実践 1</p> <p>22. ・模擬授業実践 2 : 改善版</p> <p>23. ・模擬授業実践 2 : 改善版</p> <p>24. ・模擬授業実践 2 : 反省と改善</p> <p>25. ・教科書 ・改善指導案作成</p> <p>26. ・教科書 ・改善模擬授業 3</p> <p>27. ・教科書 ・改善模擬授業 3</p> <p>28. ・教科書 (確認テスト) ・改善模擬授業 3</p> <p>29. ・総まとめ I</p> <p>30. ・総まとめ II</p>
授業外における学習 (準備学習の内容)	<p>テキストを事前予習して授業に臨むこと。授業中に訳読はしませんので、注意して下さい。 また国際ニュースもチェックし、世界情勢を把握しておくこと。 国際理解発表や模擬授業に先立っては授業外で十分練習を行うこと。</p>
授業方法	<p>演習形式に時折講義形式が混じります。</p>
評価基準と評価方法	<p>積極的なクラス参加、確認テスト、レポート提出、発表・模擬授業、授業態度等で総合評価を行います。 発表累計40%、テスト類30%、レポート類30%</p>
教科書	<p>『Different Realities』-Adventures in Intercultural Communication- Joseph Shaules/Juri Abe 著 南雲堂 ISBN978-4-523-17565-0</p>
参考書	<p>三浦 孝、弘山 貞男、中嶋 洋一編著『だから英語は教育なんだ』(研究社) ISBN978-4-327-41060-5 江利川 春雄「日本人は英語をどう学んできたか」(研究社) ISBN978-4-327-41068-1 "English for Primary Teachers" Mary Slattery & Jane Willis (Oxford) ISBN 978-0-19-437563-4 その他は授業中に紹介します</p>

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際コミュニケーション研究B/International Communication St						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	仕事の中で異文化理解とコミュニケーションスキルを応用すること						
授業の概要	このコースは2年次に海外留学をした学生に向けたもので、学生は英語の4技能を使って課題を達成する作業(task-based work)を個人、そしてグループで行う。各セットの授業では課題に関する情報を集め、ディスカッションを通して、レポートとプレゼンの形での発表を行う。						
到達目標	このコースでは学生は a) 留学中に習得したスキルと知識をさまざまな仕事の場面に応用することができる。 b) 様々な情報源から情報を集め、その情報を考察し、話し合い、レポートまたはプレゼンの形で調査結果を発表することができる。 c) 異文化理解をさらに深め、コミュニケーションスキルを磨くことができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Kobe International: Is Kobe an International City? 2. Tour Guide: Karuizawa 3. Tour Guide: Poster Presentation 4. Women and Work: Work-Life Balance 5. Women and Work Movie: Parts One and Two 6. Women and Work Movie: Parts Three, Four and Five 7. Women and Work Movie: Parts Six and Seven 8. Getting a Job Using English: Advertisement / Resume / Application Letter 9. Getting a Job Using English: Job Interview Preparation 10. Getting a Job Using English: Job Interview Performance 11. A New Employee: Directions 12. A New Employee: Apartment Information 13. An International Chain Store: Tully's / Claire's 14. An International Chain Store: PowerPoint Presentation A 15. An International Chain Store: PowerPoint Presentation B 						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前に授業用資料をよく読み、不明の語彙を調べておくこと。プレゼンの準備を遅れずにすること。 オフィスアワー: 水曜 13:10~14:10 (2号館3階の研究室)						
授業方法	Seminar / Practical						
評価基準と評価方法	成績は2つの短いレポート(40%)、スキット(20%)、2つのプレゼン(40%)から成る。						
教科書	プリント						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際コミュニケーション研究A/International Communication St						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	海外留学を回想すること						
授業の概要	このコースは2年次に海外留学をした学生に向けたもので、学生は英語の4技能を使って課題を達成する作業(task-based work)を個人、そしてグループで行う。各セットの授業では課題に関する情報を集め、ディスカッションを通して、レポートとプレゼンの形での発表を行う。						
到達目標	このコースでは学生は a) 各自の留学経験を振り返り、話し合うことができる。 b) 様々な情報源から情報を集め、その情報を考察し、話し合い、レポートまたはプレゼンの形で調査結果を発表することができる。 c) 異文化理解をさらに深め、コミュニケーションスキルを磨くことができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Introduction 2. Daily Life Abroad: Ups and Downs / Homestay Family 3. Daily Life Abroad: Cultural Differences 4. Daily Life Abroad: Living Abroad - Now & Then 5. Culture Shock: Reading, Part One 6. Culture Shock: Reading, Part Two 7. An Annual Event: Guy Fawkes 8. An Annual Event: PowerPoint Preparation 9. An Annual Event: PowerPoint Presentation 10. Multicultural London Movie: Part One 11. Multicultural London Movie: Parts Two and Three 12. Multicultural London Movie: Part Four / Bollywood / Sikhism 13. Explaining Statistics: Problems, Causes and Solutions 14. Explaining Statistics: Poster Preparation 15. Explaining Statistics: Poster Presentation 						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前に授業用資料をよく読み、不明の語彙を調べておくこと。プレゼンの準備を遅れずにすること。						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	成績は3つの短いレポート(60%)と2つのプレゼン(40%)から成る。						
教科書	プリント						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論A						
担当教員	平井 拓己						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として必要な知識と実務能力の習得(基礎編)						
授業の概要	国際化社会、情報化社会の中で変化するビジネス環境、企業組織において、国際秘書として効果的な役割を果たすために必要な職能、資質、知識、技能などについて学習し、必要な専門的知識と実務能力の習得を目指す。国際秘書の職務に関連する分野は極めて広範囲にわたるが、本科目では、国際秘書の現状、地位、職能、資質、対人関係に関してはコミュニケーション能力、マナー、ホスピタリティ等について考えていく。						
到達目標	国際秘書としての業務の基本的な内容を知り、それに必要な知識を習得する。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション:国際秘書について 2. 日本企業の国際化:国際秘書の現状 3. 国際企業の組織:国際秘書の役割(1)組織における役職 4. 秘書の専門分化:国際秘書の役割(2)組織構造 5. 国際企業で求められる知識と技能:国際秘書の職能 6. 国際企業で求められる人材:国際秘書の資質 7. 国際秘書の職業観とキャリア(1)職業人としての基礎力 8. 国際秘書の職業観とキャリア(2)国際企業におけるキャリア 9. 国際秘書の言語コミュニケーション能力 10. 国際秘書の非言語コミュニケーション能力 11. 国際秘書のマナーと接遇 12. 国際秘書のプロトコル 13. 国際秘書のホスピタリティ 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前: 経済紙などを読み、企業活動について把握する。</p> <p>授業後: 学んだ内容を復習し、機会を捉えて実践する。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	平常点(毎回提出物があります) 40% 中間レポート及び期末試験 60%						
教科書	なし(資料を配付します)						
参考書	講義中に指示します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際秘書概論B						
担当教員	平井 拓己						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際社会、情報社会のなかで国際秘書として必要な知識と実務能力の習得(応用編)						
授業の概要	この授業では、国際秘書の知識、技能について考える。国際秘書に求められるのは、国際経営、金融、国際関係に関する専門的知識、商取引に関する法制度についての専門的知識、情報収集能力を含めた情報一般に関する専門的知識などとそれぞれの分野における高い実務能力である。授業では、これらのトピックについてできるかぎり具体例を用いて解説する。						
到達目標	国際秘書としての業務の基本的な内容をもとに、より専門的な知識、技能についての理解を深める。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション:国際秘書について 2. 秘書の国際化と専門分化 3. 国際秘書に必要な経済、金融についての知識 4. 国際秘書に必要な商取引、貿易取引についての知識 5. 国際秘書に必要な法制度、規制についての知識 6. 国際秘書に必要な事務管理能力 7. 国際秘書と異文化理解・プレゼンテーション能力 8. 国際秘書とマーケティング 9. 国際秘書と情報社会 10. 国際秘書のコンプライアンスへの対応 11. 国際企業のリスク管理への対応 12. 国際秘書の外部メディアへの対応 13. 国際秘書の情報収集能力と情報倫理への対応 14. 国際秘書とビジネス社会・まとめ 15. 質疑応答・期末試験 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前：経済紙などを読み、企業活動について把握する。</p> <p>授業後：学んだ内容を復習し、機会を捉えて実践する。</p>						
授業方法	講義						
評価基準と評価方法	<p>講義への出席(毎回提出物があります) 40%</p> <p>レポート及び期末試験 60%</p>						
教科書	なし(資料を配付します)						
参考書	講義中に必要に応じて指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスコミュニケーションA/International Business Commu						
担当教員	S. Bibby						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English for International Business Communication						
授業の概要	<p>Within this course students work within a believable, “real-life” English-speaking business environment in the classroom across the whole academic year. Students 'are' new employees at an international company, where you work together in small groups to perform various simulated practical (and fun!) business-type tasks in English. Additionally students study business email in class – spoken and written aspects of business communication are thus covered. Students are also assigned language and culture focus worksheets to complete. *This course is conducted entirely in English*</p>						
到達目標	<p>Students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> * improve their overall communicative ability * learn language expressions to use in multiple business situations * get better at small talk * practice presentations and group project work * learn more about different tasks in different departments in the business environment * learn to better appreciate aspects of 'intercultural' interactions and avoid causing offence 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course orientation and explanation, introductory activities, making business name cards and name tags 2. First meetings – behaviours and language – handshakes, card exchanges, conversation topics 3. Different departments: what do they do? HR, R & D, Finance, Sales and Marketing. 4. Understanding about different departments – explaining jobs 5. Choosing departments, Research and Development. Thinking about the you/job match. What do you want to do? 6. Good leader / bad leader – skills to be a project manager 7. Describing products 8. Problems and solutions 9. Best product ideas – product proposal form 10. Complete product proposal description and evaluate performance 11. Finance, work chat, new assignment, new project manager 12. Describe products, think about decision-making, analyse pros and cons / strengths and weaknesses, learn about disagreeing politely 13. Examining language – polite/impolite, thinking about pros and cons, listen for details, the company party 14. Debating language and practice – consider and report pros and cons 15. Prepare and present poster explaining the decision making process 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students will need to complete language focus work outside class, but most of the course is designed to be completed within class time. Some homework will be set focusing on business emails – this must be done, and is checked in class.</p>						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>Appropriacy and effectiveness of language and behaviour in a business setting is assessed. In addition, when language homework is set, this is included in the assessment. 100% of assessment is thus via class work and homework. There is no final exam.</p>						
教科書	<p>Widgets – student book (inc. DVD) by Marcos Benevides and Chris Valvona Pearson Longman ISBN 9789620189531</p>						
参考書	Use an electronic dictionary (on your smartphone is okay).						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスコミュニケーションB/International Business Commu						
担当教員	S. Bibby						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English for International Business Communication						
授業の概要	<p>Within this course students work within a believable, "real-life" English-speaking business environment in the classroom across the whole academic year.</p> <p>Within this course, students 'are' new employees at an exciting international company, where they work together in small groups to perform various simulated practical and fun business-type tasks in English.</p> <p>Additionally, students study business email in class - spoken and written aspects of business communication are thus covered. Students are also assigned language and culture focus worksheets to complete.</p> <p>*This course is taught entirely in English*</p>						
到達目標	<p>Students will:</p> <ul style="list-style-type: none"> * improve their overall communicative ability * learn language expressions to use in multiple business situations * get better at small talk * practice presentations, and group project work * learn more about different tasks in different departments in the business environment * learn and practice making CVs/resumes and practice interviews 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Small talk, choose new project manager, learn about new project 2. Types of questions - opinion/fact, questionnaires and surveys 3. Collect data, collate and analyse data - findings? 4. Prepare short presentation 5. Give presentations, offer handouts, evaluate performance 6. Presentations (2) 7. Casual work chat, listening - main ideas, final project manager assigned 8. Brainstorm marketing ideas 10. Videos - conclusions? Infomercials, plan infomercials with cartoon strips 11. Plan infomercial - details, rehearse, perform 12. CVs, characteristics, job skills 13. CVs and job interviews 14. Evaluate team performances, job interviews 15. Complete 'training' 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Students should not miss any items. This is team-based and lessons are in progression. And it's fun! Most class time will be spent on communication focused activities.</p> <p>Some homework will be set focusing on business emails - this must be done, and is checked in class.</p>						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>Students are assessed on appropriate language and behaviours in the simulated working environment. 100% assessed in class.</p>						
教科書	<p>Widgets (student book and DVD) ISBN 9789620189531 Pearson Longman by Benevides and Valvona</p>						
参考書	Electronic dictionary						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントA/International Business Manageme						
担当教員	平井 拓己						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	We will study in depth the structure of the business firm and the environment in which it operates.						
授業の概要	We will first look at the structure of the economy paying close attention to the issues related to the operation of the firm. From there we will explore the structure and establishment of the firm within its economic environment.						
到達目標	To understand the how and why people establish businesses within their economic framework, with a focus on the HOW TO of setting up a business.						
授業計画	<p>Module One: The Economy</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Economy Overview, The division of Labor 2. Trade: history, methods and financing 3. Comparative advantage 4. Markets: origins and types 5. Money: history and uses of money, types of money 6. Banking and Finance 7. Labor: labor as the fundamental currency of economy 8. Regulation: regulatory issues for business <p>Module Two: The Firm</p> <ol style="list-style-type: none"> 9. What is a firm: types and purposes 10. The role of the firm: Structure and purpose 11. Establishing a business: purpose, structure, division of responsibility, paid-in-capital 12. Functions of the firm 13. Establishing the firm: choosing the structure, arranging capital, determining ownership, naming, registration etc. 14. Products and Services: Choosing your product, determining your service 15. Financing 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Participants are expected be familiar with current topics regarding the economy and business, by reading newspapers and/or through other sources.						
授業方法	The class will combine lecture, class discussion and group exercises. We will try to add practical exercises where possible. This class will be heavily favored toward English, so ability in English is required. However, Japanese support will be available in class. *I will be available for questions immediately before or after class.						
評価基準と評価方法	Class participation 40% Assignments 10% Final exam (presentation) 50%						
教科書	Materials will be distributed in class.						
参考書	Will be introduced during classes.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際ビジネスマネジメントB/International Business Manageme						
担当教員	平井 拓己						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	We will study in greater depth the establishment and operation of the business firm.						
授業の概要	This course will focus on the establishment and operation of the business firm within the global economy.						
到達目標	To understand the how and why people establish businesses within their economic framework, with a focus on the HOW TO of setting up a business.						
授業計画	<p>Module Three: Entrepreneurship v Management</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) What is an entrepreneur? What are the risks? What is the goal? What is the motivation? 2) Defining the product: product definition, product costs, competition, and differentiation. 3) Selling: What are you selling, prepping for sales, the presentation. 4) Making the sales presentation 5) Production: costs, timing and the schedule 6) Management: personnel, legal, operations. 7) Operational issues: human resources, contracts, accounting. <p>Module Four: Building the Business Plan</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Defining the Product 2) Researching the Market 3) Defining the Business Model 4) Defining the Business Model 5) Writing the Offering 6) Personnel Plan 7) Financing the Business 8) Presenting the Plan 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Participants are expected be familiar with current topics regarding the economy and business, by reading newspapers and/or through other sources.						
授業方法	The class will combine lecture, class discussion and group exercises. We will try to add practical exercises where possible.						
評価基準と評価方法	Class participation 40% Assignments 10% Final exam (presentation) 50%						
教科書	Materials will be distributed in class.						
参考書	Will be introduced during classes.						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	岡部 浩子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	海外の国々の文化・習慣・価値観の違いなどを学びながら、状況に応じて適切なコミュニケーションができ、良い人間関係が築けるようにします。						
授業の概要	国際マナーの基本的な考え方から、挨拶、紹介、異文化理解などの具体的な事柄を学びます。日本人として、また社会人として、恥ずかしくないマナーの習得を目指します。						
到達目標	初対面の人への正しい応対ができること 食事のマナーを習得すること 異なる文化や習慣を理解し、円滑なコミュニケーションを行えること						
授業計画	第1回 Introduction: Mannerとは何か, 挨拶 第2回 紹介と名刺 第3回 コミュニケーションのマナー 第4回 レディーファースト 第5回 レストランのマナー 第6回 フランス料理の基礎 第7回 テーブルマナー 第8回 ワインとマナー 第9回 宗教とマナー①イスラム教 第10回 宗教とマナー②ユダヤ教 第11回 国別対応 第12回 国際儀礼 第13回 パーティー 第14回 ホームパーティーへの招待, 贈り物 第15回 贈り物, Review and term exam						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業計画に従い、該当箇所に目を通しておくこと。						
授業方法	講義形式にて行います。						
評価基準と評価方法	平常点(40%), 試験(小テスト30%, 期末テスト30%)						
教科書	初回授業時にクラス内で指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	国際マナー入門						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	海外の国々の文化・習慣・価値観の違いなどを学びながら、状況に応じて適切なコミュニケーションができ、良い人間関係が築けるようにします。						
授業の概要	国際マナーの基本的な考え方から、挨拶、紹介、異文化理解などの具体的な事柄を学びます。日本人として、また社会人として、恥ずかしくないマナーの習得を目指します。						
到達目標	初対面の人への正しい応対ができること 食事のマナーを習得すること 異なる文化や習慣を理解し、円滑なコミュニケーションを行えること						
授業計画	第1回 Introduction: Mannerとは何か、挨拶 第2回 紹介と名刺 第3回 コミュニケーションのマナー 第4回 レディーファースト 第5回 レストランのマナー 第6回 フランス料理の基礎 第7回 テーブルマナー 第8回 ワインとマナー 第9回 宗教とマナー①イスラム教 第10回 宗教とマナー②ユダヤ教 第11回 国別対応 第12回 国際儀礼 第13回 パーティー 第14回 ホームパーティーへの招待、贈り物 第15回 贈り物, Review and term exam						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業計画に従い、該当箇所に目を通しておくこと。						
授業方法	講義形式にて行います。						
評価基準と評価方法	平常点(40%), 試験(小テスト30%, 期末テスト30%)						
教科書	初回授業時にクラス内で指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	コンピューティングA/Computing A						
担当教員	P. Spaelti						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	インターネットがわかる。ウェブデザインの基本。						
授業の概要	この授業ではコンピュータを使ってインターネット上の情報にアクセスする方法を学びます。このために、まずコンピュータの基本的な働き、オペレーティング・システム(OS)そしてコンピュータ・ネットワークについて理解を深めることにします。それからCGなどのデジタルメディアを使ったウェブページの作成法、スタイルシートを使った情報の効果的な表示法を勉強します。さらにネット上でのあるべき倫理的問題、セキュリティとプライバシーの問題、そしてデジタルコンテンツの著作権の扱い方などにも触れます。授業では基本的概念の理解と実践の両方に重きを置く予定です。						
到達目標	テキストエディタ、グラフィックス・音声・動画ファイルなどを扱うさまざまなソフトウェアに使い慣れる。データのマークアップ、HTML、CSS、そして初歩のウェブプログラミングをマスターする。						
授業計画	第1回： コンピューターの基礎 第2回： ファイルエディターとファイルの種類 第3回： インターネットはなんですか？ 第4回： ブラウザーの種類 第5回： マークアップ言語：HTML/XHTML 第6回： ウェブサイトの計画 第7回： スタイルシート CSS 第8回： イメージの種類 第9回： 画像処理ソフトでイメージの変種 第10回： ユーザインターフェース 第11回： スクリプト 第12回： マルチメディア 第13回： プロジェクト作成・計画 第14回： プロジェクト作成・実現 第15回： プロジェクト作成・完成						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業で習った概念を実際に自分で使って慣れること。授業で始めたプロジェクトは、授業時間外に終わらせる必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	クイズで授業で扱った理論的概念のチェックをします。また、授業で扱ったスキルを使って、プロジェクトを完成させる必要があります。授業参加とクイズは評価の30%、プロジェクトは70%です。						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	コンピューティングB/Computing B						
担当教員	P. Spaelti						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータを使ったデータ分析。						
授業の概要	この授業ではコンピュータを使ってデータを収集し、組み立て、分析する方法を学びます。まずコンピュータの基本的な働き、オペレーティング・システム (OS)、ハードウェアとソフトウェアの違いなどについて理解を深めます。それからデータ入力、いろいろなフォーマットでの保存法や暗号化法、表計算ソフトやデータベースを使ったデータ分析法を勉強します。さらにネット上でのあるべき倫理的問題、セキュリティとプライバシーの問題、そしてデジタルコンテンツの著作権の扱い方などにも触れることにします。						
到達目標	データ入力と分析のためにさまざまなツールをマスターすること。XMLなどによるデータのマークアップをマスターすること。						
授業計画	第1回： データベースはなんですか？ 第2回： 表計算ソフトを使う 第3回： データの種類 第4回： グラフを作る 第5回： データ分析法 第6回： データ構造 第7回： マークアップ言語：XML 第8回： データベース言語：SQL 第9回： データベースの作成 第10回： データベースからデータを取り出す 第11回： セキュリティとプライバシーの問題 第12回： ウェブの接続 第13回： プロジェクト作成・計画 第14回： プロジェクト作成・実現 第15回： プロジェクト作成・完成						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業で習った概念を実際に自分で使って慣れること。授業で始めたプロジェクトは、授業時間外に終わらせる必要があります。						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	クイズで授業で扱った理論的概念のチェックをします。また、授業で扱ったスキルを使って、プロジェクトを完成させる必要があります。授業参加とクイズは評価の30%、プロジェクトは70%です。						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理A						
担当教員	松田 泰至						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータおよび関連技術について知る						
授業の概要	本授業では、情報/コンピュータ関係の試験で問われる事項について基礎的な知識を得ると共に、実際にコンピュータで作業をすることにより(Webページの作成)、具体的に情報処理の過程を理解・習得することを目的とする。						
到達目標	1. コンピュータを用いた情報処理の過程を理解するようになる。 2. 国家試験である情報処理技術者試験の概要がわかる。						
授業計画	第1回 授業概要説明 第2回 情報処理技術者試験の概要 第3回 コンピュータの基本構造(1) 5大機能 第4回 コンピュータの基本構造(2) 各機能間の連携 第5回 コンピュータネットワークの基礎(1) 階層構造 第6回 コンピュータネットワークの基礎(2) プロトコル 第7回 コンピュータネットワークの基礎(3) Web関連技術 第8回 チェックおよび復習 第9回 画像処理(1) フォーマット 第10回 画像処理(2) フィルタ 第11回 画像処理(3) 演習 第12回 アニメーション(1) 原理 第13回 アニメーション(2) 演習 第14回 チェックおよび復習 第15回 チェックおよび総まとめ						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：前回授業内容について復習しておく。 授業後学習：授業中に指示のあった参照サイト等の内容に目を通す。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題(数回)40% 小テスト10% 平常点 50%						
教科書	特に指定しない。適宜プリントを配布する。						
参考書	授業中指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報処理B						
担当教員	松田 泰至						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	コンピュータの動作原理と現状を知る						
授業の概要	本授業では、情報処理A同様に、単なる座学ではなく実際にコンピュータを操作することにより、具体的に情報処理の過程を理解・習得することを目的とする。特にHTML5およびCSS3を中心としたWeb関連技術について講義する。						
到達目標	1. コンピュータを用いた情報処理の過程を理解するようになる。 2. 国家試験である情報処理技術者試験の概要がわかる。						
授業計画	第1回 授業概要説明 第2回 情報処理技術者試験の概要 第3回 コンピュータシステムの信頼性(1) 稼働率 第4回 コンピュータシステムの信頼性(2) プロトコル上の工夫 第5回 Web関連技術(1) 概要 第6回 Web関連技術(2) HTML5 第7回 Web関連技術(3) CSS3 第8回 チェックおよび復習 第9回 Web関連技術(4) インラインフレーム 第10回 Web関連技術(5) アニメーション基礎 第11回 Web関連技術(6) アニメーション応用 第12回 情報処理演習(1) 情報圧縮 第13回 情報処理演習(2) 音声処理 第14回 チェックおよび復習 第15回 チェックおよび総まとめ						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習：前回授業内容について復習しておく。 授業後学習：授業で指示された参照サイトの内容に目を通す。						
授業方法	講義および演習						
評価基準と評価方法	課題(数回) 40% 小テスト 10% 平常点 50%						
教科書	特に指定しない。適宜プリントを配布する。						
参考書	授業中指示する。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理A/Computer and Ethics A						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	情報社会を生き抜くために						
授業の概要	<p>インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる方法を考えていきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子メールとネット上のエチケット 電子メールはインターネットに関わっていく基本です。ネット上のエチケット、「ネチケット」(netiquette)についての文献を日英語で読み、電子メールのちゃんとした書き方、扱い方、そして電子メールを中心としたネット上のエチケットについて学びます。 ・スパム・メールについて インターネットを使った迷惑行為「スパム・メール」(迷惑メール)についての資料を読み、その手口、対策について考えます。 ・フィッシング (phishing) について スパムと似たものですが、もっと悪質な犯罪行為フィッシングについて、資料を読み、それから身を守る方法について考えます。 						
到達目標	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる						
授業計画	<p>第1週：この授業についての全体的な紹介と注意事項</p> <p>第2週：電子メールとネット上のエチケット ・なぜ「ネチケット」?</p> <p>第3週：電子メールとネット上のエチケット ・メールの仕組みとネチケット</p> <p>第4週：電子メールとネット上のエチケット ・メールのスタイルとネチケット</p> <p>第5週：電子メールとネット上のエチケット ・添付ファイル etc.</p> <p>第6週：日本語のメールに関する問題(1) ・機種依存文字など</p> <p>第7週：日本語のメールに関する問題(2) ・文字コードなど</p> <p>第8週：ソーシャル・ネットワーキング・サイト(SNS) ・SNSの功罪・子供への影響(1)</p> <p>第9週：スパム・メールについて(1) ・スパムメールの歴史</p> <p>第10週：スパム・メールについて(2) ・スパム対策</p> <p>第11週：スパム・メールについて(3) ・メールの未来像?</p> <p>第12週：インターネットの犯罪・迷惑行為 ・Phishingについて(1)</p> <p>第13週：インターネットの犯罪・迷惑行為 ・Phishingについて(1)</p> <p>第14週：授業のまとめと復習テスト</p> <p>第15週：復習テストの返却とレビュー</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータ、インターネットを使用する。						

授業方法	英文のテキスト（プリント）を読みながら講義とディスカッション。
評価基準と評価方法	授業ごとに毎回クイズ（小テスト）をします。小テストの平均点を100点満点で算出して成績とします。
教科書	プリントを使用します。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	情報と倫理B/Computer and Ethics B						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	・情報社会を積極的に生きよう						
授業の概要	<p>インターネット上で提供されている、知的生活に役立つサービスや情報などを紹介し、その活用方法や問題点などについて見ていきます。</p> <p>特に前半では Google に注目し、その歴史、ここが提供しているサービスの内容、企業としてこの会社がどうやってなりたっているのか、などを調べます。</p> <p>次にブログ、ツイッター、ポッドキャストなどインターネット上のメディアについて見ていきます。</p> <p>更に、アメリカ最大のSNS MySpace の実態とその子どもへの影響などについて考えます。</p>						
到達目標	インターネットが充実した情報社会で情報を選別し、人に迷惑をかけず、迷惑行為や犯罪から身を守りながらコンピュータやメディアを積極的に使って知的生活に役立てる						
授業計画	<p>Week 1: 授業の内容、方法、評価方法など</p> <p>Week 2: Google: その歴史、サーチ・エンジンの特徴</p> <p>Week 3: Google: さまざまなサービス、企業としての Google</p> <p>Week 4: Google: Cloud computing</p> <p>Week 5: Google vs. Yahoo!</p> <p>Week 6: YouTube その歴史</p> <p>Week 7: YouTube のしくみ</p> <p>Week 8: YouTube と社会</p> <p>Week 9: YouTube の規則</p> <p>Week 10: 企業としての YouTube</p> <p>Week 11: Intellectual Property</p> <p>Week 12: Intellectual Property: Copyright</p> <p>Week 13: Intellectual Property: Patent</p> <p>Week 14: 復習と復習テスト</p> <p>Week 15: テスト返却と講評</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータ、インターネットを使用する。						
授業方法	用意している英文の教材をともに読み、ディスカッションします。授業ごとにクイズ(小テスト)をします。						
評価基準と評価方法	授業ごとに毎回クイズ(小テスト)をします。小テストの平均点を100点満点で算出して成績とします。						

教科書	プリントを使います。
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	事前設定科目						
担当教員	予備登録						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜1～2	配当学年	1	単位数	0.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	事前設定科目						
担当教員	予備登録						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	金曜1～2	配当学年	1	単位数	0.0
授業のテーマ							
授業の概要							
到達目標							
授業計画							
授業外における学習（準備学習の内容）							
授業方法							
評価基準と評価方法							
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	児童英語ゼミ						
担当教員	山内 啓子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	小学校などで英語を教えることのできる、児童英語教育指導者の能力養成と演習						
授業の概要	<p>本授業では以下の4項を目標にしています：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語能力の向上 (TOEIC 700を目標とします) 2. 国際理解教育 (自己啓発と共に、指導者として活用する教材の探究を行います) 3. 指導案・教材制作 (作成することで、教材の活用・応用を体得します) 4. 模擬授業演習 <p>指導者としての英語の認識を深め、理解度を高めるだけでなく「表現力」をつけます。そのためには単に英語が話せるだけでなく、異文化理解を促し、真の表現者となるべく研鑽を積みます。理論の上に実践を重ね、具体的な能力を身につけるためのゼミです。</p>						
到達目標	小学校の授業サポートができる能力がつけます。また広く異文化を理解する寛容な態度が身につきます。						
授業計画	<p>このゼミでは以下のように授業を進めます：</p> <p>前期：教科書＋国際理解・英語絵本研究 後期：教科書＋教案作成・教材制作・模擬授業</p> <p>「前期」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解教育の意義 I (国際理解とは) 2. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解教育の意義 II (『地名の世界地図』1) 3. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解教育の意義 III (『地名の世界地図』2) 4. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界地理学習 I (『地名の世界地図』3) 5. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界地理学習 II (『地名の世界地図』4) 6. 確認テスト(教科書＋『地名の世界地図』) <ul style="list-style-type: none"> ・ 世界地理学習まとめ 7. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の多面性 (世界の宗教) 8. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の多面性 (宗教と死生観) 9. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化の多面性 (宗教とタブー) 10. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 異文化の多面性 (食文化) 11. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・ 異文化の多面性 (自文化) 12. 確認テスト (教科書) <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際理解発表 I 13. 国際理解発表 II 14. 国際理解発表 III 15. 国際理解発表 IV (総括と評価) <p>「後期」</p>						

授業計画	<p>16. ・復習と復習テスト</p> <p>17. ・教科書 ・指導教案とは ・教材制作 I (教材と資料)</p> <p>18. ・教科書 ・指導教案作成 I ・教材制作 II</p> <p>19. ・教科書 ・指導教案作成 II ・模擬授業実践 1</p> <p>20. ・教科書 ・模擬授業実践 1</p> <p>21. ・教科書 (確認テスト) ・模擬授業実践 1</p> <p>22. ・模擬授業実践 2: 改善版</p> <p>23. ・模擬授業実践 2: 改善版</p> <p>24. ・模擬授業実践 2: 反省と改善</p> <p>25. ・教科書 ・改善指導案作成</p> <p>26. ・教科書 ・改善模擬授業 3</p> <p>27. ・教科書 ・改善模擬授業 3</p> <p>28. ・教科書 (確認テスト) ・改善模擬授業 3</p> <p>29. ・総まとめ I</p> <p>30. ・総まとめ II</p>
授業外における学習 (準備学習の内容)	<p>テキストを事前予習して授業に臨むこと。授業中に訳読はしませんので、注意して下さい。 また国際ニュースもチェックし、世界情勢を把握しておくこと。 国際理解発表や模擬授業に先立っては授業外で十分練習を行うこと。</p>
授業方法	<p>演習形式に時折講義形式が混じります。</p>
評価基準と評価方法	<p>積極的なクラス参加、確認テスト、レポート提出、発表・模擬授業、授業態度等で総合評価を行います。 発表累計40%、テスト類30%、レポート類30%</p>
教科書	<p>『Different Realities』-Adventures in Intercultural Communication- Joseph Shaules/Juri Abe 著 南雲堂 ISBN978-4-523-17565-0</p>
参考書	<p>三浦 孝、弘山 貞男、中嶋 洋一編著『だから英語は教育なんだ』(研究社) ISBN978-4-327-41060-5 江利川 春雄「日本人は英語をどう学んできたか」(研究社) ISBN978-4-327-41068-1 "English for Primary Teachers" Mary Slattery & Jane Willis (Oxford) ISBN 978-0-19-437563-4 その他は授業中に紹介します</p>

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation I						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation I は、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、大学で学ぶ英語に対する学生の能力を高めることによって、1年次の終りのTOEIC試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。教室では、TOEICのリスニングとリーディングスキルに焦点を当てる。さらに、松蔭のセメスター・1年留学提携大学がある都市や国の生活を紹介するためのリーディング教材を使用する。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる 2. 留学先大学の所在地を紹介する。 注：この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Placement / Introduction 2. TOEIC Unit 1 Daily Life 3. TOEIC Unit 2 Places (L) / Adelaide, Australia 4. TOEIC Unit 2 Places (R) / Victoria, Canada 5. Vocabulary Test A / TOEIC Unit 3 People 6. TOEIC Unit 4 Travel (L) / Delaware, US 7. TOEIC Unit 4 Travel (R) / York St. John, UK 8. Review / Vocabulary Test B / Course Test 1 9. TOEIC Unit 5 Business 10. TOEIC Unit 6 Office (L) / Auckland, NZ 11. TOEIC Unit 6 Office (R) / Study Abroad Q&A 1 12. Vocabulary Test C / TOEIC Unit 7 Technology 13. TOEIC Unit 8 Personnel (L) / Study Abroad Q&A 2 14. TOEIC Unit 8 Personnel (R) / Study Abroad Q&A 3 15. Review / Vocabulary Test D / Course Test 2 <p>Summer Vacation - Self-Study Quizzes 1-8</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEIC試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題（20%）、単語テストx 4（20%）、コーステストx 2（60%）に基づきます						
教科書	Successful Keys to the TOEIC Listening and Reading Test 2 - 600 (4th edition) Mark D. Stafford, Kirihara Shoten, ISBN 978-4-342-55263-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation I						
担当教員	岡部 浩子						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC 受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation Iは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、大学で学ぶ英語に対する学生の能力を高めることによって、1年次の終りのTOEIC試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。教室ではTOEICのリスニング、文法、リーディングに焦点を当てる。さらに、松蔭の中・長期留学提携大学がある都市や国の生活を紹介するためのリーディング教材を使用する。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる。 2. 留学先大学の所在地を紹介する。 注：この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。						
授業計画	第1回 Placement / Course Introduction 第2回 A: Pre-test (pp.10-19) 第3回 A: Unit 1 Vocabulary, Listening Section, Reading Section (pp.20-27) 第4回 A: Unit 2 Vocabulary, Listening Section (pp.28-31)/ B: Section 1 No. 1-15 第5回 A: Unit 2 Reading Section (pp.32-35)/ B: Section 1 No. 16-30 第6回 A: Unit 3 Vocabulary, Listening Section (pp.36-39)/ B: Section 1 No. 31-45 第7回 A: Unit 3 Reading Section (pp.40-43)/ B: Section 1 No. 46-62 第8回 Review and Course Test 1 第9回 A: Unit 4 Vocabulary, Listening Section (pp.44-47)/ B: Section 2 No. 1-18 第10回 A: Unit 4 Reading Section (pp.48-53)/ B: Section 2 No. 19-36 第11回 A: Unit 5 Vocabulary, Listening Section (pp.54-57)/ B: Section 2 No. 37-54 第12回 A: Unit 5 Reading Section (pp.58-61)/ B: Section 3 No. 1-15 第13回 A: Unit 6 Vocabulary, Listening Section (pp.62-65)/ B: Section 3 No. 16-30 第14回 A: Unit 6 Reading Section (pp.66-69)/ B: Section 3 No. 31-46 第15回 Review and Course Test 2 受講生の学習到達度により変更の可能性あり。						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEICの練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(20%)、2 x コーステスト(40% x 2 = 80%)に基づきます。						
教科書	A: The TOEIC Test Trainer Target 470(Revised Edition), M. Yamaguchi et al, Cengage Learning, ISBN 978-486312-2604 B: A Shorter Course in TOEIC Test Grammar, Naomi Koike, 南雲堂, ISBN 978-452317-5513						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad Preparation I						
担当教員	森岡 高子						
学期	前期 / 1st semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC 受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation Iは、英語学科2年次後期に予定されている中期留学に備え、大学で学ぶ英語に対する学生の能力を高めることによって、1年次の終りのTOEIC試験で高成績を上げるためのコースの前半を成す。教室ではTOEICのリスニング、文法、リーディングに焦点を当てる。さらに、松蔭の中・長期留学提携大学がある都市や国の生活を紹介するためのリーディング教材を使用する。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる。 2. 留学先大学の所在地を紹介する。 注：この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Placement、Course Introduction 2. A: Pre-test (p. 10-p. 19) 3. A: Unit 1 Vocabulary, Listening Section, Reading Section (p. 20-p. 27) 4. A: Unit 2 Vocabulary, Listening Section (p. 28-p. 31) / B: Section 1 No. 1-15 5. A: Unit 2 Reading Section (p. 32-p. 35) / B: Section 1 No. 16-30 6. A: Unit 3 Vocabulary, Listening Section (p. 36-p. 39) / B: Section 1 No. 31-45 7. A: Unit 3 Reading Section (p. 40-p. 43) / B: Section 1 No. 46-62 8. Review & Course Test 1 9. A: Unit 4 Vocabulary, Listening Section (p. 44-p. 47) / B: Section 2 No. 1-18 10. A: Unit 4 Reading Section (p. 48-p. 53) / B: Section 2 No. 19-36 11. A: Unit 5 Vocabulary, Listening Section (p. 54-p. 57) / B: Section 2 No. 37-54 12. A: Unit 5 Reading Section (p. 58-p. 61) / B: Section 3 No. 1-15 13. A: Unit 6 Vocabulary, Listening Section (p. 62-65) / B: Section 3 No. 16-30 14. A: Unit 6 Reading Section (p. 66-p. 69) / B: Section 3 No. 31-46 15. Review & Course Test 2 <p>受講生の学習到達度により変更の可能性あり。</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEICの練習と海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題（20%）、2 x コーステスト（40% x 2 = 80%）に基づきます。						
教科書	A: The TOEIC Test Trainer Target 470 (Revised Edition), M. Yamaguchi et al, Cengage Learning ISBN 978-486312-2604 B: A Shorter Course in TOEIC Test Grammar, Naomi Koike, 南雲堂, ISBN 978-452317-5513						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad PreparationII						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation IIでは、さらにTOEICのリスニングとリーディングスキルを伸ばすためにTOEIC試験問題を集中的に練習し、受験に備える。又、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようなアドバイスを与える。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる：目標 - 600 2. 留学先での生活全般について話し合う。 3. 個々の学生が興味を持つ留学先のことについて調べ、クラス内でプレゼンを行う。 注：この授業と、1年生の後期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。						
授業計画	1. TOEIC Unit 9 Management 2. TOEIC Unit 10 Purchasing 3. Vocabulary Test E / TOEIC Unit 11 Finances 4. TOEIC Unit 12 Media 5. TOEIC Unit 13 Entertainment 6. Review / Vocabulary Test F / Course Test 1 7. TOEIC Unit 14 Health TOEIC Test One (Sat.) 8. Poster Presentation (Preparation) / TOEIC Unit 15 Restaurants 9. Vocabulary Test G / Photos Practice / Incomplete Sentences Practice Conversations Practice 10. Q-R Practice / Talks Practice 11. Poster Presentation (Performance) Winter Vacation - Self-Study Quizzes 9-15 / Vocabulary Worksheets 12. Text Completion Practice 13. Listening Review (1st half) / Reading Review (1st half) 14. Listening Review (2nd half) / Reading Review (2nd half) TOEIC Test Two (Sat.) 15. Review / Course Test 2						
授業外における学習（準備学習の内容）	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEIC試験問題の練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題（10%）、単語テストx 3（20%）、コーステストx 2（40%）、TOEICテスト(30%)に基づきます。						
教科書	Successful Keys to the TOEIC Listening and Reading Test 2 - 600 (4th edition) Mark D. Stafford, Kirihara Shoten, ISBN 978-4-342-55263-2						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad PreparationII						
担当教員	岡部 浩子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC 受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation IIでは、さらにTOEICのリスニング、文法、リーディングスキルを伸ばすためにTOEIC試験問題を集中的に練習し、受験に備える。又、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようアドバイスを与える。						
到達目標	<p>1. 学生のTOEICスコアを上げる。目標 470点</p> <p>2. 留学先での生活全般について話し合う。</p> <p>注：この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができるようになります。</p>						
授業計画	<p>第1回 A: Unit 7 Vocabulary, Listening Section (pp. 70-73) / B: Section 4 No. 1-15</p> <p>第2回 A: Unit 7 Reading Section (pp. 74-77) / B: Section 4 No. 16-30</p> <p>第3回 A: Unit 8 Vocabulary, Listening Section (pp. 78-80) / B: Section 4 No. 31-45</p> <p>第4回 A: Unit 8 Reading Section (pp. 81-85) / B: Section 4 No. 46-60</p> <p>第5回 A: Unit 9 Vocabulary, Listening Section (pp. 86-89) / B: Section 5 No. 1-13</p> <p>第6回 A: Unit 9 Reading Section (pp. 90-93) / B: Section 5 No. 14-26</p> <p>第7回 A: Unit 10 Vocabulary, Listening Section (pp. 94-97) / B: Section 5 No. 27-39</p> <p>第8回 Review and Course Test 1</p> <p>第9回 A: Unit 10 Reading Section (pp. 98-101) / B: Section 5 No. 40-52</p> <p>第10回 A: Unit 11 Vocabulary, Listening Section (pp. 102-105) / B: Section 5 No. 53-66</p> <p>第11回 A: Unit 11 Reading Section (pp. 106-109) / B: Section 6 No. 1-12</p> <p>第12回 A: Unit 12 Vocabulary, Listening Section (pp. 110-112) / B: Section 6 No. 13-25</p> <p>第13回 A: Unit 12 Reading Section (pp. 113-117) / B: Section 6 No. 26-38</p> <p>第14回 A: Post Test (pp. 118-127)</p> <p>第15回 Review and Course Test 2</p> <p>受講生の学習到達度により変更の可能性あり。</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEICの練習 と 海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(10%)、2 x コーステスト(30% x 2 = 60%)、TOEICテスト(30%)に基づきます。						
教科書	<p>A: The TOEIC Test Trainer Target 470 (Revised Edition), M. Yamaguchi et al, Cengage Learning, ISBN 978-486312-2604</p> <p>B: A Shorter Course in TOEIC Test Grammar, Naomi Koike, 南雲堂, ISBN 978-452317-5513</p>						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	Study Abroad PreparationII						
担当教員	森岡 高子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜3	配当学年	1	単位数	2.0
授業のテーマ	TOEIC 受験対策と留学準備						
授業の概要	Study Abroad Preparation IIでは、さらにTOEICのリスニング、文法、リーディングスキルを伸ばすためにTOEIC試験問題を集中的に練習し、受験に備える。又、英語圏の社会での家庭生活を紹介し、学生がホームステイと地域社会での生活にうまく溶け込めるようアドバイスを与える。						
到達目標	1. 学生のTOEICスコアを上げる:目標 470点 2. 留学先での生活全般について話し合う。 注: この授業と、1年生の前期の他の授業で英語力を上達させることができれば、留学した時により高いレベルのクラスに入ることができ、英語能力をさらに高めることができます。						
授業計画	1. A: Unit 7 Vocabulary, Listening Section (p. 70-p.73) / B: Section 4 No. 1-15 2. A: Unit 7 Reading Section (p. 74-p.77) / B: Section 4 No. 16-30 3. A: Unit 8 Vocabulary, Listening Section (p. 78-p.80) / B: Section 4 No. 31-45 4. A: Unit 8 Reading Section (p. 81-p.85) / B: Section 4 No. 46-60 5. A: Unit 9 Vocabulary, Listening Section (p. 86-p.89) B: Section 5 No. 1-13 6. A: Unit 9 Reading Section (p. 90-p.93) / B: Section 5 No. 14-26 7. A: Unit 10 Vocabulary, Listening Section (p. 94-p.97) / B: Section 5 No. 27-39 8. Review & Course Test 1 9. A: Unit 10 Reading Section (p. 98-p.101) / B: Section 5 No. 40-52 10. A: Unit 11 Vocabulary, Listening Section (p. 102-p.105) / B: Section 5 No. 53-66 11. A: Unit 11 Reading Section (p. 106-p.109) / B: Section 6 No. 1-12 12. A: Unit 12 Vocabulary, Listening Section (p. 110-p.112) / B: Section 6 No. 13-25 13. A: Unit 12 Reading Section (p. 113-p.117) / B: Section 6 No. 26-38 14. A: Post Test (p. 118-p.127) 15. Review & Course Test 2 受講生の学習到達度により変更の可能性あり。						
授業外における学習(準備学習の内容)	教科書の練習問題に目を通しておく。						
授業方法	TOEICの練習と海外留学についての講義						
評価基準と評価方法	評価は宿題(10%)、2 x コーステスト(30% x 2 = 60%)、TOEICテスト(30%)に基づきます。						
教科書	: The TOEIC Test Trainer Target 470 (Revised Edition), M. Yamaguchi et al, Cengage Learning ISBN 978-486312-2604 B: A Shorter Course in TOEIC Test Grammar, Naomi Koike, 南雲堂, ISBN 978-452317-5513						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	世界の問題A/Global Issues A						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Global Issues especially in the developing world						
授業の概要	The purpose of this course is to increase your awareness of current global issues and to improve your ability to communicate about them. We will focus on issues in developing countries and make a special study of Cambodia. You will make regular reports on topics we study and make comparisons with Japan. The course is taught entirely in English though subtitles will be used for films.						
到達目標	This course will develop writing, reading and presentation skills. You will learn to do research about a country you are interested in.						
授業計画	<p>The contents of this course are subject to change and will reflect current events and interest of students.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Developing World News / Refugees 3) Refugees: vocabulary review / reading / roleplay 4) Refugees: roleplay / reading / writing (conditional sentences) 5) Introduction to Cambodia 6) Cambodia: 'The Killing Fields' 7) 'The Killing Fields' 8) 'The Killing Fields' / Landmines 9) Landmines. Writing opinion letters to a newspaper 10) Big numbers in English. Japan-Cambodia comparisons 11) Presentations on countries 12) Outsourcing and sweatshops: where are your clothes from? 13) Outsourcing and sweatshops: where are your clothes from? 14) Fair Trade 15) Review 						
授業外における学習(準備学習の内容)	The class is a practical one in which you will read, complete worksheets, participate in group discussions and project work. Sometimes you will have to make presentations in class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There will be no test. 100% of final grade will be based on completion of homework, reports and class presentations.						
教科書	There is no textbook for this course but you must bring a clear file and all the prints you are given to each class.						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	世界の問題B/Global Issues B						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	Global Issues, especially in the developing world						
授業の概要	<p>The purpose of this course is to increase your awareness of your own and other cultures and to improve your ability to communicate about them. We will focus on issues in developing countries and make special studies of Cambodia, India and Burma. In this semester we will look at education and issues affecting women.</p> <p>You will prepare materials for the visit by a student from Cambodia and make a short presentation about Japan or Japanese culture.</p> <p>The course is taught entirely in English though subtitles will be used for films.</p>						
到達目標	<p>This course will develop writing, reading and presentation skills.</p> <p>You will learn about developing countries and make comparisons with Japan.</p> <p>You will also learn about your own country and make a presentation to a Cambodian visitor.</p> <p>You will write articles for a newspaper about Cambodia.</p>						
授業計画	<p>The exact contents are subject to change depending on current events and interests of students.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Review: countries in the news 2) Introduction to India: education in India 3) Case studies from India 4) Women's education; illiteracy 5) Illiteracy.Women's Education / Malala 6) Malala: Film 'I am Malala' 7) Preparation for visit by Cambodian visitor 8) India: Acid Attacks 9) Preparation for visit by Cambodian visitor 10) Class with Cambodian visitor: presentations about Japan 11) Class with Cambodian visitor: interviews about Cambodia 12) Burma: Introduction. Film: 'The Lady' 13) Film: 'The Lady' 14) Burma conclusion. Preparation of articles for Shoin Cambodia Times 15) Preparation of articles for Shoin Cambodia Times 						
授業外における学習(準備学習の内容)	The class is a practical one in which you will read, complete worksheets, participate in group discussions and project work. Sometimes you will have to make presentations in class.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	There will be no test. 100% of final grade will be based on completion of homework, reports and class presentations.						
教科書	There is no textbook for this course but you must bring a clear file and all the prints you are given to each class.						
参考書	Please bring a dictionary to class						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育応用A						
担当教員	吉井 康博						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	児童の英語教育研究						
授業の概要	この授業では、早期英語教育の理解に必要な認知心理学の基礎知識とSLA(第二言語習得)理論を学習します。言語を学習するには次のような要因が関与します。つまり個人の言語学習に向かう動機と態度、inputとoutput、相互交流、さらに意識と注意、そして気づきなどです。これらの要因がどのような形で相互に関連しL2(第二言語)学習を促進するかを理論の実例から学習します。また、授業の展開に必要な英語表現や基礎文法を口頭練習により学びます。						
到達目標	幼児・児童に英語を教える指導原理と授業を行う際に要求される英語表現の習得を目指し、英語指導ができる力を養います。						
授業計画	English for Primary Teachers: EPT / Classroom English: CE / Sentence-Creating Exercises: SCE / Review Quiz: RQ 1. Introduction 2. EPT 1.1 First Language -- second language CE 1-1 SCE1-1 3. RQ (CE1-1) EPT 1.2 Starting your lessons in English CE 1-2 SCE1-2 4. RQ (CE1-2) EPT 1.3 Organizing your classroom CE 1-3 SCE1-3 5. RQ (CE1-3) EPT 1.4 Ending your lessons CE 1-4 SCE1-4 6. RQ (CE1-4) EPT 1.5 Young learners CE 1-5 SCE1-5 7. RQ(CE1-5) EPT 2.1 Giving instructions in English CE 1-6 SCE1-6 8. RQ(CE1-6) EPT 2.2. Listening and identifying CE 1-7 SCE1-7 9. RQ(CE1-7) EPT 2.3 Listening and doing - TPR CE 1-8 SCE1-8 10. RQ(CE1-8) EPT 2.4 Listening and performing - miming CE 1-9 SCE1-9 11. RQ(CE1-9) EPT 2.5 Listening and responding games CE 1-10 SCE1-10 12. RQ(CE1-10) EPT 3.1 Listen and color CE 1-11 SCE1-11 13. RQ(CE1-11) EPT 3.2 Listen and draw CE 1-12 SCE1-12 14. RQ(CE1-12) EPT 3.3 Listen and make CE 1-13 SCE1-13 15. Question-and-Answer Session / Final Quiz						
授業外における学習(準備学習の内容)	(1) 毎回の授業で行うClassroom English(教室英語表現)は、Review Quiz(復習テスト)を行うので必ず口頭でも筆記でも対応できるよう準備が必要です。 (2) 教科書(English for Primary Teachers)は予習して、しっかり意味を理解しておく必要があります。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	Review Quiz: 40%; Participation:10%; Final Quiz:50%						
教科書	English for Primary Teachers Mary Slattery&Jane Willis Oxford Univ. Press ISBN 978-0-19-437563-3						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目																																																			
科目名	早期英語教育応用B																																																			
担当教員	吉井 康博																																																			
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0																																													
授業のテーマ	児童の英語教育研究																																																			
授業の概要	<p>早期英語教育応用Aで学習した理論的知識に基づき、実用的な授業展開方法に関する理解を深め、効果的な指導方法について何が必要なかを考察していきます。また、授業案を練ることを課題とし、その課題を実践する模擬授業を行ってもらいます。</p> <p>Aと同様、英語の形と表現法を学ぶ過程で、児童に投げかける疑問文を作ることや、様々な表現を組み合わせせて簡単な物語を創作する練習も行います。</p>																																																			
到達目標	幼児・児童に英語を教える指導原理と授業を行う際に要求される英語力の習得、また授業が実際展開できる能力を身につけることを目指します。																																																			
授業計画	<p>English for Primary Teachers: EPT / Classroom English: CE / Sentence-Creating Exercises: SCE / Review Quiz: RQ</p> <table border="0"> <tr> <td>1. EPT 4.1 Using classroom phrases</td> <td>CE 1-1</td> <td>SCE1-1</td> </tr> <tr> <td>2. RQ (CE1-1) EPT 4.2 Saying rhymes and singing songs</td> <td>CE 1-2</td> <td>SCE1-2</td> </tr> <tr> <td>3. RQ (CE1-2) EPT 4.3 Practicing new vocabulary</td> <td>CE 1-3</td> <td>SCE1-3</td> </tr> <tr> <td>4. RQ (CE1-3) EPT 4.4 Playing vocabulary games</td> <td>CE 1-4</td> <td>SCE1-4</td> </tr> <tr> <td>5. RQ (CE1-4) EPT 4.5 Practicing pronunciation of new sounds</td> <td>CE 1-5</td> <td>SCE1-5</td> </tr> <tr> <td>6. RQ (CE1-5) EPT 5.1 Cognitive development</td> <td>CE 1-6</td> <td>SCE1-6</td> </tr> <tr> <td>7. RQ (CE1-6) EPT 5.2 Starting to speak freely</td> <td>CE 1-7</td> <td>SCE1-7</td> </tr> <tr> <td>8. RQ (CE1-7) EPT 5.3 Speaking games</td> <td>CE 1-8</td> <td>SCE1-8</td> </tr> <tr> <td>9. RQ (CE1-8) EPT 5.4 Children speaking in groups</td> <td>CE 1-9</td> <td>SCE1-9</td> </tr> <tr> <td>10. RQ (CE1-9) EPT 6.1 Beginning reading</td> <td>CE 1-10</td> <td>SCE1-10</td> </tr> <tr> <td>11. RQ (CE1-10) EPT 6.2 Speaking to reading</td> <td>CE 1-11</td> <td>SCE1-11</td> </tr> <tr> <td>12. RQ (CE1-11) EPT 6.3 Helping children recognize phrases</td> <td>CE 1-12</td> <td>SCE1-12</td> </tr> <tr> <td>13. RQ (CE1-12) EPT 6.4 Reading independently</td> <td>CE 1-13</td> <td>SCE1-13</td> </tr> <tr> <td>14. Presentation</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15. Question-and-Answer Session / Final Quiz</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>							1. EPT 4.1 Using classroom phrases	CE 1-1	SCE1-1	2. RQ (CE1-1) EPT 4.2 Saying rhymes and singing songs	CE 1-2	SCE1-2	3. RQ (CE1-2) EPT 4.3 Practicing new vocabulary	CE 1-3	SCE1-3	4. RQ (CE1-3) EPT 4.4 Playing vocabulary games	CE 1-4	SCE1-4	5. RQ (CE1-4) EPT 4.5 Practicing pronunciation of new sounds	CE 1-5	SCE1-5	6. RQ (CE1-5) EPT 5.1 Cognitive development	CE 1-6	SCE1-6	7. RQ (CE1-6) EPT 5.2 Starting to speak freely	CE 1-7	SCE1-7	8. RQ (CE1-7) EPT 5.3 Speaking games	CE 1-8	SCE1-8	9. RQ (CE1-8) EPT 5.4 Children speaking in groups	CE 1-9	SCE1-9	10. RQ (CE1-9) EPT 6.1 Beginning reading	CE 1-10	SCE1-10	11. RQ (CE1-10) EPT 6.2 Speaking to reading	CE 1-11	SCE1-11	12. RQ (CE1-11) EPT 6.3 Helping children recognize phrases	CE 1-12	SCE1-12	13. RQ (CE1-12) EPT 6.4 Reading independently	CE 1-13	SCE1-13	14. Presentation			15. Question-and-Answer Session / Final Quiz		
1. EPT 4.1 Using classroom phrases	CE 1-1	SCE1-1																																																		
2. RQ (CE1-1) EPT 4.2 Saying rhymes and singing songs	CE 1-2	SCE1-2																																																		
3. RQ (CE1-2) EPT 4.3 Practicing new vocabulary	CE 1-3	SCE1-3																																																		
4. RQ (CE1-3) EPT 4.4 Playing vocabulary games	CE 1-4	SCE1-4																																																		
5. RQ (CE1-4) EPT 4.5 Practicing pronunciation of new sounds	CE 1-5	SCE1-5																																																		
6. RQ (CE1-5) EPT 5.1 Cognitive development	CE 1-6	SCE1-6																																																		
7. RQ (CE1-6) EPT 5.2 Starting to speak freely	CE 1-7	SCE1-7																																																		
8. RQ (CE1-7) EPT 5.3 Speaking games	CE 1-8	SCE1-8																																																		
9. RQ (CE1-8) EPT 5.4 Children speaking in groups	CE 1-9	SCE1-9																																																		
10. RQ (CE1-9) EPT 6.1 Beginning reading	CE 1-10	SCE1-10																																																		
11. RQ (CE1-10) EPT 6.2 Speaking to reading	CE 1-11	SCE1-11																																																		
12. RQ (CE1-11) EPT 6.3 Helping children recognize phrases	CE 1-12	SCE1-12																																																		
13. RQ (CE1-12) EPT 6.4 Reading independently	CE 1-13	SCE1-13																																																		
14. Presentation																																																				
15. Question-and-Answer Session / Final Quiz																																																				
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>(1) 毎回の授業で行うClassroom English(教室英語表現)は、Review Quiz(復習テスト)を行うので必ず口頭でも筆記でも対応できるよう準備が必要です。</p> <p>(2) 教科書(English for Primary Teachers)は予習して、しっかり意味を理解しておく必要があります。</p>																																																			
授業方法	講義と演習																																																			
評価基準と評価方法	Review Quiz: 30%; Presentaion:20%; Final Quiz:50%																																																			
教科書	English for Primary Teachers Mary Slattery&Jane Willis Oxford Univ. Press ISBN 978-0-19-437563-4																																																			
参考書																																																				

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育基礎A						
担当教員	山内 啓子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	小学校における英語教育の理論と実践 A						
授業の概要	小学校の英語教育に関わる歴史的背景と理論について学び、現在の学校教育における実践について広く考察する。また実践として特に英語絵本を取り上げ、広く教材としての適正を検討する。						
到達目標	小学校における英語教育に関わることで次の3点を習得する。 ①基礎的な理論 ②現状理解 ③英語絵本の教材活用						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 小学校英語の歴史的背景 3. 早期英語教育の現状と経緯（反対論＋推進論等） 4. 学習指導要領 5. 『Hi, Friends!』の考察1（通読と教材からの考察） 6. 『Hi, Friends!』の考察2（指導の立場からの考察） 7. 音声指導の基礎1（母音＋子音） 8. 音声指導の基礎2（音のつながり） 9. 教材の作成と考察 「ゲストスピーカー招聘予定」 10. 英語絵本のいろいろ 11. 英語絵本の教材適正 12. 英語絵本の音読 13. 英語絵本の指導法 14. 期末試験＋質疑応答 15. まとめ 						
授業外における学習（準備学習の内容）	普段から英語の運用力を高めるよう努力すること。またMReaderなどを用いて英語の本、絵本を多読したり、YouTubeを活用して英語のこどもの歌やアクティビティに親しむようにすること。						
授業方法	講義と演習。実際に教材を作成したりの作業も含まれます。						
評価基準と評価方法	期末試験50%、課題30%、ディスカッションへの参加など積極的な授業参加状況20%を総合的に評価する。						
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 『小学校英語教育法入門』（2013） 樋口忠彦（代表）著 研究社 ISBN978-4-327-41086-5 2. 『Hi, Friends!』 1 & 2 東京書籍 ISBN978-4-487-25883-3(1) 978-4-487-25884-0(2) 						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	早期英語教育基礎B						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	小学校における英語教育の理論と実践 B						
授業の概要	前期に引き続き小学校の英語教育の現状と理論について学び、現在の就学前教育や学校教育における実践について広く考察する。 また実践として特に英語絵本を取り上げ、オリジナルの絵本作成を通して教材の適正や授業案を学ぶ。						
到達目標	小学校における英語教育に関わることで次の2点の応用ができるようになる。 ①基礎的な理論の実践 ②英語絵本の作成と教材応用						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーションと前期の復習 2. 早期英語に関する関連分野（第二言語習得） 3. 小学校英語の関連分野（国際理解教育） 4. 音声指導の実践1（「音のつながり」の確認） 5. 音声指導の実践2（英語の手遊び歌、童謡の習得） 6. 早期英語の授業実践考察1（指導案作成） 7. 早期英語の授業実践考察2（模擬授業） 8. 早期英語の授業実践考察3（模擬授業と振り返り） 9. 教材作成1（英語絵本作成1） 10. 教材作成2（英語絵本作成2） 11. 小学校英語の授業実践考察1（自作の絵本を用いた模擬授業） 12. 小学校英語の授業実践考察2（自作の絵本を用いた模擬授業と振り返り） 13. 模擬授業の総括と英語絵本の検討 14. 期末試験＋質疑応答 15. まとめ 						
授業外における学習（準備学習の内容）	普段から英語の運用力を高めるよう努力すること。またMReaderなどを用いて英語の本、絵本を多読したり、YouTubeを活用して英語のこどもの歌やアクティビティに親しむこと。 さらに、English Islandを定期的に活用したり、「まつぼっくり」、「St. Michael's Saturday school」のボランティアに積極的に参加することが望ましい。						
授業方法	講義と演習。教材作成の作業も含まれます。						
評価基準と評価方法	期末試験30%、課題30%、模擬授業など積極的な授業参加状況40%を総合的に評価する。						
教科書	<ol style="list-style-type: none"> 1. 『小学校英語教育法入門』（2013） 樋口忠彦（代表）著 研究社 ISBN978-4-327-41086-5 2. 『Hi, Friends!』 1 & 2 東京書籍 ISBN978-4-487-25883-3(1) 978-4-487-25884-0(2) 						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	S. Bibby						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	水曜3	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Graduation Thesis						
授業の概要	<p>This course is designed to help you write your Graduation Thesis on any aspect of language, culture, history or literature, particularly (but not necessarily) related to Britain. Topics can be negotiated with the tutor, but should be 'academic' in nature, not frivolous. Several weeks will be spent on improving writing ability, study skills and IT skills necessary for writing a thesis, for example: choosing a topic; effective research; surveying using IT tools, essay structure; using references; and academic writing style.</p>						
到達目標	You will complete a 25-page Graduation Thesis on a subject of your choice.						
授業計画	<p>SEMESTER ONE</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Introductions and getting started with Google Drive 2. Using reference books and online materials & choosing a suitable topic 3. Suitable topics and making an outline plan 4. Breaking it down - subsections 5. Organizing your paper - structure of paper and paragraphs 6. Plagiarism (1) Avoiding copying - how to cite and reference (1) 7. Choose topic by this date 8. Writing tools: using MS Word and Google Drive effectively 9. Make and submit outline by this date 10. Writing style, common mistakes 11. Plagiarism (2) review 12. Subtopics - starting the writing 13. Group meetings and writing 14. Group meetings and writing 15. Review and progress check <p>SEMESTER TWO</p> <p>In this semester we will meet in the library in small groups to discuss the thesis as you write it. You will be given guidance and support.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Meeting to check progress of first chapter of the thesis 2. Group tuition meeting 3. Group tuition meeting 4. Group tuition meeting 5. Group tuition meeting 6. Group tuition meeting 7. Group tuition meeting 8. Group tuition meeting 9. Group tuition meeting 10. Group tuition meeting 11. Group tuition meeting 12. Conclusions, citations and references 13. Revision 14. Corrections 15. Final revisions 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>Please come to the first lesson ready to discuss the topics you are interested in. In the first semester you will develop writing skills to get you ready to write. You will then start writing. In the second semester (although it is good to start earlier) you write and share with your supervisor, using the online tool Google Drive. You MUST write regularly.</p>						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	<p>Your grade is based entirely (100%) on the completed Graduation Thesis. Note the requirements below. Based on Shoin rules, satisfactory attendance is also required.</p>						

教科書	
参考書	<p>You should be using a good hard copy dictionary, electronic dictionary, or online dictionary. Both English-English and English-Japanese/Japanese-English are helpful.</p> <p>To contact and share on GoogleDrive: bibbysimon@gmail.com Coordinator contact: sbibby@shoin.ac.jp, Office hour: 火曜 9:00-10:30, in Building 13, 2nd floor</p>

科目区分	英語学科専門教育科目								
科目名	卒業研究/Graduation Thesis								
担当教員	A. E. Jackson								
学期	通年/Full Year	曜日・時限	金曜2	配当学年	4	単位数	8.0		
授業のテーマ	Graduation Thesis supervision								
授業の概要	This course is designed to help you write your graduation thesis in one of these fields: British Society and Culture / Education / TESOL. This class will meet for several weeks in a classroom for instruction in thesis writing skills. Thereafter, students will meet for individual or group consultation in the teacher's office.								
到達目標	Students will be able to write a 25-page thesis in English in accordance with APA conventions.								
授業計画	<table border="0"> <tr> <td style="vertical-align: top;"> 1st semester 1 In class: Introduction 2 Library orientation 3 Thesis structure 4 Thesis structure 5 Choosing a topic 6 References and plagiarism 7 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for choosing topic) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Deadline for thesis outline) 13 Individual/group consultation 14 Individual/group consultation 15 Individual/group consultation </td> <td style="vertical-align: top;"> 2nd semester 1 In class: Introduction 2 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for 1st main chapter) 3 Individual/group consultation 4 Individual/group consultation 5 Individual/group consultation 6 Individual/group consultation 7 Individual/group consultation (You should have written 10 pages) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Your thesis should be almost complete) 13 Final check Submission of thesis by deadline 14 (Individual consultation) 15 (Individual consultation) </td> </tr> </table>							1st semester 1 In class: Introduction 2 Library orientation 3 Thesis structure 4 Thesis structure 5 Choosing a topic 6 References and plagiarism 7 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for choosing topic) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Deadline for thesis outline) 13 Individual/group consultation 14 Individual/group consultation 15 Individual/group consultation	2nd semester 1 In class: Introduction 2 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for 1st main chapter) 3 Individual/group consultation 4 Individual/group consultation 5 Individual/group consultation 6 Individual/group consultation 7 Individual/group consultation (You should have written 10 pages) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Your thesis should be almost complete) 13 Final check Submission of thesis by deadline 14 (Individual consultation) 15 (Individual consultation)
1st semester 1 In class: Introduction 2 Library orientation 3 Thesis structure 4 Thesis structure 5 Choosing a topic 6 References and plagiarism 7 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for choosing topic) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Deadline for thesis outline) 13 Individual/group consultation 14 Individual/group consultation 15 Individual/group consultation	2nd semester 1 In class: Introduction 2 In teacher's office: Individual/group consultation (Deadline for 1st main chapter) 3 Individual/group consultation 4 Individual/group consultation 5 Individual/group consultation 6 Individual/group consultation 7 Individual/group consultation (You should have written 10 pages) 8 Individual/group consultation 9 Individual/group consultation 10 Individual/group consultation 11 Individual/group consultation 12 Individual/group consultation (Your thesis should be almost complete) 13 Final check Submission of thesis by deadline 14 (Individual consultation) 15 (Individual consultation)								
授業外における学習(準備学習の内容)	Think of general topic and gather materials.								
授業方法	Seminar								
評価基準と評価方法	Your grade will be based on (a) attendance at supervision appointments and meeting deadlines - 30%, and (b) the content and structure of your completed thesis - 70%.								
教科書	プリントを配布します。								
参考書									

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	P. J. Mallett						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Graduation Thesis						
授業の概要	This course is designed to help you write a graduation thesis in English on any aspect of culture or literature, especially one related to Britain. Several weeks will be spent improving writing ability and discussing the study skills necessary for writing a thesis: how to choose the topic; how to use reference books; how to make quotations and give footnotes; academic writing style etc.						
到達目標	You will complete a graduation thesis in academic English on a subject of your choice						
授業計画	<p>FIRST SEMESTER</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Introduction 2) Using reference books 3) Library orientation (date to be confirmed) 4) Taking notes 5) Organizing your paper 6) Choosing a topic 7) Making an outline 8) Individual interviews 9) Choose topic by this date 10) Using MS Word: spelling and typing 11) Format 12) Make outline of thesis by this date 13) Preparation for writing introduction and first chapter of thesis 14) Plagiarism 15) Style. You must bring the first 2 pages of your thesis to this class <p>SECOND SEMESTER</p> <p>In this semester we will meet on an individual basis to discuss your thesis as you write it.</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Meeting to check progress of first chapter of your thesis: you will bring 6 pages to this class 2) Individual tuition on thesis 3) Individual tuition on thesis 4) Individual tuition on thesis 5) Individual tuition on thesis 6) Individual tuition on thesis 7) Individual tuition on thesis 8) Individual tuition on thesis 9) Individual tuition on thesis 10) Individual tuition on thesis 11) Individual tuition on thesis 12) Conclusion, footnotes and bibliography 13) Revision 14) Corrections 15) Checking final revisions. Hand in by the deadline: 15 January 2018 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Please come to the first lesson ready to explain the topics you are interested in and why you wish to take this class. In the first semester you will develop writing skills and bring exercises to class to be marked. In the second semester you must write about 4 pages every 2 weeks to be corrected.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Your grade will be based entirely on your completed thesis. There will be a short oral examination on your thesis at the end of January or in early February.						
教科書	'Basic Steps to Writing Research Papers' by David E Kluge and Matthew A Taylor (Cengage Learning) ISBN 978-4-902902-89-1						

参考書	You will need an English/English Dictionary (e.g. the Oxford Advanced Learner' s Dictionary) besides a Japanese/English dictionary.
-----	---

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	P. Spaelti						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	Completion of a thesis in English, with a focus on language or a cultural topic						
授業の概要	This course will focus on the skills necessary to write a thesis. These skills include how to write a longer text, how to structure a thesis, and how to research and use supporting material. Other skills will include how to use computer and software tools effectively.						
到達目標	A primary goal is to learn how to state a logical argument, or relevant viewpoint, and how to support this with evidence.						
授業計画	第1回 Self introduction and writing exercise 第2回 On writing a thesis 第3回 Important points in thesis writing 第4回 On using supporting information 第5回 Good and bad uses of supporting information 第6回 Making a plan for writing 第7回 Group or individual meetings 第8回 Group or individual meetings 第9回 Group or individual meetings 第10回 Group or individual meetings 第11回 Group or individual meetings 第12回 Group or individual meetings 第13回 Group or individual meetings 第14回 Group or individual meetings 第15回 End of term meeting 第16回 Presentation of work done so far 第17回 Presentation of work done so far 第18回 Group or individual meetings 第19回 Group or individual meetings 第20回 Group or individual meetings 第21回 Group or individual meetings 第22回 Individual progress meetings 第23回 Individual progress meetings 第24回 Individual progress meetings 第25回 Individual progress meetings 第26回 Individual progress meetings 第27回 Individual progress meetings 第28回 Individual progress meetings 第29回 Individual progress meetings 第30回 Individual progress meetings						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students are expected to work independently on their project or thesis as required, and to prepare materials for use in group meetings.						
授業方法	Seminar						
評価基準と評価方法	Successful completion of a thesis						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	川中 紀子						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	月曜4	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	卒業論文の執筆						
授業の概要	<p>「異文化間コミュニケーション」「比較文化」「メディアと文化」に関連した分野について卒業論文を書く学生対象のクラスです。卒論のテーマにつながる興味・関心の方向は3年生の終わりまでに、既にある程度絞られていることが期待されます。映画や広告などの映像文化や身近なコミュニケーション行動に、どのように文化が反映されているかを考察します。</p> <p>暫定的な要旨の決定まで全員に共通の指導をし、その後は個別指導になります。</p> <p>卒研の予備登録で川中紀子担当の卒論に決定した人は、必ず、第1回の授業に出席してください。最初のオリエンテーションで重要な説明をします。</p>						
到達目標	<p>各自の選んだトピックについて深い思考力とプレゼンテーション力を身につけること。</p> <p>また、ディスカッション、質疑応答を通じて、コミュニケーション力を向上させることを目標とします。</p>						
授業計画	<p>第1回：オリエンテーション 第2回：トピックの候補について発表 第3回：論文作成のプロセスと計画 第4回：予備調査（図書館） 第5回：予備調査の成果についての発表 第6回：暫定的な要旨の決定 第7回：目次、レジユメの作成 第8回：論旨の発表 第9回：データ収集の方法 第10回：フィールドワークのガイダンス 第11回：中間発表 第12回：英文の論文作法 第13回：英文で一章を書き上げる課題 第14回：課題の提出 第15回：前期の成果のまとめ 第16回：7～9月の調査結果の発表と講評 第17回：参考文献の引用方法 第18回：概要・章立ての最終検討 第19回：フィールド・ワークの発表 第20回：中間発表① 第21回：中間発表② 第22回：中間発表③ 第23回：個別指導① 第24回：個別指導② 第25回：個別指導③ 第26回：卒業論文 第一版 提出 第27回：卒業論文 第一版 講評 第28回：卒業論文 第二版 提出 第29回：卒業論文 第二版 講評と最終チェック 第30回：卒業論文 最終版提出</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>インタビュー、フィールドワークなどを通じてデータを集めることが必要です。</p> <p>また、多くの文献を講読することが必要です。</p>						
授業方法	演習と個別指導による						
評価基準と評価方法	発表(3割)・論文(7割)の総合評価						
教科書	『映画でレポート・卒論ライティング術』小野俊太郎 著 松柏社 ISBN 978-4-7754-0171-2						

参考書	<p>各自の必要に応じて、以下の参考書を購入し論文執筆の際に参照することが望ましい。</p> <p>授業で、参考文献・参考図書の選び方について説明します。</p> <p>『英語論文によく使う表現』 崎村耕二（創元社）</p> <p>『テキスト心理学：心の理解を求めて 橋本憲尚ほか』（ミネルヴァ書房）</p> <p>『英語論文・レポートの書き方』 上村妙子・大井恭子（研究社）</p>
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	郡司 隆男						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	月曜4	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	学術的な論文を書く力を養う						
授業の概要	<p>受講者の関心によって、一つのテーマで論文を書きます。各自、身近なところから関心のある研究テーマを選んで、ある程度の長さのまとまった論文を書いていきます。</p> <p>テーマはいちおう、担当者が理解できるものならばよしとしますが、同じようなテーマばかりになってつまらないので、担当者とよく相談して決めて下さい。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論文を書くための適切なデータの種類・質が判断できる。 2. 収集したデータから意味のある一般化を引き出すことができる。 3. 同じテーマに関する先行研究を適切に評価できる。 4. 研究成果を論理的な文章にまとめることができる。 5. 研究成果を適切な形で発表できる。 						
授業計画	<p>はじめは、教科書の中から適宜トピックを選び、講義形式で進めます。</p> <p>後半は、各自の選んだトピックについて小論文を書いてみて、それを皆で批判的に議論しながら進めます。限られた時間内での口頭発表、ハンドアウト作りの練習もします。</p> <p>以下は大体の進行予定ですが、もちろんこの通りに行くとは限らず、臨機応変に進度を調整していく予定。</p> <p>第1回 全体の概要の説明、教科書の内容の説明 第2―10回 論理的な文章の書き方に慣れる。並行して、トピックの選定 第8回までに：各自のテーマ（第0案）を面談の上決める 第10回までに：各自のテーマ（第1案）を面談の上決める 第11回 ハンドアウトの作り方説明 第14回 概要口頭発表、ハンドアウト用意 第15回までに：夏休み前の段階での卒論概要(A4 5ページ)提出 第16回 概要返却、講評、各自の夏休みの計画の確認 第17回 論文の形式について説明 第20回までに 卒業論文第0版提出 第21回までに 卒業論文第0版講評 第22回 第2次口頭発表、ハンドアウト用意 第23回 卒業論文第1版提出 第25回 までに 卒業論文第1版講評 第26回 第3次口頭発表、ハンドアウト用意 第27回 卒業論文第2版提出・公表 第28回 卒業論文最終版チェック 1月中旬 卒業論文提出 第29回 卒業論文発表会 第30回 同じく卒業論文発表会</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>卒業研究は教室で教わるものではなく、主に教室外で自主的に調査・執筆し、教室では進行状況のチェック・進行方向の微調整が主となるものです。</p> <p>したがって、基本的には授業外にほとんどの作業をすることになります。</p>						
授業方法	<p>少しずつ構想を練っていき、お互いに発表をしてディスカッションをしていきながら、年末（学年末でなく!）には論文の形にまとめていきます。</p> <p>論文の内容もさることながら、口頭発表のしかた、配布資料の作り方、レポートのまとめ方、文としての形式、コンピュータの適切な使い方、読みやすく形式的にも綺麗な論文の書き方などの、大学院進学や就職後にも役に立つ具体的な技術も身につけることができるようにしたいと思います。</p>						
評価基準と評価方法	日常的な研究への取り組み方の度合（30%以上）、および論文のまとめ具合（70%以下）の総合評価。						
教科書	『新版 論文の教室－レポートから卒論まで』戸田山和久著、NHK出版、2012、ISBN: 9784140911945						
参考書	『ぎりぎり合格への論文マニュアル』山内志朗（平凡社新書） その他、授業中に指定します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	白川 計子						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	月曜4	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	翻訳、論文の執筆						
授業の概要	<p><論文による卒業研究> 英米の文学または文化を対象とし、卒業論文を完成させる。 <翻訳による卒業研究> 各自が翻訳対象テキストを選び、その翻訳の完成をもって卒業研究とする。翻訳素材は日本で未翻訳の文学、文化、メディアテキストとする。</p>						
到達目標	<p><論文> (1) 論理的、且つ客観的な表現力を身につける。 (2) 一年間、計画的に作業を進め、完成度の高い学術論文を書く。 <翻訳> (1) 英語能力をさらに向上させる。 (2) 具体的な翻訳に必要な情報、専門知識を自らがもつ。 (3) プロとして通用する完成度の高い翻訳を仕上げる。</p>						
授業計画	<p>第1回：卒業研究とは何か。心構えと方針。 第2回：研究対象決定までの指導 第3回：研究対象指導1 第4回：研究対象指導2 第5回：研究対象発表会 第6回：研究テーマ指導1 第7回：研究テーマ指導2 第8回：研究テーマ指導3 第9回：研究テーマ指導4 第10回：研究テーマ指導と発表準備 第11回：研究テーマ発表会 第12回：執筆指導1 第13回：執筆指導2 第14回：執筆指導3 第15回：夏期研究の指導 第16回：後期研究スケジュールの指導 第17回：執筆指導4 第18回：執筆指導5 第19回：執筆指導6 第20回：執筆指導7 第21回：中間発表会1 第22回：中間発表会2 第23回：執筆指導8 第24回：執筆指導9 第25回：執筆指導10 第26回：執筆指導11 第27回：執筆指導12 第28回：執筆指導13 第29回：口頭試問と総括14 第30回：口頭試問と発表指導</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	論文、翻訳に必要な資料の収集と読書、執筆。						
授業方法	論文、翻訳作成指導。口頭発表とディスカッション。						
評価基準と評価方法	論文（翻訳）80%、口頭試問20%						
教科書							

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	木曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	ことばとコンピュータ						
授業の概要	西垣内が担当してきている Practical English Grammar, 「英語コンピュータ概論」「英語コンピュータ特論」「語と文のしくみ」「情報と倫理」のいずれかの内容に関係のある, 英語とくに英文法とコンピュータ, インターネットに関するトピックを選び, 卒業研究とします。卒業論文というかたちでまとめるか, その内容をウェブサイトのかたちにするか, 選択してください。						
到達目標	前期の前半は卒業研究の可能なトピックについて説明し, 前期の後半は個別の面談によって卒業研究の題目と内容を決定する。それをもとに夏休み中に参考文献を読み, 準備を進める。後期には個別指導によって論文の執筆, ウェブサイトの制作を進め, 年内には完成させる。このように, 1年をかけて卒業研究を完成させることがこの卒業研究の目標である。						
授業計画	<p>前期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業研究の可能なトピックの提示 (1) 2. 卒業研究の可能なトピックの提示 (2) 3. 卒業研究の可能なトピックの提示 (3) 4. 卒業研究の可能なトピックの提示 (4) 5. 卒業研究の可能なトピックの提示 (5) 6. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 7. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 8. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 9. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 10. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 11. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 12. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 13. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 14. 卒業研究の題目について個別面談 (1) 15. 卒業研究の題目について個別面談 (1) <p>後期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 卒業研究の形式について説明 (1) 2. 卒業研究の形式について説明 (2) 3. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (1) 4. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (2) 5. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (3) 6. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (4) 7. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (5) 8. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (6) 9. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (7) 10. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (8) 11. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (9) 						

授業計画	12. 卒業研究の執筆・作成への個別指導 (10) 13. 卒業研究の完成と発表 (1) 14. 卒業研究の完成と発表 (2) 15. 卒業研究の完成と発表 (3)
授業外における学習 (準備学習の内容)	前期は授業で提示するトピックに関連する文献を読んで理解する。 後期は卒業研究の完成にむけて論文の執筆ないしウェブサイトの制作をすすめる。
授業方法	卒業研究の可能なトピックの提示は講義によって行い、題目の決定、卒業研究の論文執筆、ウェブサイトの制作の段階では個別指導を行っていく。
評価基準と評価方法	1年間を通じて卒業研究の完成に向けた作業を行うことが何よりも重要な卒業研究の評価の条件である。 その上で 1. 卒業研究の題目として選んだ内容についてよく調べているか。 2. その内容についてよく理解しているか。 3. 授業中に提示する論文やウェブサイトの形式に従っているか。 という基準に基づいて評価する。
教科書	使用しない。
参考書	授業中に提示する。

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	金曜3	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	松蔭4年間の総決算としての卒業論文を仕上げる						
授業の概要	以下のいずれかのテーマを選び、自分でさらに細かなテーマを決定し論文を執筆する ■日本語、ないし言語一般に関すること ■日本と英語圏の文化比較 ■企業研究 ■サブカルチャーに関すること						
到達目標	満足のいく卒業論文を書き上げる						
授業計画	第1回：イントロ 第2回：論文の書き方1：テーマの見つけ方 第3回：論文の書き方2：資料の調べ方 第4回：論文の書き方3：章を立てる、全体の構成を考える 第5回：論文の書き方4：過去の卒論に触れる 第6回：発表について 第7回：テーマのアイデア発表1 第8回：テーマのアイデア発表2 第9回：テーマのアイデア発表3 第10回：中間発表Ⅰ/1 第11回：中間発表Ⅰ/2 第12回：中間発表Ⅰ/3 第13回：中間発表Ⅰ/4 第14回：中間発表Ⅰ/5 第15回：夏期研究の指導 【夏休み】 第16回：後期研究スケジュールの指導 第17回：個別執筆指導 第18回：個別執筆指導 第19回：個別執筆指導 第20回：個別執筆指導 第21回：中間発表Ⅱ/1 第22回：中間発表Ⅱ/2 第23回：個別執筆指導 第24回：個別執筆指導 第25回：個別執筆指導 第26回：個別執筆指導 第27回：個別執筆指導 第28回：個別執筆指導 第29回：個別執筆指導 第30回：個別執筆指導						
授業外における学習（準備学習の内容）	論文に必要な資料の収集と読書・執筆。						
授業方法	論文作成指導、口頭発表およびディスカッション						
評価基準と評価方法	卒業論文の出来具合						
教科書							

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	卒業研究/Graduation Thesis						
担当教員	山内 啓子						
学期	通年/Full Year	曜日・時限	金曜2	配当学年	4	単位数	8.0
授業のテーマ	児童英語の指導者養成と、国際理解/異文化理解促進のための研究を行います。						
授業の概要	<p>児童英語教育/国際理解教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ●国際理解教育/異文化理解を多角的に研究します。 ●その指導者になることを目指し、多角的な視野を養いながら研究を進めます。 ●「児童英語指導者認定資格」を求める学生には実習を課し、職業訓練も併せて行います <p>これらを総合的にまとめ上げて、卒論に仕上げます。</p>						
到達目標	卒業論文作成を通して、学術論文の書き方を習得する。						
授業計画	<p>前期は種々の参考文献や参考書を読み込む授業を行い、後期からは実習及び卒論作成に合わせて個別指導を行います。</p> <p>「前期」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 参考文献講読 2. 参考文献講読 3. 参考文献講読 4. 参考文献講読 (自主研究発表) 5. 参考文献講読 (自主研究発表) 6. 参考文献講読 (確認テスト) 7. 参考文献講読 (自主研究発表) 8. 参考文献講読 (自主研究発表) 9. 参考文献講読 (自主研究発表) 10. 参考文献講読 (自主研究発表) 11. 参考文献講読 (確認テスト) 12. 参考文献講読 (卒論テーマ仮決定) 13. 参考文献講読 (卒論テーマ仮決定) 14. 卒論中間発表 15. 卒論中間発表 <p>「後期」</p> <ol style="list-style-type: none"> 16. 復習テスト 17. 卒論指導 (論文の書き方) 18. 卒論指導 (参考文献の検索) 19. 卒論指導 (引用文献と著作権に関して) 20. 卒論指導 (英文サマリーの書き方) 21. 卒論指導 (発表) 22. 卒論指導 (発表) 23. 卒論指導 (発表) 24. 卒論提出 25. 卒論推敲 26. 卒論推敲 27. 英文サマリー推敲 28. 英文サマリー推敲 29. 試問準備 30. 卒論発表準備 						
授業外における学習(準備学習の内容)	<p>授業前学習：参考文献を予習しておくこと。</p> <p>授業後学習：授業中の学びを整理しノートにまとめる。論文作成作成段階では、課題を準備し、授業後は推敲を行うこと。</p> <p>St. Michael's International School での実習は11月に行われるので、参加者は日程調整などの準備を行うこと。</p> <p>「まつぼっくり」「岡本保育園」などにボランティアに行くことも積極的に勧める。</p>						
授業方法	ゼミ形式・個人指導 特に後期には授業外でも予約制で個別指導を随時行います。						

評価基準と 評価方法	100%卒業論文の成果を評価します。
教科書	その都度指示します。
参考書	授業内で指示します。

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみA						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	日本語・英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	英語の文を成り立たせているもっとも重要なものは動詞です。動詞のはたらきを理解して文全体のしくみを見渡した上で文を読むことを常に行えば、英語の読解力は飛躍的に向上します。この授業では、英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をインターネット上のコーパスを使って生きたことばの姿を探っていきます。						
到達目標	英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：文のしくみ (1) 語順について 第3回：文のしくみ (2) 日英語の語順 第4回：文のしくみ (3) 文を組み立てる 第5回：文のしくみ (4) 動詞の役割 第6回：文のしくみ (5) 他動詞と自動詞 第7回：文のしくみ (6) いろいろな自動詞 第8回：文のしくみ (7) 受け身文って何？ 第9回：文のしくみ (8) 日本語の受け身文 第10回：文のしくみ (9) 文の中の文 that 節について 第11回：文のしくみ (10) 不定詞を含む文 第12回：文のしくみ (11) 疑問文 第13回：文のしくみ (12) 疑問文と日英語の違い 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	日常的にコンピュータ、インターネットで英文に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	毎回授業でインターネットのコーパスで検索した結果を、授業で説明する方法に従って分類し、それをレポートとして提出してもらいます。毎回のレポートを10点満点で評価し、その平均点を100点満点で算出したものを授業の成績とします。欠席すればその回のレポートは0点です。						
教科書	教室で指示します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	単語と文のしくみB						
担当教員	西垣内 泰介						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	英語の語と文のしくみとコンピュータの使用						
授業の概要	英語の文を成り立たせているもっとも重要なものは動詞です。動詞のはたらきを理解して文全体のしくみを見渡した上で文を読むことを常に行えば、英語の読解力は飛躍的に向上します。さらに、He depends on his parents. - his dependence on his parents のように、動詞とそれから派生される名詞が、この場合あとに on がくるといった性質を共有していることがよくあります。こういった動詞と名詞の関係を知っていることは、読解力だけでなく語彙力を向上させることにもつながります。この授業では、英語の語と文のしくみを現代の言語学がどのように研究しているか基礎的な考え方を概観し、具体的な用例をインターネット上のコーパスを使って生きたことばの姿を探っていきます。						
到達目標	日本語・英語の語と文のしくみとその背後にある法則性を発見、理解して、語彙力、文法の知識をやしなう。電子辞書、インターネット検索によって情報リテラシーを高める。						
授業計画	第1回：授業の概要説明 第2回：電子辞書とインターネット検索の方法 第3回：語のしくみ 第4回：新造語について 第5回：語形成 (1) 複合語の全体的な問題 第6回：語形成 (2) 複合語の特殊な問題 第7回：語形成 (3) 派生語の全体的な問題 第8回：語形成 (4) 派生語の特殊な問題 (1) 派生語のしくみと接辞 第9回：語形成 (5) 派生語の特殊な問題 (2) 「語の主要部」とは 第10回：語形成 (6) 語形成全体に関わる考え方 第11回：語形成と電子辞書 第12回：語と文の使用とインターネット (1) 検索の方法 第13回：語と文の使用とインターネット (2) 「例外的な文や語」を探そう 第14回：授業のまとめと期末復習テスト 第15回：期末復習テストの講評と復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	日常的にコンピュータ、インターネットを使用して英語の文章に親しむ。						
授業方法	講義と課題にもとづく作業をしてもらいます。						
評価基準と評価方法	毎回授業でインターネットのコーパスで検索した結果を、授業で説明する方法に従って分類し、それをレポートとして提出してもらいます。毎回のレポートを10点満点で評価し、その平均点を100点満点で算出したものを授業の成績とします。欠席すればその回のレポートは0点です。						
教科書	授業で指示します						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	中期留学スキルズ／スタディスキル／Semester Abroad Preparation						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills required for successful study abroad						
授業の概要	This course will build on progress made in TOEFLと海外留学 A,B to further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas. 2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom. 3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay. 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction / A Geography Lesson 2. Homestay Conversations: Arriving 3. Homestay Conversations: House Rules 4. Homestay Topic: My Family and I 5. Homestay Topic: Where are you from? 6. English on Campus: First Day 7. English on Campus: Health and Safety 8. Let's Go 9. Homestay Conversations: See You Later! 10. Homestay Conversations: Housework 11. Homestay Topic: Japanese Culture (Preparation) 12. English on Campus: Information & Instructions 13. Homestay Topic: Japanese Culture (Presentations) 14. English on Campus: Participating in Class 15. Group Interviews 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (20%), 3 short tests (50%) and a presentation (30%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	中期留学スキルズ／スタディスキル／Semester Abroad Preparation						
担当教員	A. E. Jackson						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Skills required for successful study abroad						
授業の概要	This course will build on progress made in TOEFLと海外留学 A,B to further develop the students' ability to function in an English-speaking society and university environment during their semester abroad.						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. To enable students to take a full-part in their academic life overseas. 2. To develop academic reading and listening skills, and the ability to respond orally to such input in the classroom. 3. To give students the English ability they need to deal successfully with commonly-encountered, daily-life situations in an English-speaking country, especially in homestay. 						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. Course Introduction / A Geography Lesson 2. Homestay Conversations: Arriving 3. Homestay Conversations: House Rules 4. Homestay Topic: My Family and I 5. Homestay Topic: Where are you from? 6. English on Campus: First Day 7. English on Campus: Health and Safety 8. Let's Go 9. Homestay Conversations: See You Later! 10. Homestay Conversations: Housework 11. Homestay Topic: Japanese Culture (Preparation) 12. English on Campus: Information & Instructions 13. Homestay Topic: Japanese Culture (Presentations) 14. English on Campus: Participating in Class 15. Group Interviews 						
授業外における学習（準備学習の内容）	Read and understand textbook conversations and handout exercises before class.						
授業方法	Practical						
評価基準と評価方法	Final grades will be based on class participation (20%), 3 short tests (50%) and a presentation (30%).						
教科書	Prints						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	中高英語教育ゼミ						
担当教員	山内 啓子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	月曜3	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	中高で英語を教えることのできる、英語教育指導者の能力養成と演習						
授業の概要	<p>本授業では以下の4項を目標にしています：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語能力の向上（TOEIC 700を目標とします） 2. 国際理解教育（自己啓発と共に、指導者として活用する教材の探究を行います） 3. 指導案・教材制作（作成することで、教材の活用・応用を体得します） 4. 模擬授業演習 <p>指導者としての英語の認識を深め、理解度を高めるだけでなく「表現力」をつけます。そのためには単に英語が話せるだけでなく、異文化理解を促し、真の表現者となるべく研鑽を積みます。理論の上に実践を重ね、具体的な能力を身につけるためのゼミです。</p>						
到達目標	小学校から英語が導入されている背景を考慮し、中高で教えるにも児童英語指導の能力がつかます。また広く異文化を理解する寛容な態度が身に付きます。						
授業計画	<p>このゼミでは以下のように授業を進めます：</p> <p>前期：教科書＋国際理解・英語絵本研究 後期：教科書＋教案作成・教材制作・模擬授業</p> <p>「前期」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の意義Ⅰ（国際理解とは） 2. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の意義Ⅱ（『地名の世界地図』1） 3. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解教育の意義Ⅲ（『地名の世界地図』2） 4. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・世界地理学習Ⅰ（『地名の世界地図』3） 5. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・世界地理学習Ⅱ（『地名の世界地図』4） 6. 確認テスト（教科書＋『地名の世界地図』） <ul style="list-style-type: none"> ・世界地理学習まとめ 7. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の多面性（世界の宗教） 8. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の多面性（宗教と死生観） 9. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・文化の多面性（宗教とタブー） 10. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・異文化の多面性（食文化） 11. 教科書 <ul style="list-style-type: none"> ・異文化の多面性（自文化） 12. 確認テスト（教科書） <ul style="list-style-type: none"> ・国際理解発表Ⅰ 13. 国際理解発表Ⅱ 14. 国際理解発表Ⅲ 15. 国際理解発表Ⅳ（総括と評価） <p>「後期」</p>						

授業計画	<p>16. ・復習と復習テスト</p> <p>17. ・教科書 ・指導教案とは ・教材制作 I (教材と資料)</p> <p>18. ・教科書 ・指導教案作成 I ・教材制作 II</p> <p>19. ・教科書 ・指導教案作成 II ・模擬授業実践 1</p> <p>20. ・教科書 ・模擬授業実践 1</p> <p>21. ・教科書 (確認テスト) ・模擬授業実践 1</p> <p>22. ・模擬授業実践 2: 改善版</p> <p>23. ・模擬授業実践 2: 改善版</p> <p>24. ・模擬授業実践 2: 反省と改善</p> <p>25. ・教科書 ・改善指導案作成</p> <p>26. ・教科書 ・改善模擬授業 3</p> <p>27. ・教科書 ・改善模擬授業 3</p> <p>28. ・教科書 (確認テスト) ・改善模擬授業 3</p> <p>29. ・総まとめ I</p> <p>30. ・総まとめ II</p>
授業外における学習 (準備学習の内容)	<p>テキストを事前予習して授業に臨むこと。授業中に訳読はしませんので、注意して下さい。 また国際ニュースもチェックし、世界情勢を把握しておくこと。 国際理解発表や模擬授業に先立っては授業外で十分練習を行うこと。</p>
授業方法	<p>演習形式に時折講義形式が混じります。</p>
評価基準と評価方法	<p>積極的なクラス参加、確認テスト、レポート提出、発表・模擬授業、授業態度等で総合評価を行います。 発表累計40%、テスト類30%、レポート類30%</p>
教科書	<p>『Different Realities』-Adventures in Intercultural Communication- Joseph Shaules/Juri Abe 著 南雲堂 ISBN978-4-523-17565-0</p>
参考書	<p>三浦 孝、弘山 貞男、中嶋 洋一編著『だから英語は教育なんだ』(研究社) ISBN978-4-327-41060-5 江利川 春雄「日本人は英語をどう学んできたか」(研究社) ISBN978-4-327-41068-1 その他は授業中に紹介します</p>

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳・翻訳ゼミ						
担当教員	清水 陽子						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜1	配当学年	3	単位数	4.0
授業のテーマ	通訳者・翻訳者養成のトレーニング方法を活用しての実践的な英語運用能力開発						
授業の概要	<p>通訳・翻訳が出来るようになるには総合的英語・日本語能力がまず必要です。このクラスでは特に英語の4技能を高めるトレーニングを中心に行います。</p> <p>また良い通訳・翻訳を行うには、情報のインプット側としては理解力・情報処理力・情報保持力が必要であり、またアウトプット側としては表現力・迅速な訳出能力・デリバリー等の技術を学んで身につけてはなりません。これらの要素を鍛えるトレーニング方法をクラス内で紹介し、実践します。</p> <p>さらに良質な通訳・翻訳をするためには英語・日本語間にある言語的ずれの克服、文化的差異の認知とそれに対する柔軟な対応が求められます。このクラスでは異文化知識と歴史・社会的教養を深める教材や、時事問題を扱った教材を用いて、広範な語彙の獲得と、様々なケースに対応できる即時的応用力を高めます。</p> <p>そしてコミュニケーションのプロとしてに何よりも大切な感受性、双方の気持ち・状況を推し量れる感性を磨く時間としての授業を履修生全員で進めていきたいと思えます。</p>						
到達目標	英語・日本語間の直訳ではなく、双方の文化・慣習状況をふまえて、訳出する能力が身に付きます。簡単な逐次通訳、翻訳を臆せずできるようになります。						
授業計画	<p>第1回 Unit 1 & 逐次通訳と同時通訳</p> <p>第2回 Unit 1 & ビジネス翻訳と文芸翻訳</p> <p>第3回 Unit 2 & ラギング</p> <p>第4回 Unit 2 & シャドウイング</p> <p>第5回 Unit 3 & プロソディー・リーディング</p> <p>第6回 Unit 3 & 発音矯正</p> <p>第7回 Unit 4 & ミニプレゼンテーション</p> <p>第8回 Unit 4 & リプロダクション</p> <p>第9回 Unit 5 & サイトトランスレイション</p> <p>第10回 Unit 5 & パラフレージング</p> <p>第11回 Unit 6 & デリバリー</p> <p>第12回 Unit 6 & スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第13回 Unit 7 & スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第14回 Unit 7 & スピーチ通訳プレゼンテーション</p> <p>第15回 質疑 応答と試験</p> <p>第16回 Unit 8 & ビジネス翻訳 英-日</p> <p>第17回 Unit 8 & ビジネス翻訳 日-英</p> <p>第18回 Unit 9 & フォーマル表現 (1) レセプション・パーティー</p> <p>第19回 Unit 9 & フォーマル表現 (2) 会議通訳</p> <p>第20回 Unit 10 & フォーマル表現 (3) 商談</p> <p>第21回 Unit 10 & フォーマル表現 (4) 公演</p> <p>第22回 Unit 11 & ミニプレゼンテーション</p> <p>第23回 Unit 11 & 放送通訳</p> <p>第24回 Unit 12 & 大統領の英語</p> <p>第25回 Unit 12 & 同時通訳下準備</p> <p>第26回 Unit 13 & 同時通訳</p> <p>第27回 Unit 13 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第28回 Unit 14 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第29回 Unit 14 & スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション</p> <p>第30回 質疑 応答と試験</p> <p>尚スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーションの実施回は履修生の人数により多少流動的です。</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	宿題ディクテーションの提出、配布教材の音読復習プレゼンテーション準備などが有ります。スピーチ通訳プレゼンテーションの準備は、主に授業外で行います。						
授業方法	講義と演習 テキスト、配布プリント教材を用いてのトレーニングを組み合わせで行います。 CALL教室にてヘッドセットを使用、ペアを組んでの通訳演習とプレゼンテーション、グループによる討議等バラエティに富んだトレーニングを組み合わせで進めます。						
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳・翻訳プレゼンテーション30% 期末試験30% 前期10回、後期10回以上の出席がないと、受講資格を失います。						

教科書	Developing English fluency through Shadowing シャドーイングで学ぶ英語-インプットとをアウトプットにつなぐ 門田修平 長谷尚弥 氏木道人 ショーン・ホワイト 南雲堂 ISBN978-4-523-17670-1 C0082
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングA						
担当教員	清水 陽子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	逐次通訳入門						
授業の概要	<p>逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練</p> <p>通訳とはどのような作業を行なうのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、等の理解を深めながら、通訳を行なう際に求められる要素を紹介しします。 授業では通訳養成のトレーニングを行なうことにより、効果的な英語学習を実践し、英語力の向上を目指します。</p> <p>授業ではテープを用いて、スピーチの訳出、英文原稿のサマリー、Q&A、数字の聞き取り ニュースの英語、観光通訳、インタビューの英語などに取り組みます。 学期末には各自スピーチを作成して、スピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。</p>						
到達目標	リスニング力を伸ばし、英語スピーチの作成、簡単な内容の逐次通訳が出来るようになります。 英語・日本語による口頭発表が臆せず出来るようになります。						
授業計画	<p>1 オリエンテーション ラギング、シャドウイング、サイトトランスレイションなどの通訳トレーニングの説明と実践 テキスト Unit 1</p> <p>2 Unit 1 通訳トレーニング開始 ラギングにチャレンジ</p> <p>3 Unit 2 数字の練習</p> <p>4 Unit 2 美しく読む 発音矯正 スピードを上げる 重要な母音</p> <p>5 Unit 3 美しく読む 発音矯正 スピードを上げる 重要な子音</p> <p>6 Unit 4 速訳練習</p> <p>7 Unit 5 簡単な挨拶</p> <p>8 Unit 6 ニュースの英語</p> <p>9 Unit 7 パラフレイズ練習</p> <p>10 同時通訳にチャレンジ</p> <p>11 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第一グループ</p> <p>12 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第二グループ</p> <p>13 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第三グループ</p> <p>14 スピーチ通訳パフォーマンス クラスメンバー 第四グループ</p> <p>15 まとめと試験</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	毎回ディクテーションの宿題提出か、あるいは復習部分のプレゼンテーションが有ります。 学期末に行う通訳スピーチプレゼンテーションの準備は指示に従って、主に授業外で行います。						
授業方法	テキストを用いての通訳トレーニングと配布プリントを用いての実践トレーニング。 CALL教室にて、ヘッドセットをもちいて行ないます。						
評価基準と評価方法	毎回の授業でのトレーニング 平常点(20%) 宿題提出物(20%) 学期末試験(30%) 通訳パフォーマンス(30%)による総合評価です。						

教科書	改訂四版 通訳トレーニングコース 水野真木子 鍵村和子 共著 大阪教育図書 ISBN4-271-11300-X
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングA						
担当教員	山内 啓子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	1) 英語の運用力向上 2) 日本語/英語の「ことば」に対する理解を深め、感性を高める						
授業の概要	二者間で情報が正しく伝達されるための、手段としての通訳法に対する理解を深めます。 双方に情報を正確に伝達するための要素として通訳養成トレーニングの技法を学び、それを活用して英語運用能力の向上を目指します。シャドウイング、リピーティング、暗唱、反復練習などを通して効果的な英語の学習法の実践・習得に努めます。 この授業では特にシャドウイングに特化した教科書を用いて英語力の強化を計ります。 また英語の運用能力の向上のためにペアワーク、グループワークを課して使える技能を磨きます。						
到達目標	通訳トレーニングの技法を知り、その練習を繰り返すことで日→英→日の言語往來の能力を高めます。						
授業計画	<p>(毎回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分間TOEIC準拠のリスニングテスト ・5分間TOEICテストの解説 <p>前期はテキスト1-6, でシャドウイングとリピーティング、短文の通訳練習をします。 さらにwebsiteを活用します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Overall introduction 2. unit 1. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 3. unit 1. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 4. unit 2. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 5. unit 2. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 6. unit 3. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 7. unit 3. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 8. Students presentation on shadowing + repeating 9. unit 4. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 10. unit 4. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 11. unit 5. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 12. unit 5. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 13. unit 6. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 14. Review + test 15. Follow up 						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前：テキストをよく読んで予習しておくこと。 授業後：授業中に学んだ通訳の技法を繰り返し練習する。 課題として出されたウェブサイトを何度も聞く。						
授業方法	shadowing, repeatingなどの技法練習と、逐次訳練習						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、テスト、発表等の累積評価を行います。 発表累計40%, テスト30%, 授業積極参加30%						
教科書	"Developing Interpreting Skills for Communication" 齋藤彩子他著 (南雲堂) ISBN4-523-17331-1						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングB						
担当教員	清水 陽子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練						
授業の概要	<p>逐次通訳入門と同時通訳の基礎訓練</p> <p>通訳とはどのような作業を行うのか、逐次通訳と同時通訳の違いは何か、などの理解を深めながら、通訳を行う際に求められる要素を紹介し、授業では実際に通訳者養成のトレーニングを用いて、効果的な英語学習方法を紹介し、実践します。</p> <p>授業は主としてテープを用いて英語のスピーチを日本語に訳出します。英語の運用能力を高めるために、英文記事のサマリー、Q&A、同時通訳的発想による速読法、速訳などの練習も行ないます。各自スピーチを作成してペアを組んだ通訳担当者とのパフォーマンスも行います。</p> <p>前期では入門編とテキスト前半を終えておりますので、後期ではそれを発展させて、フォーマルスピーチにもチャレンジします。</p> <p>前期後期合わせてカリキュラムを構成していますので、前期を履修していることが望ましいですが、後期から初めて履修する人のために簡単な説明と復習を行なってから授業を始めます。</p>						
到達目標	リスニング力を伸ばし、ビジネススピーチの作成、フォーマル表現を習得し活用できるようになります。人前における英語・日本語の口頭発表が臆せず出来るようになります。						
授業計画	<p>1 Unit 8 & 英日ビジネススピーチ</p> <p>2 Unit 8 & 日英ビジネススピーチ</p> <p>3 Unit 9 & フォーマル表現 会議での表現</p> <p>4 Unit 9 & フォーマル表現 レセプションでの表現</p> <p>5 Unit 10 & 司会者の挨拶</p> <p>6 Unit 10 & ゲストの挨拶</p> <p>7 Unit 11 & ニュースの英語</p> <p>8 Unit 12 & 大統領の英語</p> <p>9 Unit 13 & 大統領の英語</p> <p>10 Unit 14 & 同時通訳にチャレンジ</p> <p>11 スピーチ通訳プレゼンテーション 第1グループ</p> <p>12 スピーチ通訳プレゼンテーション 第2グループ</p> <p>13 スピーチ通訳プレゼンテーション 第3グループ</p> <p>14 スピーチ通訳プレゼンテーション 第4グループ</p> <p>15 まとめと筆記試験</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	毎回ディクテーションの宿題提出あるいは、復習のプレゼンテーションが有ります。学期末に行うスピーチ通訳プレゼンテーションの準備は、指示に従って主に授業外で行います。						
授業方法	テキストを用いての授業と配布プリントを用いてのトレーニングを合わせて行ないます。CALL教室にてヘッドセットを使用してトレーニングをします。各学期末にスピーチ通訳パフォーマンスを行ないます。						
評価基準と評価方法	平常点20% 提出物20% スピーチ通訳プレゼンテーション30% 期末試験30%						

教科書	テキストとプリントを使用 改訂四版 通訳トレーニングコース 著 水野真木子・鍵村和子 (大阪教育図書) ISBN4-271-11300-X
参考書	

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	通訳トレーニングB						
担当教員	山内 啓子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	月曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	1) 英語の運用力向上 2) 日本語/英語の「ことば」に対する理解を深め、感性を高める						
授業の概要	前期に引き続き二者間で情報が正しく伝達されるための、手段としての通訳法に対する理解を深めます。この授業では前期に引き続きシャドウイングに特化した教科書を用いて英語力の強化を計ります。また英語の運用能力の向上のためにペアワーク、グループワークを課して使える技能を磨きます。						
到達目標	通訳トレーニングの技法を知り、その練習を繰り返すことで日→英→日の言語往来の能力を高めます。						
授業計画	<p>(毎回)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分間TOEIC準拠のリスニングテスト ・5分間TOEICテストの解説 <p>後期はテキストunit 7-12 でシャドウイングとリピーティング、短文の通訳練習をします。 さらにwebsiteを活用します</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Overall introduction + revision 2. unit 7. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 3. unit 7. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 4. unit 8. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 5. unit 8. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 6. unit 9. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 7. unit 9. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 8. Students presentation on shadowing + repeating 9. unit 10. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 10. unit 10. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 11. unit 11. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 12. unit 11. vocabulary lesson (J→E) + sentence interpretation 13. unit 12. vocabulary lesson (E→J) + shadowing of short conversation 14. Review + test 15. Follow up 						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前：テキストをよく読んで予習しておくこと。 授業後：授業中に学んだ通訳の技法を繰り返し練習する。 課題として出されたウェブサイトを何度も聞く。						
授業方法	shadowing, repeatingなどの技法練習と、逐次訳練習						
評価基準と評価方法	授業への積極参加、テスト、発表等の累積評価を行います。 発表累計40%、テスト30%、授業積極参加30%						
教科書	"Developing Interpreting Skills for Communication" 齋藤彩子他著 (南雲堂) ISBN4-523-17331-1						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークA						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、接遇、電話対応、報告の仕方、など口頭でのコミュニケーションに重点を置き、ロールプレイを含む演習形式で授業を実施する。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書の仕事 2. 就職面接の心得、環境整備 3. 話し方と言葉づかい、日本語と英語の敬意表現 4. 服装、邦文・英文履歴書作成 5. 指示と報告（基礎） 6. 指示と報告（応用） 7. 接遇の要件、異文化コミュニケーション 8. 接遇ケーススタディ（基礎） 9. 接遇ケーススタディ（応用） 10. 電話対応の要件 11. 電話対応ケーススタディ 12. 国際電話 13. スケジュール管理 14. 出張業務、まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。時事問題に関心を持つ。ロールプレイにより理想的な「型」を身につけ、ふだんから実践する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50%）の総合評価。						
教科書	<p>田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 一実習マニュアル』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5</p>						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークA						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、接遇、電話対応、報告の仕方、など口頭でのコミュニケーションに重点を置き、ロールプレイを含む演習形式で授業を実施する。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書の仕事 2. 就職面接の心得、環境整備 3. 話し方と言葉づかい、日本語と英語の敬意表現 4. 服装、邦文・英文履歴書作成 5. 指示と報告（基礎） 6. 指示と報告（応用） 7. 接遇の要件、異文化コミュニケーション 8. 接遇ケーススタディ（基礎） 9. 接遇ケーススタディ（応用） 10. 電話対応の要件 11. 電話対応ケーススタディ 12. 国際電話 13. スケジュール管理 14. 出張業務、まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。時事問題に関心を持つ。ロールプレイにより理想的な「型」を身につけ、ふだんから実践する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50%）の総合評価						
教科書	<p>田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 一実習マニュアル』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5</p>						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークA						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネス実務の研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、接遇、電話対応、報告の仕方、など口頭でのコミュニケーションに重点を置き、ロールプレイを含む演習形式で授業を実施する。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書の仕事 2. 就職面接の心得、環境整備 3. 話し方と言葉づかい、日本語と英語の敬意表現 4. 服装、邦文・英文履歴書作成 5. 指示と報告（基礎） 6. 指示と報告（応用） 7. 接遇の要件、異文化コミュニケーション 8. 接遇ケーススタディ（基礎） 9. 接遇ケーススタディ（応用） 10. 電話対応の要件 11. 電話対応ケーススタディ 12. 国際電話 13. スケジュール管理 14. 出張業務、まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。時事問題に関心を持つ。ロールプレイにより理想的な「型」を身につけ、ふだんから実践する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50%）の総合評価。						
教科書	<p>田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 一実習マニュアル』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5</p>						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネスの実務研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、PCソフトなどを用いた文書作成、会計業務、ファイリングなど、文書によるコミュニケーションに重点を置き、ビジネスレター、社交文書、メール等作成の実務能力を養う。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 会議と会合 3. 法的業務 4. 会計業務、通信業務 5. 慶弔業務の要件 6. 慶弔業務ケーススタディ 7. 文書実務の要件（基礎） 8. 文書実務ケーススタディ（基礎） 9. 文書実務の要件（応用） 10. 文書実務ケーススタディ（応用） 11. ポートフォリオ準備、目次作成 12. ファイリング（基礎） 13. ファイリング（応用） 14. イン・バスケット、まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。多くのビジネス文書を読むことで、理想的な「型」を知り運用を試みることを推奨する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50%）の総合評価。						
教科書	<p>田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 ー実習マニュアルー』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5</p>						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜1	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネスの実務研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、PCソフトなどを用いた文書作成、会計業務、ファイリングなど、文書によるコミュニケーションに重点を置き、ビジネスレター、社交文書、メール等作成の実務能力を養う。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 会議と会合 3. 法的業務 4. 会計業務、通信業務 5. 慶弔業務の要件 6. 慶弔業務ケーススタディ 7. 文書実務の要件（基礎） 8. 文書実務ケーススタディ（基礎） 9. 文書実務の要件（応用） 10. 文書実務ケーススタディ（応用） 11. ポートフォリオ準備、目次作成 12. ファイリング（基礎） 13. ファイリング（応用） 14. イン・バスケット、まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。多くのビジネス文書を読むことで、理想的な「型」を知り運用を試みることを推奨する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50%）の総合評価。						
教科書	<p>田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 ー実習マニュアルー』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5</p>						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	バイリンガルオフィスワークB						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	金曜2	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	国際ビジネスの実務研究						
授業の概要	空港、ホテル、銀行、商社など、さまざまな国際的シーンで活躍するオフィスワーカーの基本的な業務を日英二カ国語で実践できるように、ビジネス実務知識を身につけ異文化理解を深める。また、バイリンガルオフィスワーカーとしての、英語力と業務遂行能力を身につけるために、PCソフトなどを用いた文書作成、会計業務、ファイリングなど、文書によるコミュニケーションに重点を置き、ビジネスレター、社交文書、メール等作成の実務能力を養う。						
到達目標	グローバルな企業での業務に必要な知識とスキルを学び、日本語と英語で基本的な業務ができる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 会議と会合 3. 法的業務 4. 会計業務、通信業務 5. 慶弔業務の要件 6. 慶弔業務ケーススタディ 7. 文書実務の要件（基礎） 8. 文書実務ケーススタディ（基礎） 9. 文書実務の要件（応用） 10. 文書実務ケーススタディ（応用） 11. ポートフォリオ準備、目次作成 12. ファイリング（基礎） 13. ファイリング（応用） 14. イン・バスケット、まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	<p>授業前学習：授業計画に従い、教科書の該当するところを予習する。</p> <p>授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。多くのビジネス文書を読むことで、理想的な「型」を知り運用を試みることを推奨する。</p>						
授業方法	演習						
評価基準と評価方法	◆期末試験（50%）、平常点：ポートフォリオ等の提出を含む（50%）の総合評価。						
教科書	<p>田中篤子編 著 『全訂新版 秘書実務 ー実習マニュアルー』（嵯峨野書院） ISBN 978-4-7823-0353-5</p>						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	比較文化論A／Study of Comparative Culture A						
担当教員	F. Shiobara						
学期	前期／1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Comparative culture (primarily comparing Western and East Asian culture)						
授業の概要	The aim of this course is to introduce students to the ideas of cultural difference in order for them to gain an idea of intercultural communication. Particularly comparing Japanese and western ways of thinking, and values.						
到達目標	Students will be aware of comparative culture as a discipline. Students will gain knowledge of Western and East Asian cultural backgrounds and differences. Students will participate in small groups giving opinions.						
授業計画	第1回 : Course Introduction 第2回 : Identity 第3回 : Food 第4回 : Values 第5回 : Religion 第6回 : Culture Shock 第7回 : Houses 第8回 : Revision and Mid-term test 第9回 : Culture in Language 第10回 : Body Language and Customs 第11回 : Individualism 第12回 : Art and Wabi Sabi 第13回 : Review of Weeks 9-12 第14回 : Examination and discussion game. 第15回 : Review board game and evaluations						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students need to be prepared to give their opinions and discuss various topics in English with other students.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class activities and homework. 50%. Mid-term and final test 50%						
教科書	Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, Miyuki Iida: Identity Oxford University Press ISBN: 978-0-19-438574-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	比較文化論B／Study of Comparative Culture B						
担当教員	F. Shiobara						
学期	後期／2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	Comparative culture (primarily comparing Western and East Asian culture)						
授業の概要	The aim of this course is to introduce students to the ideas of cultural difference in order for them to gain an idea of intercultural communication. Particularly comparing Japanese and western ways of thinking, and values.						
到達目標	Students will become aware of comparative culture as a discipline. Students will gain knowledge of Western and East Asian cultural backgrounds and differences. Students will participate in small groups giving opinions.						
授業計画	第1回 : Poiteness 第2回 : Honne and Tatemaie & Uchi and Soto 第3回 : Confucianism 第4回 : Communication Styles 第5回 : Body Language 第6回 : Gender and Culture 第7回 : Women's Rights 第8回 : Diversity 第9回 : Ha-fu (Movie) 第10回 : Social Change 第11回 : Cambodia 第12回 : Speech Contest 第13回 : Global Community 第14回 : Examination and discussion game. 第15回 : Review board game and evaluations						
授業外における学習(準備学習の内容)	Students need to be prepared to give their opinions and discuss various topics in English with other students.						
授業方法	Lecture						
評価基準と評価方法	Class activities and homework. 50%. Mid-term and final test 50%						
教科書	Joseph Shaules, Hiroko Tsujioka, Miyuki Iida: Identity Oxford University Press ISBN: 978-0-19-438574-9						
参考書	None						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍するための英語力の習得						
授業の概要	DVDドラマで現場の実用会話を視聴しながら、ビジネスで必要なコミュニケーションを学ぶ。						
到達目標	学生は、会議・発表・交渉などのビジネスシーンに必要な英語力を習得することができる。						
授業計画	第1回：Unit 1-1 出張の際に相手の予定や都合を尋ねる 第2回：Unit 1-2 Making Contact 第3回：Unit 2-1 報告や謝罪の表現 第4回：Unit 2-2 Getting to Know You 第5回：Unit 3-1 取引先のと会食 第6回：Unit 3-2 Dining Out 第7回：Unit 4-1 電話での表現 第8回：Unit 4-2 Can I Ask Who Is Calling, Please? 第9回：Unit 5-1 電子メールでの表現・アポイントメント時間設定のためのコミュニケーション 第10回：Unit 5-2 Let's Stick to the Schedule 第11回：Unit 6-1 就職面接でのアピール方法 第12回：Unit 6-2 Tell Us about Yourself 第13回：Unit 7-1 会議設定に必要な表現・相手とスケジュール調整をする方法 第14回：Unit 7-2 Could We Meet Next Week? 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	十分な予習と復習が肝要です。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験（定期テストと復習テスト）7割と受講状況が3割。						
教科書	『DVDで学ぶ実践的ビジネス英語』成美堂 ISBN 978-4-7919-3090-6 『Listening Steps』金星堂 ISBS 978-4-7647-4039-6						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語A						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	ビジネスの場面で使用する英語を読解しながら、秘書として必要な英語表現、語彙などを理解し、国際社会に通用する英語力の養成を目指す。あわせて、グローバル社会において秘書が企業内で果たしている役割を考察し、その業務遂行に必要な基礎知識と必要な英語を学習する。秘書が携わる業務、主に、来客受付、応対、レジユメの書き方などについて、演習を交えながら学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 イントロダクション 第02回 基礎読解演習(01) テーマ: 天気・気象 第03回 基礎読解演習(02) テーマ: 求人広告(01) (貿易・メディア関係) 第04回 基礎読解演習(03) テーマ: 求人広告(02) (工業・製菓関係) 第05回 基礎読解演習(04) テーマ: 求人広告への応募(01) (事務・受付関係) 第06回 基礎読解演習(05) テーマ: 求人広告への応募(02) (経済アナリスト・経営コンサル関係) 第07回 基礎読解演習(06) テーマ: 求人応募への不採用通知(01) (一般職・販売関係) 第08回 基礎読解演習(07) テーマ: 求人応募への不採用通知(02) (研究者・マネジメント関係) 第09回 基礎読解演習(08) テーマ: 苦情(ホテル・通販・IT・家電関係) 第10回 基礎読解演習(09) テーマ: 苦情への対応(ホテル・出版・インテリア・家電関係) 第11回 基礎読解演習(10) テーマ: 銀行(01) (ATM関係) 第12回 基礎読解演習(11) テーマ: 銀行(02) (銀行関係) 第13回 基礎読解演習(12) テーマ: 航空(01) (マイルージ・空港警備関係) 第14回 基礎読解演習(13) テーマ: 航空(02) (機材・安全装備関係) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 各プリントの4ページ目の英文を読解してくる。こと。 授業後学習: 各プリントの1～3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる。こと。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	国際秘書として活躍するための英語力の習得						
授業の概要	DVDドラマで現場の実用会話を視聴しながら、ビジネスに必要なコミュニケーションを学ぶ。						
到達目標	学生は会議・発表・交渉などのビジネスシーンに必要な英語力を習得することができる。						
授業計画	第1回：Unit 8-1 会議の目的やデータを説明する方法 第2回：Unit 8-2 Can I Make a Point Here? 第3回：Unit 9-1 自分の意見を明確に伝える表現 第4回：Unit 9-2 I'm Not Sure I Agree 第5回：Unit 10-1 プレゼンテーションを成功させるための基礎 第6回：Unit 10-2 Today's Topic Is... 第7回：Unit 11-1 プレゼンテーションのまとめ方 第8回：Unit 11-2 To Sum Up 第9回：Unit 12-1 役割に応じたグループ・プレゼンテーションの方法 第10回：Unit 12-2 Any Questions? 第11回：Unit 13-1 ビジネス交渉 第12回：Unit 13-2 Making the Offer 第13回：Unit 14 契約条件を表現する言葉 第14回：Unit 15 Finilizing the Deal 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	十分な予習と復習が肝要です。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験（定期テストと復習テスト）7割と受講状況が3割。						
教科書	『DVDで学ぶ実践的ビジネス英語』成美堂 ISBN 978-4-7919-3090-6 『Listening Steps』金星堂 ISBS 978-4-7647-4039-6						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書英語B						
担当教員	多賀谷 真吾						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜3	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	秘書に求められる英語力を習得する。						
授業の概要	秘書英語Aで学習した内容を基に、秘書として業務を遂行していく上で必要な英語を学び、出張業務、スケジュール管理、パソコンを用いたの文章作成、英文ビジネスレターについて学習する。また、企業で上司をサポートし、コミュニケーションのパイプ役を果たす秘書がおこなう多岐に渡る業務を円滑に進めることができるよう、発表の機会を増やし、多様な場面で発表や実習をおこなう。発表の際は、海外との業務を想定しながら、オフィスで活用できる会話学習の習得とともに、仕事の進め方、文化の違いなどを学習する。						
到達目標	この授業を受けることで、秘書の実務に必要なジャンルの英語の語彙や表現を習得し、英語読解力を身につけることができ、加えてTOEIC試験などのスコア・アップにも役立つことになる。						
授業計画	第01回 インTRODクシヨン 第02回 応用読解演習(01) テーマ: 医薬(01)(薬局・健康問題) 第03回 応用読解演習(02) テーマ: 車と駐車(01)(車の整備・燃費) 第04回 応用読解演習(03) テーマ: 車と駐車(02)(駐車制限と禁止事項) 第05回 応用読解演習(04) テーマ: 統計データ(01)(円グラフ・パーセンテージ) 第06回 応用読解演習(05) テーマ: 統計データ(02)(折れ線グラフ・実験データ) 第07回 応用読解演習(06) テーマ: 警告(01)(契約事項・使用上の注意) 第08回 応用読解演習(07) テーマ: 警告(02)(免責事項・管理上の注意) 第09回 応用読解演習(08) テーマ: レシピ(レモネードやケーキの作り方) 第10回 応用読解演習(09) テーマ: 旅程表(団体旅行・個人旅行) 第11回 応用読解演習(10) テーマ: 金融(01)(現金所持・外国為替) 第12回 応用読解演習(11) テーマ: 金融(02)(ローン・為替変動) 第13回 応用読解演習(12) テーマ: メモランダム(社内禁止事項・社内訓示) 第14回 応用読解演習(13) テーマ: 株式(株価変動・先物取引) 第15回 質疑応答と復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業前学習: 各プリントの4ページ目の英文を読解してくる事。 授業後学習: 各プリントの1~3ページ目の授業で学んだ英文を暗唱できるくらい音読してくる事。						
授業方法	演習方式。						
評価基準と評価方法	毎回の小テスト80%、発表点20%						
教科書	プリントを使用する。						
参考書	なし。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論A/Secretarial Theory A						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスの基本を学ぶ。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（基礎編） 社会の急激な変化に伴い、オフィスワーカーに求められる知識や技能は広範囲なものになっている。会社のしくみ、経営組織、秘書（オフィスワーカー）の職務と役割、資質・能力、など事務職に就く人はもちろん、さまざまな職業に活かせる知識や技能の「基礎」を解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	社会の方向性を理解する。 企業の組織や意思決定の仕組みについて学び、事務職として必要な基本知識を得る。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは（グループディスカッション） 2. 情報化時代と秘書 3. 会社の仕組み 4. 会社役員と秘書 5. 会社の経営組織 6. 意思決定システム（グループディスカッション） 7. 秘書による補佐形態 8. 秘書の職務と役割 9. 秘書の職務内容 10. 職業人としての基礎力（グループディスカッション） 11. 働く意味（グループディスカッション） 12. キャリアデザインとは⇒「ゲスト・スピーカー」を招聘 13. 経営環境の変化 14. まとめ 15. 質疑応答と期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど、解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるがグループディスカッション等を多く取り入れる。 ニュースの紹介、解説を適宜加え、企業社会を身近なものとする。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味を持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70%）、学習態度、提出物等の総合評価（30%）						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成 西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著（中央経済社） ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論A/Secretarial Theory A						
担当教員	福田 洋子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスの基本を学ぶ。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（基礎編） 社会の急激な変化に伴い、オフィスワーカーに求められる知識や技能は広範囲なものになっている。会社のしくみ、経営組織、秘書（オフィスワーカー）の職務と役割、資質・能力、など事務職に就く人はもちろん、さまざまな職業に活かせる知識や技能の「基礎」を解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	社会の方向性を理解する。 企業の組織や意思決定の仕組みについて学び、事務職として必要な基本知識を得る。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは（グループディスカッション） 2. 情報化時代と秘書 3. 会社の仕組み 4. 会社役員と秘書 5. 会社の経営組織 6. 意思決定システム（グループディスカッション） 7. 秘書による補佐形態 8. 秘書の職務と役割 9. 秘書の職務内容 10. 職業人としての基礎力（グループディスカッション） 11. 働く意味（グループディスカッション） 12. キャリアデザインとは ⇒ 「ゲスト・スピーカー」招聘 13. 経営環境の変化 14. まとめ 15. 質疑応答と期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど、解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるがグループディスカッション等を多く取り入れる。 ニュースの紹介、解説を適宜加え、企業社会を身近なものとする。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味を持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70%）、学習態度、提出物等の総合評価（30%）						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成 西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著（中央経済社） ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B/Secretarial Theory B						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスへの応用を可能とする。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（応用編） オフィスワーカーに求められる基礎的な知識・技能を習得したのち、経営環境の変化、コミュニケーション能力、プロトコール（国際儀礼）、ホスピタリティ・マネジメント、CSR（企業の社会的責任）、リスクマネジメント、など多様な職業に必要とされる知識や技能について解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。 秘書（オフィスワーカー）に求められる基礎的知識とスキルを修得したのちに、それらを多様な職種に応用できる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは 2. 秘書とコミュニケーション I 3. 秘書とコミュニケーション II（グループディスカッション） 4. 人間関係（グループディスカッション） 5. プロトコール 6. ホスピタリティ 7. コーポレート・ガバナンス 8. 働く目的 ⇒ 「ゲスト・スピーカー」招聘 9. リスクマネジメント 10. 秘書のためのレファレンス 11. 経済・政治・地域に関する情報 12. 社会・文化に関する情報 13. 自己決定力（義務・権利・責任）（グループディスカッション） 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるができるだけグループディスカッションを多く取り入れる。 新聞の経済記事、The Japan Timesの求人広告などを紹介、解説する。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味を持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70%）、学習態度、提出物等の総合評価（30%）						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著（中央経済社） ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	秘書概論B/Secretarial Theory B						
担当教員	福田 洋子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	企業と企業経営者のあり方を研究し、ビジネスへの応用を可能とする。						
授業の概要	企業のトップを補佐する秘書（オフィスワーカー）に必要な知識を学ぶ（応用編） オフィスワーカーに求められる基礎的な知識・技能を習得したのち、経営環境の変化、コミュニケーション能力、プロトコール（国際儀礼）、ホスピタリティ・マネジメント、CSR（企業の社会的責任）、リスクマネジメント、など多様な職業に必要とされる知識や技能について解説する。 ビデオ教材、グループディスカッション、研修ゲームなどを取り入れ、社会で活用できる内容とする。 また、学生のライフデザイン、キャリア形成に役立つものとする。						
到達目標	企業社会の方向性を理解する。 秘書（オフィスワーカー）に求められる基礎的知識とスキルを修得したのちに、それらを多様な職種に応用できる。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、秘書とは 2. 秘書とコミュニケーション I 3. 秘書とコミュニケーション II（グループディスカッション） 4. 人間関係（グループディスカッション） 5. プロトコール 6. ホスピタリティ 7. コーポレート・ガバナンス 8. 働く目的 ⇒ 「ゲスト・スピーカー」招聘 9. リスクマネジメント 10. 秘書のためのレファレンス 11. 経済・政治・地域に関する情報 12. 社会・文化に関する情報 13. 自己決定力（義務・権利・責任）（グループディスカッション） 14. まとめ 15. 質疑応答、期末試験 						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業前学習：授業計画に従い、教科書で該当するところを予習する。 授業後学習：学んだ内容を復習し、理解できていないところは、次回の授業で質問するなど解決に努める。 機会があれば、グローバル企業・NPOを訪問し、知見を広げる。						
授業方法	講義中心ではあるができるだけグループディスカッションを多く取り入れる。 新聞の経済記事、The Japan Timesの求人広告などを紹介、解説する。 VTR、DVDなどを活用することで、理解しやすく興味を持てる授業とする。						
評価基準と評価方法	◆筆記試験（70%）、学習態度、提出物等の総合評価（30%）						
教科書	オフィス・プロを目指す秘書のキャリア形成、西澤 眞紀子、福田 洋子、前川 昌子 著（中央経済社） ISBN978-4-502-39920-6 C3034						
参考書	授業中に紹介します。						

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法A						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	時事問題とプレゼンに強くなる！						
授業の概要	時事的なトピックを取り上げて、その背景を含めた詳しい内容を調べ上げてプレゼンにまとめることで、時事問題に関する知識を深めると共に、プレゼンテーションの技術も身につけてしまおうという、欲張りな授業です。トピック探し、トピックに関する資料探し、分析、パワーポイントとハンドアウト作成、プレゼンのリハーサル、そして本番の発表まで、一通りを経験することになります。グループワークとなる予定です。						
到達目標	時事問題に詳しくなり、プレゼンテーションに熟達する。						
授業計画	第1回 授業紹介 第2回 グループ分け、メールの出し方、Manabaの使い方 第3回 プレゼンテーションの方法 第4回 ハンドアウトの書き方 第5回 アイデア発表 1 第1グループから第3グループまでの発表とコメント 第6回 アイデア発表 2 第4グループから第6グループまでの発表とコメント 第7回 中間発表 1 第1グループから第2グループまでの発表とコメント 第8回 中間発表 2 第3グループから第4グループまでの発表とコメント 第9回 中間発表 3 第5グループから第6グループまでの発表とコメント 第10回 最終発表 1 第1グループの最終発表とディスカッション 第11回 最終発表 2 第2グループの最終発表とディスカッション 第12回 最終発表 3 第3グループの最終発表とディスカッション 第13回 最終発表 4 第4グループの最終発表とディスカッション 第14回 最終発表 5 第5グループの最終発表とディスカッション 第15回 最終発表 6 第6グループの最終発表とディスカッション						
授業外における学習（準備学習の内容）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成、リハーサル）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合（パワーポイントの出来具合、ハンドアウトの出来具合、発想、発表の4点から評価）50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	プレゼンテーションの技法B						
担当教員	松田 謙次郎						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	時事問題とプレゼンに強くなる！						
授業の概要	時事的なトピックを取り上げて、その背景を含めた詳しい内容を調べ上げてプレゼンにまとめることで、時事問題に関する知識を深めると共に、プレゼンテーションの技術も身につけてしまおうという、欲張りな授業です。トピック探し、トピックに関する資料探し、分析、パワーポイントとハンドアウト作成、プレゼンのリハーサル、そして本番の発表まで、一通りを経験することになります。グループワークとなる予定です。						
到達目標	時事問題に詳しくなり、プレゼンテーションに熟達する。						
授業計画	第1回 オリエンテーション、グループ分け 第2回 前期のプレゼンの反省 第3回 アイデア発表 1 第4回 アイデア発表 2 第5回 アイデア発表 3 第6回 中間発表 1 第7回 中間発表 2 第8回 中間発表 3 第9回 中間発表 4 第10回 最終発表 1 第11回 最終発表 2 第12回 最終発表 3 第13回 最終発表 4 第14回 最終発表 5 第15回 まとめと復習						
授業外における学習（準備学習の内容）	丹念な発表準備（調査、議論、発表資料作成、リハーサル）						
授業方法	講義と発表						
評価基準と評価方法	プレゼンテーションの出来具合（パワーポイントの出来具合、ハンドアウトの出来具合、発想、発表の4点から評価）50%、および他グループのプレゼンへのコメント50%						
教科書							
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	翻訳トレーニングA						
担当教員	白川 計子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	翻訳とは何か、実践をとおして学ぶ翻訳法						
授業の概要	英語から日本語へ、日本語から英語への正確な翻訳を実践するために求められる各種の知識を提供し、それに基づく翻訳の演習を行う。授業では様々な素材を用いた翻訳をスピード感をもって実践する。						
到達目標	(1) 翻訳に必要な作業(辞書の十分な活用、必要な情報の収集)ができるようになる。 (2) 文芸翻訳、実用翻訳、メディア翻訳の基本スキルを修得する。						
授業計画	第1回：翻訳とは何か。 第2回：俳句の英訳と文化の移植 第3回：百人一首の英訳実践 第4回：映画台詞の翻訳について 第5回：映画台詞理解と翻訳 第6回：映画台詞翻訳実践1 第7回：映画台詞翻訳実践2 第8回：名言翻訳実践 第9回：実用書の翻訳について 第10回：実用書の翻訳実践 第11回：実用書の翻訳の復習 第12回：実用書の翻訳の仕上げ 第13回：短編小説の英訳の仕方 第14回：短編小説の英訳実践 第15回：まとめと復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	与えられた課題を予習し、翻訳を完成させる。						
授業方法	講義と翻訳演習						
評価基準と評価方法	平常点(授業中の予習と発表)40%、翻訳作品提出物60%						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	翻訳トレーニングB						
担当教員	白川 計子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	水曜4	配当学年	3	単位数	2.0
授業のテーマ	翻訳とは何か、実践をとおして学ぶ翻訳法						
授業の概要	英語から日本語へ、日本語から英語への正確な翻訳を実践するために求められる各種の知識を提供し、それに基づく翻訳の演習を行う。授業では様々な素材を用いた翻訳をスピード感をもって実践する。						
到達目標	(1) 翻訳に必要な作業(辞書の十分な活用、必要な情報の収集)ができるようになる。 (2) 文芸翻訳、実用翻訳、メディア翻訳の基本スキルを修得する。						
授業計画	第1回：翻訳とは何か、さまざまな翻訳紹介 第2回：「草枕」の英訳鑑賞 第3回：「草枕」の英訳実践 第4回：「ことわざ」の翻訳実践 第5回：映画の台詞理解 第6回：映画の台詞翻訳実践1 第7回：映画の台詞翻訳実践2 第8回：映画の台詞翻訳実践3 第9回：実用書翻訳実践 第10回：実用書翻訳実践1 第11回：実用書翻訳実践2 第12回：実用書翻訳実践3 第13回：英米作家短編翻訳実践1 第14回：英米作家短編翻訳実践2 第15回：まとめと復習						
授業外における学習(準備学習の内容)	与えられた課題を予習し、翻訳を完成させる。						
授業方法	講義と翻訳演習						
評価基準と評価方法	平常点(授業中の予習と発表)40%、翻訳作品提出物60%						
教科書	プリントを配布します。						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A/English in the Media A						
担当教員	E. Dean						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English in the Media						
授業の概要	You will learn how to make use of English media to both improve your English ability and to access information while studying abroad.						
到達目標	During class you will study English newspapers, watch and listen to English TV news programmes, spend time using the Internet in English and participate in pair and group discussions to give you confidence in using English media to better your life while studying abroad. You will learn the skills for skimming for information, getting the gist of news topics and researching information in the English media.						
授業計画	1 - Introduction to English in the Media 2 - Learning about English newspapers 3 - Skimming for information in newspaper reports 4 - Writing a newspaper report 5 - BBC news: Wonky Vegetables - learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report 6 - BBC news: Wonky Vegetables - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about wonky vegetables in Japan 7 - BBC news: Money for Children's Sports - learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report 8 - BBC news: Money for Children's Sports - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about children's participation in sports and predicting the effect of the Tokyo Olympics. 9 - BBC news: Living on a Houseboat in London - learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report 10 - BBC news: Living on a Houseboat in London - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about developing waterways in Japan. 11 - BBC news: A Hybrid Solar Balloon - learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report 12 - BBC news: A Hybrid Solar Balloon - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about 'green' power 13 - BBC news: Home Schooling - learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report 14 - BBC news: Home Schooling - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about home schooling in Japan 15 - Using the English media to prepare for study abroad						
授業外における学習(準備学習の内容)	Some research for assignments about topics studied in class						
授業方法	Lectures including reading English newspapers, watching BBC news reports, discussing topics in the news and using the Internet. You will be working alone and in pairs and groups for discussions and to complete assignments.						
評価基準と評価方法	Grades will be based on class participation and assignments Class participation: 40 % Assignments: 60%						
教科書	Seeing the World Through the News 4 By Timothy Knowles, Charles Lowe, Mayumi Tamura, Minne Tanaka, Mihoko Nakamura Published by Kinseido ISBN 978-4-7647-4032-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A/English in the Media A						
担当教員	勝山 吉和						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ニュースの英語の理解と聴解力養成						
授業の概要	CBS This MorningとCBS Evening Newsを題材にしたテキストを用い、最新の英語に触れることを目的にします。扱うトピックは、日本やアメリカの健康やライフスタイル、ハイテク、経済、ポップカルチャー、エンターテインメントなど日常的なものなので、興味深く読み進めていくことができます。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を理解する力だけではなく、英語を聴きとる力がつきます。 2. 日本とアメリカの最新の情報を知るだけではなく、2つの文化の違いにも気がつきます。 3. 練習問題が多彩なので、語彙力、内容把握力、表現力などが身につきます。 						
授業計画	<p>第1回 Unit 1 What' s for Lunch? (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第2回 Unit 1 What' s for Lunch? (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第3回 Unit 2 BYOB (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第4回 Unit 2 BYOB (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第5回 Unit 3 How a Dog Can Improve Your Health? (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第6回 Unit 3 How a Dog Can Improve Your Health? (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第7回 Unit 4 The Shoe That Grows (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第8回 Unit 4 The Shoe That Grows (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第9回 Unit 5 " Cat Library" Offer' s Purrfect Solution to Stress (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第10回 Unit 5 " Cat Library" Offer' s Purrfect Solution to Stress (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第11回 Unit 6 The Evolution of Comic Books in the Digital Age (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第12回 Unit 6 The evolution of Comic Books in the digital Age (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第13回 Unit 7 Can Drinking Soda Make You Age Faster? (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第14回 Unit 7 Can Drinking Soda Make You Age Faster? (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第15回 まとめと試験</p>						
授業外における学習（準備学習の内容）	授業の前に必ず予習してください。入念な予習をすることで自力で問題を解く力が付き、飛躍的に英語力がアップします。受動的な学習では限られた範囲でしか伸びが見られません。復習は確認程度で構いません。10分もあれば、その日の授業の確認はできます。授業前、授業中、授業後の最低3回は接してください。さらに繰り返し復習すれば、知識が自分のものとして定着します。						
授業方法	講義形式ではあるが、クラスでの発表もある。						
評価基準と評価方法	小テスト30%と2回の試験70%で評価する。						
教科書	CBS News Break 熊井信弘、Stephen Timson著 成美堂 ISBN978-4-7919-6033-0 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語A/English in the Media A						
担当教員	川中 紀子						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ナチュラルスピードの英語聴解力の養成						
授業の概要	英語圏で放送された素材を通じて、英語の聴解力の向上と語彙力の増強を目指します。留学準備としても対応できるように、教材にはすべて、実際に英語圏で放送されているものを選びます。 また、英語のヒットソングを用いて、音声変化の法則を体系的に学び、聴き取る能力を向上させることも目標とします。						
到達目標	この授業の演習を通じて、学生は字幕に頼らずに、英語圏で放送されたテレビニュースの英語を聴き取り、理解する能力を習得できます。 英語圏の文化について理解を深めながら、英語の語彙を増やし、自然なスピードの英語の聴解力を伸ばすことを目標とします。						
授業計画	第1回：音声変化 Unit 1 第2回：海外から見た日本の給食 第3回：音声変化 Unit 2 第4回：カリフォルニアはBYOB 第5回：音声変化 Unit 3 第6回：犬を飼うと健康になる？ 第7回：音声変化 Unit 4 第8回：成長に合わせて大きくなる靴をアフリカの子供たちに 第9回：音声変化 Unit 5 第10回：猫で職場のストレス解消 第11回：音声変化 Unit 6 第12回：デジタルコミックの隆盛 第13回：音声変化 Unit 7 第14回：炭酸飲料と老化の関係 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習、復習を十分にして授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験（8割）と受講状況（2割）の総合評価。						
教科書	『CBS News Break 3』熊井信弘 Stephen Timson 著（成美堂） ISBN 978-4-7919-6033-0 『ヒットソングで学ぶ総合英語』角山照彦 Simon Capper 著（成美堂）978-4-7919-3387-7						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B/English in the Media B						
担当教員	E. Dean						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜4	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	English in the Media						
授業の概要	You will be using English media to improve your English ability and gain confidence to use English media to improve your life.						
到達目標	During class you will learn about SNS, study English movies, watch and listen to English TV news programmes, spend time using the Internet in English and participate in pair and group discussions to give you confidence in using English media to better your life. You will learn the skills for getting the gist of news topics, researching information in the English media and writing movie reports. At the end of the course you will have the skill and confidence to deliver your own news report.						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> 1 - An introduction to English in the Media 2 - Studying English movie reports 3 - Writing an English movie report 4 - BBC news: Using SNS to relieve Eating Disorders - studying synonyms and practising how to get the gist while watching a TV news report 5 - BBC news: Using SNS to relieve Eating Disorders - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about eating disorders in Japan 6 - BBC news: Measuring Air Pollution - learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report 7 - BBC news: Measuring Air Pollution - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about air pollution in Japan 8 - BBC news: New Guidelines for Alcohol - studying synonyms and practising how to get the gist while watching a TV news report 9 - BBC news: New Guidelines for Alcohol - listening for and discussing detail and using the Internet to compare the guidelines for alcohol in Japan with those in the UK 10 - BBC news: The Threat to Antarctic Penguins - learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report 11 - BBC news: The Threat to Antarctic Penguins - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about the effects of climate change on Japan 12 - Planning a news report presentation 13 - BBC news: Eating Insects to Save the World - learning vocabulary and practising how to get the gist while watching a TV news report 14 - BBC news: Eating Insects to Save the World - listening for and discussing detail and using the Internet to find out about steps being taken to solve the world food problem. 15 - News report presentations 						
授業外における学習(準備学習の内容)	Some research for assignments about topics studied in class						
授業方法	Lectures including reading and writing movie reviews, watching BBC news reports, discussing topics in the news and using the Internet. You will be working alone and in pairs and groups for discussions and to complete assignments.						
評価基準と評価方法	<p>Grades will be based on class participation and assignments</p> <p>Class participation: 40 % Assignments: 60%</p>						
教科書	<p>Seeing the World Through the News 4 By Timothy Knowles, Charles Lowe, Mayumi Tamura, Minne Tanaka, Mihoko Nakamura Published by Kinseido ISBN 978-4-7647-4032-7</p>						

参考書	
-----	--

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B/English in the Media B						
担当教員	勝山 吉和						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ニュースの英語の理解と聴解力養成						
授業の概要	CBS This MorningとCBS Evening Newsを題材にしたテキストを用い、最新の英語に触れることを目的にします。扱うトピックは、日本やアメリカの健康やライフスタイル、ハイテク、経済、ポップカルチャー、エンターテインメントなど日常的なものなので、興味深く読み進めていくことができます。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 英語を理解する力だけではなく、英語を聴きとる力がつきます。 日本とアメリカの最新の情報を知るだけではなく、2つの文化の違いにも気がつきます。 練習問題が多様なので、語彙力、内容把握力、表現力などが身につきます。 						
授業計画	<p>第1回 Unit 8 What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第2回 Unit 8 What You Like on Facebook Could Affect Your Job Search (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第3回 Unit 9 Is Sitting the New Smoking? (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第4回 Unit 9 Is Sitting the New Smoking? (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第5回 Unit 10 Matcha Madness Sparks New Tea Craze (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第6回 Unit 10 Matcha Madness Sparks New Tea Craze (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第7回 Unit 11 Daddy Duty (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第8回 Unit 11 Daddy Duty (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第9回 Unit 12 One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第10回 Unit 12 One Man's Long Journey to Help a Stranger Walk Again (2)</p> <p>第11回 Unit 13 Slurping to Success (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第12回 Unit 13 Slurping to Success (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第13回 Unit 14 Peddling Pedaling (1) (1) 1. Before You Watch 2. Word Match 3. Getting the Gist 4. Getting into Details</p> <p>第14回 Unit 14 Peddling Pedaling (2) 4. Getting into Details (2) 5. Summary 6. Conversation in Action 7. Critical thinking</p> <p>第15回 まとめと試験</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業の前に必ず予習してください。入念な予習をすることで自力で問題を解く力が付き、飛躍的に英語力がアップします。受動的な学習では限られた範囲でしか伸びが見られません。復習は確認程度で構いません。10分もあれば、その日の授業の確認はできます。授業前、授業中、授業後の最低3回は接してください。さらに繰り返し復習すれば、知識が自分のものとして定着します。						
授業方法	講義形式ではあるが、クラスでの発表もある						
評価基準と評価方法	小テスト30%と2回の試験70%で評価する。						
教科書	CBS News Break 熊井信弘、Stephen Timson著 成美堂 ISBN978-4-7919-6033-0 C1082						
参考書							

科目区分	英語学科専門教育科目						
科目名	メディアの英語B/English in the Media B						
担当教員	川中 紀子						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	火曜2	配当学年	2	単位数	2.0
授業のテーマ	ナチュラルスピードの英語聴解力の養成						
授業の概要	英語圏で放送された素材を通じて、英語の聴解力の向上と語彙力の増強を目指します。 留学準備としても対応できるように、教材にはすべて、実際に英語圏で放送されているものを選びます。 また、英語のヒットソングを用いて、音声変化の法則を体系的に学び、聴き取る能力を向上させることも目標とします。						
到達目標	英語圏の文化について理解を深めながら、英語の語彙を増やし、自然なスピードの英語の聴解力を伸ばすことを目標とします。 この授業の演習を通じて、学生は、字幕に頼らずに英語圏のニュースを聴き取り、理解する能力を習得することができます。						
授業計画	第1回：音声変化 Unit 8 第2回：就職活動ではLikeボタンに気をつけて 第3回：音声変化 Unit 9 第4回：座りっぱなしは体に毒？ 第5回：音声変化 Unit 10 第6回：抹茶が大人気 その理由は？ 第7回：音声変化 Unit 11 第8回：成長に合わせて大きくなる靴をアフリカの子供たちに 第9回：音声変化 Unit 12 第10回：アメリカのイクメン事情 第11回：音声変化 Unit 13 第12回：神からの啓示で見知らぬ友を助ける 第13回：音声変化 Unit 14 第14回：デジタル時代における手書きのパワー 第15回：まとめとテスト						
授業外における学習（準備学習の内容）	予習、復習を十分にして授業にのぞむこと。						
授業方法	講義と演習						
評価基準と評価方法	試験（8割）と受講状況（2割）の総合評価。						
教科書	『CBS News Break 3』熊井信弘 Stephen Timson 著（成美堂） ISBN 978-4-7919-6033-0 『ヒットソングで学ぶ総合英語』角山照彦 Simon Capper 著（成美堂）978-4-7919-3387-7						
参考書							